

令和8年度 高等部 1年 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2単位 (70時間)		1学年 10名 (高等部1段階)		ひとりだちするための国語	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。 (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期 (24時間)	3	(知及技) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく。 (学・人) ・本を通して知識や情報を得られることに気づく。	(知・技) ・本の分類番号と配置について理解している。 ・本の配架場所と情報収集の方法を理解している。 (主学) ・仲間と協力し合い、主体的に活動している。	・オリエンテーション ・図書館利用について	・図書館利用におけるマナーと分類について理解する。 ・グループに分かれて配架場所や情報収集の方法を確認し、理解する。
	3	(知及技) ・校歌の歌詞を通して、言葉には人の思いを表す働きがあることに気づく。	(知・技) ・校歌に出てくる歌詞や漢字を理解している。	・校歌の歌詞を知ろう ・ミニテスト	・校歌1番から3番までに出てくる難解語句と漢字を確認め、理解する。
	16	(知及技) ・漢字の成り立ちや部首について理解し、言葉の表現に必要な語彙を増やす。 ・他者の話を注意して聞き、指示内容を理解する。 (思判表力) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した内容になっているかを考えたりしながら、文章を整える。 (学・人) ・文章を通して感じたことを他者に伝える。 ・言語文化に触れ、相手を思いやる言葉のよさに気づく。	(知・技) ・校歌に出てくる歌詞や漢字を理解している。 ・漢字や熟語の構成、部首の役割について理解している。 ・音声教材の指示内容を理解し、課題に取り組める。 (思・判・表) ・主な7つの部首に当てはまる漢字をそれぞれ5つ以上集めている。 (主学) ・主体的に課題に取り組んだり、発表しようとする姿勢が見られる。	・漢字の成り立ち ・部首 ・熟語の構成 ・さくさくドリル	・漢字の成り立ちが4つに区分されることを理解する。 ・漢字が部首によって仲間分けされていることを理解し、主な7つの部首の役割と読みを確認める。 ・二字熟語の構成の類型を理解し、意味をとらえる。
	2	(知及技) ・相手や目的を意識して書くことを決め、集めた材料を基に伝えたいことを明確にする。 (思判表力) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した内容になっているかを考えたりしながら、文章を整える。 (学・人) ・言語文化に触れ、相手を思いやる言葉のよさに気づく。	(知・技) ・暑中見舞いの役割とはがきの基本の書き方を理解している。 (思・判・表) ・相手や目的を意識して素材を集め、適切な文字や表現で暑中見舞いを作成している。 (主学) ・主体的に課題に取り組み、工夫しようとする姿勢が見られる。	・暑中見舞い作成	・暑中見舞いの役割を理解し、はがきの基本の書き方を習得する。
2 学 期 (26時間)	4	(知及技) ・俳句の形式について知識を深める。 (思判表力) ・俳句の形式や技法を理解し、自分の体験を俳句で伝える。	(知・技) ・俳句の形式や技法を理解している。 (思・判・表) ・夏の思い出を五七五の形式で俳句作品として表現できる。	・夏の思い出イラスト俳句	・夏休みの体験について、イラストを交えた俳句作品を作成する。
	6	(思判表力) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考え表現する。 (学・人) ・読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。	(思・判・表) ・本の感想や自分の考えを、四段落構成で表現できる。 (主学) ・主体的に読書にしたいことができる。	・読書感想文の取り組み	・本を1冊選び、読書感想文に取り組む。
	4	(知及技) ・敬語に「尊敬語」「謙譲語」「丁寧語」の3種類があることを理解し、よく使われる動詞の敬語の種類について理解する。 (思判表力) ・場面や相手に合わせて敬語を使い分け、表現できる。 (学・人) ・敬語表現を身に付け、人間関係を円滑にするために自分の生活に活かす。	(知・技) ・「行く・来る」「見る」「話す」の尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いを理解する。 (思・判・表) ・場面や相手に合わせて敬語を使い分け、表現できる。 (主学) ・普段の生活の場面で活かそうとする。	・動詞「行く・来る」「見る」「話す」の敬語の使い分け	・プリントを使い、「行く・来る」「見る」「話す」の敬語の使い分けを理解する。
	4	(知及技) ・ローマ字で書かれた単語を読んだり、自分で書き表したりする力をつける。	(知・技) ・ローマ字の大字・小文字を区別し、単語を書いたり読んだりできる。	・ローマ字の読み書き	・ローマ字を使って五十音を書き表したり、書かれている文字を読んだりする。
	2	(知及技) ・時候のあいさつや手紙の形式を理解する。 (思判表力) ・相手や目的を意識して、内容を整理しながら伝えたいことを明確にして文章で表現する。 (学・人) ・文章で自分の気持ちを他者に伝えようとする態度を養う。	(知・技) ・手紙の書き方の基本を理解し、形式に沿ってお礼状を作成できる。 (思・判・表) ・就業体験を振り返り、企業先への感謝の気持ちを文章で表現できる。 (主学) ・ていねいな文字や正しい表現で気持ちを表現しようとする態度がみられる。	・就業体験先へのお礼状作成	・手紙の形式に沿ってお世話になった企業へのお礼の手紙を書く。
	4	(知及技) ・韻文の形式について知識を深める。 (思判表力) ・作者の思いや情景を具体的にイメージし、心情に迫る。	(知・技) ・詩の形式や技法を理解している。 (思・判・表) ・作品から、作者の思いや情景をとらえ、自分の言葉で解釈できる。	・詩に親しむ「空をかついで」	・プリントを使った学習
	2	(知及技) ・はがきの書き方や年賀状の役割について理解する。 (思判表力) ・日本の伝統文化に触れ、送る相手にふさわしい文章表現で年賀状を書く。 (学・人) ・ことばによる他者とのつながりの大切さを感じ取る感性を育てる。	(知・技) ・年賀状の役割と書き方を理解している。 (思・判・表) ・相手や目的に合わせて素材を集め、年賀状を作成できる。 (主学) ・送る相手によって賀詞を使い分け、年賀状を作成できる。	・年賀状作成	・実物のはがきを使った年賀状作成及び投函 ・定期テスト
3 学 期 (20時間)	3	(思判表力) ・必要な素材を集め、伝えたいことを明確にして効果的に発表する。	(思・判・表) ・他者に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫しながら発表しようとしている。	・冬休みの思い出発表	・iPadを使ったスライド作成及び発表
	2	(知及技) ・古典の仮名遣いを理解し、和歌のリズムを味わう。 (学・人) ・百人一首にしたしみ、時代背景や作者の心情に触れる。	(知及技) ・和歌の形式を理解し、歌を耳で聞いて取り札を探すことができる。 (主学) ・百人一首のルールを理解し、グループの交流を楽しむことができる。	・百人一首にしたしみ	・新春百人一首大会(2グループに分かれる)
	5	(知及技) ・身近な沖縄方言について理解する。	(知及技) ・沖縄方言について意味や使い方をiPadで調べ、理解することができる。	・沖縄方言にしたしみ ・ミニテスト	・プリントを使っての学習
	10	(知及技) ・漢字や言葉の意味を正しく読み取り、情報の内容について理解する。 (思判表力) ・必要な素材を集め、伝えたいことを明確にして効果的に発表する。 文章の話題の中心をつかみ、自分の考えをまとめる。 (学・人) ・新聞を読み、記事の内ようについて考えたことを話し合う。	(知及技) ・新聞記事に出てくる漢字や言葉を読み取り理解できる。 (思・判・表) ・新聞記事の内容について、自分の考えを文章にまとめることができる。 (主学) ・グループ学習で自分の意見を発表したり、相手の話を聞くことができる。	・新聞から情報を読み取り、考えを深めよう	・プリント学習 ・新聞記事を使ったグループ学習
留意点 引継ぎ等		・単元ごとに確認テストを実施し、評価に加える。 ・毎学期定期テストを実施し、評価に加える。 ・単元ごとにプリント提出を行い、取り組み状況を評価に加える。 ・グループ学習は課題達成の結果ではなく、協力して取り組む姿勢や他者との関わり方を重視して評価する。 ・週末や長期休暇期間の課題も評価に加える。			

令和8年度 高等部 2年 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 (70時間)	2学年 10名 (高等部1段階)		なし

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 (24時間)	3	(知及技) ・さまざまな本が分類されていることを理解し、必要な知識や情報を得る。 (学・人) ・仲間と協力しながら情報を共有し、やりとりの中で人と関わり、自分の意見を伝える力を育む。	(知・技) ・本の分類番号と配置について理解している。 ・本の配架場所と情報収集の方法を理解し、目的の本を探すことができる。 (主学) ・仲間と協力し合い、主体的に活動している。	・オリエンテーション ・図書館利用について	・図書館利用におけるマナーと分類について理解し、活用する。 ・グループに分かれて配架場所や情報収集の方法を確認し、目的の本や新聞記事を探す。
	4	(知及技) ・目的に応じて話題を決め、必要に応じて集めた材料を選択する。 (思判表力) ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、書き表し方を工夫しながら文章の構成を考える。 (学・人) ・自分の見聞きたことを言葉を使って整理して伝える。	(知・技) ・身近な人とのやり取りを通して、言葉には事柄の内容を伝える働きがあることに気づいている。 (思・判・表) ・相手や目的に応じた話し方で話し、書く内容をまとめられる。 (主学) ・積極的に話しかけ、新聞の材料を集めている。	・他者紹介新聞を作ろう	・後輩への質問項目を10個考える。 ・後輩ヘインタビューを行い、自分の言葉で新聞記事を作成する。
	4	(知及技) ・日常よく使われる丁寧語を理解し使う。 (思判表力) ・場にあさわしい言葉を身に付け、相手に伝わるように話し方を工夫する。 (学・人) ・自分の言葉で伝えようとする態度を身に付ける。	(知・技) ・ふつうの言葉とていねいな言葉の違いを理解している。 (思・判・表) ・電話の相手に応じた話し方で話すことができる。 (主学) ・必要に応じて自分の言葉で伝えようとしている。	・電話の利用とマナー	・ベアになってテーマに沿った電話応対練習を行う。 ・グループでそれぞれの役割を果たし、電話応対の実践を行う。 ・単元テストの実施。
	4	(知及技) ・社会生活における人との関わりで必要とされる言葉を適切に使う。 (思判表力) ・自分の行動や経験を整理しながら他者に伝える。 (学・人) ・言葉を通して考えを伝え合う態度を身に付ける。	(知・技) ・発音や声の大きさに気を付けて、複数の人の前で話すことができる。 (思・判・表) ・伝えたい内容について、大体が伝わるように順序立てて話している。 (主学) ・他者の発表の工夫に気づき、自分のスピーチに取り入れている。	・話し方と聞き方の工夫	・人前で話す時の声の大きさ、表情、言葉遣いのポイントを確認する。 ・就業体験で学んだことを1分間スピーチで発表する。 ・他者の発表内容を記録し、良いところをまとめる。
	7	(知及技) ・作品を通して表現したり理解したりするための語彙を増やし、話や文章の中で使うとともに、語句のまとまりを理解する。 (思判表力) ・物語文を通して順序立てて考える力や感じる力を身に付ける。 (学・人) ・登場人物と自分を比較し、共通点と相違点を見つける。	(知・技) ・言葉や文の内容を理解しひとまとまりとして読むことができる。 (思・判・表) ・文章を読み、情景や場面、登場人物の心情などを想像できる。 (主学) ・登場人物と自分を比較した感想文を書くことができる。	・物語文「ナイン」	・作品を段落に分け、音読する。 ・出てくる漢字や語句について調べ。 ・段落の内容を、自分のことばでまとめる。 ・登場人物について思うことを感想文としてまとめる。
	2	(知及技) ・書中見舞いの定型句や書き方、マナーを理解し、身に付ける。 (思判表力) ・書中見舞いの書式を理解し、効果的な文や文字ではがきを書くことができる。 (学・人) ・書中見舞いを出す日本の文化を理解し、作品を仕上げる。	(知・技) ・書中見舞いの書き方と文字の大きさを身に付けている。 (思・判・表) ・書式を理解し、効果的な文や文字の大きさと書中見舞いを書くことができる。 (主学) ・送る相手にふさわしい文章と夏らしいイラストで書中見舞いを仕上けている。	・書中見舞いを書く	・はがきの表書きについて、文字の位置と大きさに気を付けながら効果的に書く。 ・書中見舞いの投函時期と定型句について理解し、送る相手を気遣う文章を書く。 ・適切な文や文字を使い、夏らしいイラストを交えて書中見舞いを完成させる。
2学期 (26時間)	2	(知及技) ・俳句のリズムと季語の役割を理解し、自ら表現する力をつける。 (思判表力) ・書く内容の中心を決め、書き表し方を工夫しながら作品の構成を考える。 (学・人) ・自分の体験を作品にすることで、日本語の豊かさを味わう。	(知・技) ・俳句の歴史とリズム、季語の役割を理解している。 (思・判・表) ・五七五のリズムと季語を入れ、夏休みの体験を句にしている。 (主学) ・俳句作品にイラストを交え、作品を仕上けている。	・夏の俳句を作ろう	・夏休みの体験を1分間スピーチで発表する。 ・俳句の歴史とリズム、季語について理解する。 ・体験を基に、俳句を創作する。 ・面用紙自作の句と体験をイメージする絵を書き、イラスト俳句を作成する。
	6	(知及技) ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく。 (思判表力) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。 (学・人) ・自分の興味に応じた本を選び、読書に親む。	(知・技) ・図書館で本を選び、読書体験によって必要な知識や情報を増やそうとしている。 (思・判・表) ・4段落構成に沿って、他者に伝わるような感想文を原稿用紙3枚以上書くことができる。 (主学) ・興味に応じた本を選び、最後まで読むことができる。	・読書感想文の取り組み	・図書館で興味のある本を借り、読書する。 ・4段落構成の感想文の書き方を理解する。 ・原稿用紙を基に、原稿用紙3枚以上の感想文を書く。
	4	(知及技) ・社会生活に必要な言葉遣いを身に付ける。 (思判表力) ・場に応じた敬語を使って、相手に伝わるように工夫する。 (学・人) ・敬語で伝え合ったりする態度を身に付ける。	(知・技) ・普通の言葉との違いに気を付けて、場に応じた丁寧な言葉を使っている。 (思・判・表) ・話す相手や場面にに応じた言葉遣いを考えて話している。 (主学) ・敬語を使いながら様々な相手と事柄や考えを伝えようとしている。	・敬語の使い分け	・「お～なでる」「お～になる」の2つの敬語表現を使い分ける。 ・場面を設定し、敬語表現を用いて相手に伝わるように工夫する。
	4	(知及技) ・生活に身近なことわざや慣用句などを知り、その場に合わせて使いこなす。 (学・人) ・獲得した言葉を使って他者と伝え合う態度を身に付ける。	(知・技) ・日常生活でよく使われることわざと慣用句について意味を理解する。 (主学) ・ことわざ、慣用句を使って他者と伝え合おうとしている。	・ことわざと慣用句	・ことわざかるたを行う。 ・iPadでことわざ・慣用句の意味を調べる。 ・ことわざ・慣用句を使って新しい文を作る。
	6	(知及技) ・文の構成を理解し、主述の関係や接続する語句の役割について理解する。 (思判表力) ・語句や文を整理し、他者に伝わりやすい文章を工夫する。 (学・人) ・言葉に対する意識を高め、伝わりやすく工夫する態度を身に付ける。	(知・技) ・主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解している。 (思・判・表) ・伝えたい事柄を、文の構成や語句の使い方に気を付けて書く。 (主学) ・自身の文章に間違いに気づき、正すことができる。	・文の構成	・1つの文の中の単語と単語の関係について考える。 ・主述のなれについて理解する。 ・接続語の役割を理解し、適切に使い分ける。 ・語文を見つけ、正しい言葉に訂正する。
	2	(知及技) ・文章の定型や構成を理解し、季節に応じた表現を身に付ける。 (思判表力) ・送る相手に伝わるように事柄の順序に沿って構成を考え、適切な字形や大きさで字を書く。 (学・人) ・感謝の気持ちを文章で表現しようとする。	(知・技) ・お礼状の定型や構成を理解し、事柄の順序に沿って文を書く。 (思・判・表) ・送る相手に伝わるように構成に沿って丁寧な字でお礼状を書いている。 (主学) ・学習したことを生かしてお礼状作成に取り組もうとしている。	・お礼状作成	・時候のあいさつについて理解する。 ・定型や構成を理解し、お礼状を作成する。
3学期 (20時間)	2	(知及技) ・日本の韻文文化に触れ、その技法を理解する。 (学・人) ・百人一首に親しみ、当時の人々の感性や文化の違いに触れる。	(知・技) ・日本の韻文文化に触れ、和歌の書きやリズムに親しむことができる。 (主学) ・百人一首を体験し、言葉による表現を楽しむことができる。	・百人一首にしたりむ	・五七五七七のリズムを味わう。 ・グループに分かれて百人一首を体験する。
	3	(思判表力) ・必要な素材を集め、伝えたいことを明確にして効果的に発表する。	(思・判・表) ・他者に伝えるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方を工夫しながら発表しようとしている。	・冬休みの思い出発表	・iPadを使ったスライド作成及び発表
	8	(知及技) ・作品を通して、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づく。 (思判表力) ・作者の心情や情景について場面と結び付けて具体的に想像する。 (学・人) ・作品を味わい、言葉に対する意識を高める。	(知・技) ・語のまとまりに気を付けて音読することができる。 (思・判・表) ・語句の意味や文を理解し、構成を整理することで、作者の心情を想像することができる。 (主学) ・作品を読んでわかったことや自分の感想を伝えあったりできる。	・詩に親しむ『冬が来た』 ・定期テスト	・『冬が来た』を音読する。 ・わからない言葉や表現を、iPadで調べる。 ・段落分けを行い、それぞれの段落から作者の心情を箇条書きにする。
留意点 引継ぎ等		(知及技) ・新聞を通して、理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解する。 (思判表力) ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけてまとめ、感想や考えを持つ。 (学・人) ・グループ学習で意見を出し合い、相互の考えを深め合う。	(知及技) ・新聞記事に出てくる漢字や言葉を正しく理解できる。 (思・判・表) ・新聞記事の内容について、自分の考えを文章にまとめることができる。 (主学) ・グループ学習で自分の意見を発表したり、相手の話を聞くことができる。	・新聞から情報を読み取り、考えを深めよう	・新聞記事に出てくる語句の確認 ・新聞記事を読み、自分の考えや内容についてまとめる。

令和8年度 高等部 3年 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 (70時間)		3学年 10名 (高等部2段階)		なし
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (思判表力)筋道立てて考えたり感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期 (24時間)	2	(知及技) ・さまざまな本が分類されていることを理解し、必要な知識や情報を得る。 (学・人) ・仲間と協力しながら情報を共有し、やりとりの中で人と関わり、自分の意見を伝える力を身に付ける。	(知・技) ・本の分類番号と配置について理解している。 ・本の配架場所と情報収集の方法を理解し、3分以内で目的の本を探すことができる。 (主学) ・仲間と協力し合い、主体的に活動している。	・オリエンテーション ・図書館利用について ・図書館利用におけるマナーと分類について理解し、活用する。 ・グループに分かれて配架場所や情報収集の方法を確認し、目的の本や新聞記事を探す。
	5	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とつながりを作る働きがあることに気づく。 (思判表力) ・目的や意図に応じて話題を決め、伝える内容を検討し、目的や意図に応じて材料を分類して書き表す。 (学・人) ・目的に応じて言葉を選び、人と関わろうとする態度を養う。	(知・技) ・身近な人とのやり取りを通して、言葉には事物の内容を伝える働きがあることを理解する。 (思・判・表) ・相手や目的に応じた話し方で話し、書く内容をわかりやすくまとめている。 (主学) ・適切な言葉で自ら積極的に話しかけ、新聞の材料を集めている。	・他者紹介新聞を作ろう ・後輩への質問項目を10個考える。 ・後輩へのインタビューを行い、自分の言葉で新聞記事を作成したり、iPadで写真を撮ったりする。
	8	(知及技) ・文章を音読したり朗読したりできる。 ・文と文との接続の関係、話の構成について理解する。 (思判表力) ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。 (学・人) ・登場人物の行動や心情について、自分の体験に重ねながらとらえる。	(知・技) ・漢字や語句の意味を理解している。 ・登場人物の関係性とその特徴をおさえる。 (思・判・表) ・登場人物の心情にせまじり、台詞の内容について自分の解釈で説明することができる。 ・物語の続きを考え、文章にすることができる。 (主学) ・主体的に課題に取り組んでいる。	・小説「一瞬の風になれ」 ・高校生活を振り返り、体験したことや現在の思いを言葉で表現する。 ・iPadを使って漢字や言葉を調べ、オリジナルソングとして効果的な文を考える。
	6	(知及技) ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話す。 (思判表力) ・目的に応じて話題を決め、言葉の抑揚や強弱に気を付けて伝わるように話す。 (学・人) ・言葉が相手や目的によって変化させる必要性を感じ取る。	(知・技) ・話し言葉と書き言葉の違いを理解している。 (思・判・表) ・相手に合わせて言葉の使い方を工夫し、内容が伝わるように話すことができる。 (主学) ・社会生活に必要な場面を想定しながら、話し方を変化させている。	・話し言葉と書き言葉 ・話し言葉と書き言葉の違いやそれぞれの役割をおさえる。 ・話し言葉を書き言葉に直す。 ・さまざまな相手を想定し、その人に合った話し方を工夫する。
	3	(知及技) ・書中見舞いの定型句や書き方、マナーを身に付け、言葉で近況を伝える。 (思判表力) ・書中見舞いの書式を理解し、効果的な文や文字で体裁を整えてはがきを書く。 (学・人) ・日本の文化を理解し、送る相手を思いながら作品を仕上げる。	(知・技) ・書中見舞いの書き方と文字の大きさを身に付けている。 (思・判・表) ・書式を理解し、効果的な文や文字の大きさと書中見舞いを書くことができる。 (主学) ・送る相手にふさわしい文章と夏らしいイラストで書中見舞いを仕上げている。	・書中見舞いを書く ・はがきの表書きについて、文字の位置と大きさに気を付けながら効果的に書く。 ・書中見舞いの投函時期と定型句について理解し、送る相手を気遣う文章を書く。 ・適切な文や文字を使い、夏らしいイラストを交えて書中見舞いを完成させる。
2 学期 (26時間)	2	(知及技) ・俳句のリズムと季語の役割を理解し、自ら表現する力をつける。 (思判表力) ・書く内容の中心を決め、書き表し方を工夫しながら作品の構成を考える。 (学・人) ・自分の体験を作品にすることで、日本語の豊かさを味わう。	(知・技) ・俳句の歴史とリズム、季語の役割を理解している。 (思・判・表) ・五七五のリズムと季語を入れ、夏休みの体験を句にしている。 (主学) ・俳句作品にイラストを交え、作品を仕上げている。	・夏の俳句を作ろう ・夏休みの体験を1分間スピーチで発表する。 ・俳句の歴史とリズム、季語について理解する。 ・体験を基に、俳句を創作する。 ・画用紙自作の句と体験イメージする絵を書き、イラスト俳句を作成する。
	6	(知及技) ・読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく。 (思判表力) ・書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。 (学・人) ・自分の興味に応じた本を選び、読書に親む。	(知・技) ・図書館で本を選び、読書体験によって必要な知識や情報を増やそうとしている。 (思・判・表) ・4段落構成に沿って、他者に伝わるような感想文を原稿用紙3枚以上書くことができる。 (主学) ・興味に応じた本を選び、最後まで読むことができる。	・読書感想文の取り組み ・図書館で興味のある本を借り、読書する。 ・4段落構成の感想文の書き方を理解する。 ・材料メモを基に、原稿用紙3枚以上の感想文を書く。
	6	(知及技) ・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れる。 (思判表力) ・互いの立場や意図を明確にしながら、相手に伝わるように話し方を工夫する。 (学・人) ・敬語で伝え合う態度を身に付ける。	(知・技) ・社会人としてよく使われる敬語の使い分けを理解する。 (思・判・表) ・相手に合わせて敬語表現を工夫し、表現できる。 (主学) ・慣用語を使って他者と伝え合おうとしている。	・敬語の使い分け ・「なさる」「れる」「られる」「お～になる」の尊敬語、「いたたく」「お～する」の謙譲語を使い分ける。
	6	(知及技) ・古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。 (思判表力) ・描写を的確にとらえ、作者の心情や考えを感じ取る。 (学・人) ・古文の表現に触れ、言葉のもつよさを認識する。	(知・技) ・歴史的仮名遣いに気を付け、文章を声に出して読むことができる。 (思・判・表) ・春、夏、秋、冬について作者が感じていることを理解している。 (主学) ・自分が思う季節の良さを挙げ、「わたしの春はあけぼの」を完成させている。	・古典作品にしたいむ『枕草子』～春はあけぼの～ ・作品を声に出してゆっくり音読する。 ・作者が述べている春、夏、秋、冬の良さをそれぞれまとめる。 ・自分が思う季節の良さを上げ、「わたしの春はあけぼの」としてまとめる。
	2	(知及技) ・文章の定型や構成を理解し、社会生活に必要な国語表現を身に付ける。 (思判表力) ・送る相手に伝わるように事柄の順序に沿って構成を考え、体裁よく文章をまとめる。 (学・人) ・自分の進路決定を意識しながら、感謝の気持ちを表現する態度を養う。	(知・技) ・お礼状の定型や構成を理解し、事柄の順序に沿って文を書く。 (思・判・表) ・送る相手に伝わるように構成に沿って丁寧な字でお礼状を書いている。 (主学) ・学習したことを生かしてお礼状作成に取り組もうとしている。	・お礼状作成 ・時候のあいさつについて理解する。 ・定型や構成を理解し、お礼状を作成する。
3 学期 (20時間)	2	(知及技) ・文章の定型や構成を理解し、社会生活に必要な国語表現を身に付ける。 (思判表力) ・送る相手に伝わるように体裁よく書く。 (学・人) ・読み手を意識して、伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) ・メール、FAXの定型や構成を理解し、書く内容に合わせて書くことができる。 (思・判・表) ・送る相手に伝わるように構成に沿って丁寧な字でお礼状を書いている。 (主学) ・学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	・メール、FAXの書き方 ・メールやFAXの書き方を理解し、字形を意識しながらバランスよく書く。
	2	(知及技) ・年賀状の定型句や書き方、マナーを理解し、社会生活に必要な国語力を身に付ける。 (思判表力) ・相手や目的を意識した文章を作り、体裁よくまとめる。 (学・人) ・年賀状を出す日本の文化を理解し、送る相手を思いやる気持ちを育む。	(知及技) ・年賀状の役割や質問、投函時期について理解している。 (思・判・表) ・書式を理解し、適切な文や文字の大きさと年賀状を書くことができる。 (主学) ・送る相手にふさわしい文章と正月らしいイラストで年賀状を仕上げている。	・年賀状作成 ・はがきの表書きについて、文字の位置と大きさに気を付けながらバランスよく書く。 ・年賀状の投函時期と定型句について理解し、送る相手にふさわしい文章を考える。 ・適切な文や文字を使い、正月らしいイラストを交えて年賀状を完成させる。
	2	(知及技) ・日本の韻文化に触れ、親しんだり理解したりできるようにする。 (学・人) ・百人一首に親しみ、当時の人々の感性や文化の違いを理解する。	(知・技) ・日本の韻文化に触れ、和歌の響きやリズムに親しむことができる。 (主学) ・百人一首を体験し、言葉による表現を楽しむことができる。	・百人一首にしたいむ ・五七五七七のリズムを味わう。 ・グループに分かれて百人一首を体験する。
	6	(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて文字を書く。 (学・人) ・読み手を意識しながらいいな書字を目指す。	(知・技) ・字体の特徴を理解しながら、ペンや筆ペンを使って書き分けている。 (主学) ・読む人を意識して、いいなな字を書いている。	・書写 ・楷書と行書の違いを理解し、書き分ける。 ・筆ペンを使って、ていねいに自分の住所と名前を縦書きで書く。
	2	(知及技) ・生活の中で使われる慣用語、故事成語などの意味を知り、その場に合わせて使いこなす。 (学・人) ・獲得した言葉を使って他者と伝え合う態度を身に付ける。	(知・技) ・日常生活でよく使われる慣用語と故事成語について意味を理解する。 (主学) ・慣用語を使って他者と伝え合おうとしている。	・慣用語と故事成語 ・矛盾、漁夫の利、四面楚歌、推戴、杜撰、他山の石、蛇足、虎の威を借る狐の8つの故事成語の由来と漢字の読みを理解する。 ・iPadで慣用語の意味を調べる。
3 学期 (20時間)	6	(知及技) ・文と文との接続の関係、話や文章の構成について理解し、社会生活に必要な文章力を身に付ける。 (思判表力) ・目的や意図に応じて書くことを決め、筋道の通った文章となるように、構成を考える。 (学・人) ・進路決定を意識し、就業体験でお世話になった感謝の気持ちを伝える。	(知・技) ・漢字や言葉の使い方を調べながら文を考えている。 (思・判・表) ・就職したいという自分の思いが伝わるような構成を考え、ていねいな字で履歴書を書き上げている。 (主学) ・就職に向け、真剣な態度で履歴書作成を行っている。	・履歴書作成 ・就職に向け、志願理由や趣味などを体裁よく書く。 ・誤字脱字をしないように一字ずつ確認しながら書き進める。
	4	(知及技) ・言葉には、相手とつながりを作る働きがあることに気づく。 (思判表力) ・話の内容が明確になるように、話の構成を考える。 (学・人) ・これまでの自身のできごとを振り返り、学校生活を終える節目としてお世話になった家族へ感謝の気持ちを伝える。	(知・技) ・ていねいな字で適切な言葉を使いながら文章を考えている。 (思・判・表) ・手紙を読む父や母に感謝の気持ちが伝わるように構成を考えている。 (主学) ・自分の思いを表現している。	・父や母への感謝の手紙 ・これまで育ててくれた父や母に、感謝の気持ちを込めて手紙を書く。 ・3年間学んだ集大成として自分の力で文章を書きあげる。
留意点 引継ぎ等		・単元ごとに確認テストを実施し、評価に加える。 ・毎学期定期テストを実施し、評価に加える。 ・単元ごとにプリント提出を行い、取り組み状況を評価に加える。 ・グループ学習は課題達成の結果ではなく、協力して取り組み姿勢や他者との関わり方を重視して評価する。 ・週末や長期休暇期間の課題も評価に加える。		

令和8年度 高等部 2年 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1単位 (35時間)		2学年 10名 (高等部1段階)			ひとりだちするための社会 (日本教育研究出版)
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きることの大切さについての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付ける。 ・社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解する。 ・生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解する。 (思判表力) ・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現する。 ・社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え表現する。 ・生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考える。 ・沖縄戦について調べ、今を生きる自分にできることを考え、表現する。 (学・人) ・社会に主体的に関わろうとする態度や、我が国の歴史を理解し平和を願う心、地域社会の一員としての自覚を持つ。	(知及技) ・選挙による社会参加について理解している。 ・18歳になってできることを理解している。 ・さまざまなメディアの特徴を理解している。 ・デジタルデバイスとは何かを理解している。 ・役所でできる手続きについて理解している。 ・公共交通機関の利用方法や移動する際の注意点を理解している。 ・警察署と消防署の役割を理解している。 ・金融機関や郵便局の役割を理解している。 (思・判・表) ・報道の仕方によって受ける印象について理解し、その違いを表現できる。 ・インターネット、SNS利用のメリット・デメリットについて理解し、利用の仕方を考えることができる。 ・情報機器を使って、学校から目的地までの経路と時間を調べ、発表することができる。 ・緊急時の連絡先と通報時の注意について理解し、正確に伝えることができる。 (主学) ・情報の信頼性について考え、正しい情報を自分で判断し見極めようとしている。 ・情報機器を使って主体的に課題について調べ、生活に役立てようとしている。 ・沖縄戦のことを調べることで、平和の大切さについて考えようとしている。	【公民分野】 ・社会参加と決まり ・成年年齢について ・メディア・情報の活用 用 ・役所 ・公共の交通機関 ・警察と消防 ・銀行や郵便局 ・6.23沖縄戦について	・プリント学習 ・グループ学習 ・iPadや新聞を使つての調べ学習 ・単元ごとのミニチェックテスト
2 学期	13	(知及技) ・生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解する。 ・我が国の政治の基本的な仕組みや働きについて理解する。 ・修学旅行先の都道府県の特徴や集団行動時のマナーについて理解する。 (思判表力) ・生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現する。 ・国や地方公共団体の政治の取り組みについて調べ、国民生活における政治の働きを考え、表現する。 (学・人) ・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度や、我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。	(知及技) ・病院や保健所の役割について理解している。 ・ハローワークや就労・生活支援センター、その他の事務所等の役割について理解している。 ・日本の政治の仕組みについて理解している。 ・内閣と国会の関係について理解している。 ・裁判所の種類や役割について理解している。 ・日本国憲法の三原則を理解している。 ・税金の使われ方について理解している。 ・日本における社会保障制度について理解している。 (思・判・表) ・情報機器を使い、自分の生活圏内にある病院とその種類について調べることができる。 ・自分の人生設計について考え、発表することができる。 ・国民の権利と義務について考え、自分の生活との結び付きについて考えることができる。 ・少子高齢化について、問題点や対策について考え、自分の意見を発表できる。 ・修学旅行に関する担当テーマについて調べ、発表することができる。 (主学) ・情報機器を使って主体的に課題について調べ、生活に役立てようとしている。 ・社会の仕組みや国民の権利、義務について理解し、一人の国民としてどうあるべきか考えようとしている。	【公民分野】 ・病院や保健所 ・仕事や生活の相談 ・ライフイベント ・政治の仕組み ・日本国憲法 ・税金 ・社会保障 ・修学旅行先についての調べ学習	・プリント学習 ・グループ学習 ・スライド作成と発表 ・iPadでの調べ学習 ・単元ごとのミニチェックテスト
3 学期	10	(知及技) ・生産者と消費者の関係について考え、経済活動の必要性を理解する。 ・食糧生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食糧生産を支えていることを理解する。 ・我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の工場に重要な役割を果たしていることを理解する。 (思判表力) ・生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。 ・工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現できる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、我が国の産業の発展を願う大切さをもつ。	(知及技) ・生産者と消費者の関係をおさえ、流通の役割を理解している。 ・障害者雇用について理解している。 ・3つの産業の種類と、産業別人口の移り変わりについて理解している。 (思・判・表) ・働く目的について考え、卒業後の生活をイメージすることができる。 ・農業・漁業・工業人口の減少について理解し、これからできることグループで考え発表できる。 (主学) ・情報機器を使って主体的に課題について調べ、生活に役立てようとしている。 ・日本の産業について理解し、どんな仕事につきたいか、働く目的は何かについて考えることができる。	【公民分野】 ・経済活動 ・日本の産業	・プリント学習 ・グループ学習 ・スライド作成と発表 ・iPadでの調べ学習 ・単元ごとのミニチェックテスト
留意点 引継ぎ等		・単元ごとの確認テストを実施し、評価に加える。 ・課題提出や発表を評価に加える。 ・グループ学習は課題達成の結果ではなく、協力して取り組む姿勢や他者との関わり方を重視して評価する。 ・長期休暇期間の課題も評価に加える。			

令和8年度 高等部 3年 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者		教科書／副教材			
1単位 (35時間)		2学年 10名 (高等部2段階)				ひとりだちするための社会 (日本教育研究出版)			
目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度									
年間目標		(知・技)我が国の国土の特色、公共施設の役割と制度、外国の様子について、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 (思判表力)社会的現象について自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方について考えたことや選択・判断し表現する力を養う。 (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度を養うとともに、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きることの大切さについての自覚を養う。							
学期	時数	単元・題材の目標		単元・題材の評価規準		単元・題材名		単元・題材の活動内容	
1 学期	12	(知・技) ・社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を身に付ける。 ・世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解する。 ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解する。 (思判表力) ・社会生活の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現する。 ・世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目し、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現する。 ・国土の環境保全について、自分たちにできることを考え、表現する。 ・沖縄戦について調べ、今を生きる自分にできることを考え、表現する。 (学・人) ・社会に主体的に関わろうとする態度や、我が国の歴史を理解し平和を願う心、地域社会の一員としての自覚を持つ。		(知・技) ・情報機器を使って課題テーマについて調べ、必要な情報をまとめることができる。 ・世界地図を見ながら、6大陸と日本の位置関係を理解している。 ・日本の周辺地域について理解している。 ・日本の国土や各地方・都道府県の特徴について理解している。 ・自然災害の被害を防ぐための日本の取り組みを理解する。 (思・判・表) ・課題テーマについてまとめたスライドを使い、わかりやすい言葉で発表できる。 ・日本の領土について理解し、領土、領海、領空についてそれぞれの意味を説明できる。 ・領土問題が起こっている理由について考え、発表できる。 ・沖縄県の特徴について調べ発表できる。 ・自然災害から身を守るために自分ができることを考え、発表できる。 (主学) ・日本の国土と特徴を捉え、正しい情報を自分で判断し見極めようとしている。 ・情報機器を使って主体的に課題について調べ、生活に役立てようとしている。 ・沖縄戦のことを調べることで、平和の大切さについて考えようとしている。		【公民分野】 ・時事問題キーワード発表 【地理分野】 ・世界の中の日本 ・日本の国土 ・自然災害を防ぐ ・6.23沖縄戦について ・北朝鮮当局による日本人拉致問題		・プリント学習 ・グループ学習 ・iPadや新聞を使つての調べ学習・発表 ・単元ごとのミニチェックテスト	
		(知・技) ・我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解する。 (思判表力) ・地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現できる。 ・沖縄県と他都道府県の位置関係を捉え、その特色について考え、表現できる。 (学・人) ・社会に主体的に関わろうとする態度や、我が国の国土に対する愛情、日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。		(知・技) ・日本と世界の国々の関係について理解している。 ・世界の主な国々の特徴について理解している。 ・情報機器を使って、担当する国について特徴を調べ、情報をまとめることができる。 ・さまざまな国際機関や地球規模の環境問題について理解している。 (思・判・表) ・情報機器を使って調べた内容について、発表することができる。 ・環境問題について地球全体の取り組みを理解し、自分ができることを考え発表できる。 (主学) ・情報機器を使って主体的に課題について調べ、生活に役立てようとしている。 ・地球規模で世界や日本が抱える問題を捉え、一人の国民としてどうあるべきか考えようとしている。		【公民分野】 ・世界の国々とのつながり ・世界の国々の特徴・他の国を調べてみよう ・国際協力 ・環境保全 ・サステナブル(持続可能)な社会をめざして		・プリント学習 ・グループ学習 ・スライド作成と発表 ・iPadでの調べ学習 ・単元ごとのミニチェックテスト	
3 学期	8	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解する。 (思判表力) ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現する。 (学・人) ・我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人としての自覚を養う。		(知・技) ・古代から武士の時代についてのそれぞれの特徴や主なできごとについて理解している。 ・幕末から明治維新までについて、歴史の流れや主なできごとについて理解している。 ・第二次世界大戦下の状況やその流れについて理解している。 (思・判・表) ・日本国憲法の中身について理解し、今私たちが平和を守るために何ができるかを考え、発表することができる。 (主学) ・日本の歴史について主体的に学び、一人の国民としてどうあるべきかを考えることができる。		【歴史分野】 ・日本の歴史年表 ・古代～武士の時代へ ・幕末から明治維新へ ・第二次世界大戦を経て ・平和な社会をめざす		・プリント学習 ・グループ学習 ・スライド作成と発表 ・iPadでの調べ学習 ・単元ごとのミニチェックテスト	
		(知・技) ・地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解する。 (思判表力) ・地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現する。 (学・人) ・社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。		(知・技) ・役所で申請できる手続き、課の窓口の役割を理解する。 (思・判・表) ・役所の役割を理解し、必要に応じてこの課で手続きを取ればいいか判断できる。 (主学) ・卒業後をイメージし、地域と関わりながら生活するための知識を得ようとしている。		【公民分野】 ・校外学習「うるま市役所見学」		・校外学習 ・プリント学習	
留意点 引継ぎ等		・単元ごとの確認テストを実施し、評価に加える。 ・課題提出や発表を評価に加える。 ・グループ学習は課題達成の結果ではなく、協力して取り組む姿勢や他者との関わり方を重視して評価する。 ・長期休暇期間の課題も評価に加える。							

令和8年度 高等部 1年 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 70時間	1年6組 (10名) (高等部1段階)		〔改訂新版〕くらしに役立つ数学 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年	期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1	学 期	24	(知及技) ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表現したりする力を養う。 (学・人) ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) ・偶数と奇数に類別されることが約数、倍数について理解することができる。 ・異分母の分数の加法・減法、分数の乗法・除法の計算ができる。 (思・判・表) ・乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすことができる。 ・数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えることができる。 (主学) ・身の回りにある数に親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。	【数と計算】 ・整数の性質及び構成 ・分数 ・文字を用いた式	・偶数、奇数 ・約数、倍数 ・分数の加法、減法、乗法、除法 ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施
2	学 期	13	(知及技) ・二等辺三角形や正三角形、直線の垂直や平行について知り、作図を通してそれらについて着目する。 (思判表力) ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直す。また、その性質を筋道を立てて考え説明したりする。 (学・人) ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思える。	(知・技) ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図をすることができる。 ・平行移動、対称移動について理解することができる。 (思・判・表) ・図形の性質に着目し、作図の方法について考察し表現することができる。 ・図形の移動に着目し、2つの図形の関係について考察し表現することができる。 (主学) ・身の回りにある図形に親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。	【図形】 ・平面図形 ・図形の移動	・線分の垂直二等分線の作図 ・角の二等分線の作図 ・垂線の作図 ・平行移動・対称移動する図形の作図 ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施
		13	(知及技) ・百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求める。 ・ある2つの数量関係と、別の2つの関係を比べる場合に、割合を求めることがあることを理解する。 (思判表力) ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いてある2つの数量関係と、別の2つの関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かす。 (学・人) ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思える。	(知・技) ・百分率の意味について理解し、百分率を用いて表すことができる。 ・割合を用いて2つの以上の数量を比べることができる。 ・比例の関係を利用し、問題を解決することができる。 (思・判・表) ・日常生活の問題を、割合を活用して解決している。 ・比例が活用できる場面において、比例の関係を生かして問題を解決している。 (主学) ・身の回りにある割合や比例関係に親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。	【変化と関係】 ・割合 ・比例/反比例	・百分率の計算 ・簡単な比例の関係 ・2つの数量の関係 ・比 ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施
3	学 期	20	(知及技) ・量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法を理解するとともに、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に捉え考察したりする力を養う。(学・人) ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思える。	(知・技) ・代表値の意味や求め方を理解することができる。 ・度数分布を表す表や柱状グラフの用い方を理解することができる。 ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 ・起こりうる場合を順序良く整理するための図や表などの用い方を理解することができる。 (思・判・表) ・目的に応じてデータをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断することができる。 ・事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。 (主学) ・身の回りにあるデータやそれらを表したグラフに親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。	【データの活用】 ・データの収集とその分析 ・起こりうる場合	ヒストグラム、代表値 ・百分率、円グラフ、帯グラフ ・資料の平均、度数分布 ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施
			留意点 引継ぎ等	・授業開始時に、毎回5分間の基礎計算ドリルを解くことで、計算力の向上・維持を図る。		

令和8年度 高等部 2年 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2単位 70時間		2年6組（10名） （高等部 2段階）			〔改訂新版〕くらしに役立つ数学（東洋館出版社）
目標：〔知・技〕知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：〔知・技〕知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主・学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		〔知・技〕 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 〔思・判・表〕 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 〔学・人〕 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	〔知・技〕 ・量の単位と測定に関わる数学的活動を通して、長さの単位（mm、cm、km等）や重さの単位（g、kg）かさの単位（dl、l等）やその単位変換について理解する。 ・時間（秒、分、時）について理解する。 ・速さの求め方について理解する。 〔思・判・表〕 ・長さや重さ、かさを、適切な測器を選び方、測定の仕方について理解する。 ・時間の測定の仕方や、適切な単位を選ぶことができる。 ・測定する物に応じて、適切な表現・処理ができる。 〔学・人〕 ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思 考する。	〔知・技〕 ・身の回りにある物の特徴に着目し、単位の関係を統一的に考察し、適切な単位を使って測定できる。 〔思・判・表〕 ・身の回りにある物を、適切な単位で表したり、およその見当をつけ、測器を適切に選んで測定できる。 〔主・学〕 ・身の回りにある物の量や時間について親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。	【測定】 ・長さ、重さ、かさについて ・長さ、重さ、かさを測ろう。 ・身の回りのものの量の単位について ・時間について ・速さについて	・長さ、重さ、かさの単位について ・長さ、重さ、かさを測る道具と、正しい測り方について ・校内の物の長さや重さを測ろう ・自分の靴のサイズを利用して、廊下の長さの見当をつけよう ・時間（秒、分、時）について ・速さについて ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施
	14	〔知・技〕 ・平面図形や立体図形の構成要素について知り、作図を通してそれらについて着目する。 ・平面図形の面積や体積について理解する。 〔思・判・表〕 ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直す。また、その性質を筋道を立てて考え説明したりする。 〔学・人〕 ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思 考する。	〔知・技〕 ・平面図形や立体図形の構成要素を理解する。 ・平面図形や立体図形の名称を理解し、その面積や体積を求めることができる。 〔思・判・表〕 ・図形の構成要素に着目し、その面積や体積の求め方について考察できる。 ・図形の構成要素に着目し、その展開図について考察できる。 〔主・学〕 ・身の回りにある図形に親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。	【図形】 ・平面図形の名称と特徴 ・図形の面積 ・立体図形の体積	・平面図形（三角形・四角形・円）について ・多角形（正六角形の作図をしよう） ・身の回りにある立体図形について ・立体図形の高さを測ろう ・展開図からできる立体図形を想像してみよう ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施
2 学期	26	〔知・技〕 ・自然数について理解する。公倍数、最大公約数について理解する。小数の四則演算について理解する。 〔思・判・表〕 ・与えられた小数や正負の数が何の数値を表しているか考察し、適切な表現・処理ができる。 〔学・人〕 ・日常生活において、数に親しみながら、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思 考する。	〔知・技〕 ・自然数や、最小公倍数、最大公約数について理解することができる。 ・小数の意味を理解し、小数の加法・減法・乗法・除法の計算ができる。 ・正負の数について理解することができる。 ・日常の具体的な場面で小数や正負の数を適切に表現・処理できる。 〔思・判・表〕 ・目的に応じた位を考え、小数を四捨五入できる。 ・数の意味を考え、数量の関係を分かりやすく表現することができる。 〔主・学〕 ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとしている。	【数と計算】 ・自然数について ・小数について ・正負の数について ・四捨五入の仕方 ・データに適した数値の表し方	・自然数について ・公倍数、最小公倍数 ・約数、最大公約数 ・小数の加法、減法、乗法、除法 ・身体測定、スポーツテストについて ・正負の数について ・日本の年間平均気温について ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施
	20	〔知・技〕 ・量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法を理解するとともに、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 〔思・判・表〕 ・目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に捉え考察したりする力を養う。 〔学・人〕 ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思 考する。	〔知・技〕 ・代表値の意味や求め方を理解することができる。 ・度数分布を表す表や柱状グラフの用い方を理解することができる。 ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 ・起こりうる場合を順序良く整理するための図や表などの用い方を理解することができる。 〔思・判・表〕 ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断することができる。 ・事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。 〔主・学〕 ・身の回りにあるデータやそれを表したグラフに親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。	【データの活用】 ・データの収集とその分析 ・グラフの読み取り ・グラフの作成	・ヒストグラム、代表値 ・百分率、円グラフ、帯グラフ ・資料の平均、度数分布 ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施
留意点 ／引継ぎ等		・授業開始時に、毎回5分間の基礎計算ドリルを解くことで、計算力の向上・維持を図る。			

令和8年度 高等部 3年 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者		教科書／副教材			
2単位 70時間		3年6組（10名）（高等部2段階）				〔改訂新版〕くらしに役立つ数学（東洋館出版社）			
目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主・学）主体的に学習に取り組む態度									
年間目標		（知・技） 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （思・判・表） 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表現したりする力を養う。 （学・人） 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。							
学期	時数	単元・題材の目標		単元・題材の評価規準		単元・題材名		単元・題材の活動内容	
1 学 期	24	（知・技） ・自然数について理解する。素数について理解し、素因数分解の計算ができる。小数の四則演算について理解する。 （思・判・表） ・与えられた小数や正負の数が何の数値を表しているかを考察し、適切な表現・処理ができる。 （学・人） ・日常生活において、数に親しみながら、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思える。		（知・技） ・自然数とは正の整数であることや、最小公倍数、最大公約数について理解することができる。 ・素数とは約数2つしかないことや、素因数分解を計算することができる。 ・素因数分解をもとに平方根の計算ができる。 ・小数の意味を理解し、小数の加法・減法・乗法・除法の計算ができる。 ・日常の具体的な場面で小数を適切に表現・処理できる。 ・日常の具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり、処理したりすることができる。 （思・判・表） ・目的に応じた位を考え、小数を四捨五入できる。 ・乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりすることともに、日常生活に生かすことができる。 ・数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えることができる。 （主・学） ・身の回りにある数に親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。		【数と計算】 ・自然数・素数について ・素因数分解と平方根 ・正の数と負の数 ・小数について ・四捨五入の仕方 ・データに適した数値の表し方		・自然数・素数について ・素因数分解の計算 ・平方根の計算 ・正負の数について ・日本の年間気温について ・小数の加法、減法、乗法、除法 ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施	
		（知・技） ・平面図形や立体図形の構成要素について知り、作図を通してそれらについて着目する。 ・平面図形の面積や体積について理解する。 （思・判・表） ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直す。また、その性質を筋道を立てて考え説明したりする。 （学・人） ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思える。		（知・技） ・立体図形の構成要素を理解する。 ・立体図形の名称を理解し、その体積を求めることができる。 （思・判・表） ・図形の構成要素に着目し、その体積の求め方について考察できる。 ・図形の構成要素に着目し、その展開図について考察できる。 （主・学） ・身の回りにある図形に親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。		【図形】 ・立体図形の名称と特徴 ・立体図形の長さの求め方 ・立体図形の体積 ・立体図形の展開図		・立体図形（角柱・円柱・角錐・円錐）について ・身の回りにある立体図形について ・立体図形の長さの測ろう ・立体図形の体積を求めよう ・展開図からできる立体図形を想像してみよう ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施	
2 学 期	11	（知・技） ・量の単位と測定に関わる数学的活動を通して、長さの単位（mm、cm、km等）や重さの単位（g、kg）かさの単位（dl、l等）やその単位変換について理解する。 ・時間（秒、分、時）について理解する。 ・速さの求め方について理解する。 （思・判・表） ・長さや重さ、かさを、適切な測器を選び方、測定の仕方について理解する。 ・時間の測定の仕方や、適切な単位を選ぶことができる。 ・測定する物に応じて、適切な表現・処理ができる。 （学・人） ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思える。		（知・技） ・身の回りにある物の特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察し、適切な単位を使って測定できる。 （思・判・表） ・身の回りにある物を、適切な単位で表したり、およその見当をつけ、測器を適切に選んで測定できる。 （主・学） ・身の回りにある物の量や時間について親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。		【測定】 ・長さ、重さ、かさについて ・長さ、重さ、かさを測ろう ・身の回りのものの量の単位について		・長さ、重さ、かさの単位について ・長さ、重さ、かさを測る道具と、正しい測り方について ・生産物（野菜）の重さを測ろう ・時間（秒、分、時）について ・速さについて ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施	
		（知・技） ・量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法を理解するとともに、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 （思・判・表） ・目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に捉え考察したりする力を養う。 （学・人） ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思える。		（知・技） ・代表値の意味や求め方を理解することができる。 ・度数分布を表す表や柱状グラフの用い方を理解することができる。 ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 ・起こりうる場合を順序良く整理するための図や表などの用い方を理解することができる。 （思・判・表） ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断することができる。 ・事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。 （主・学） ・身の回りにあるデータやそれを表したグラフに親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。		【データの活用】 ・データの収集とその分析 ・グラフの読み取り ・グラフの作成		・ヒストグラム、代表値 ・資料の平均、度数分布 ・通学時間の違いについてデータを収集・分析しよう ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、視覚教材を利用して学習する ・単元テストの実施	
3 学 期	20								
留意点 引継ぎ等		・授業開始時に、毎回5分間の基礎計算ドリルを解くことで、計算力の向上・維持を図る。							

令和 8年度 高等部 1年 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	1年6組（男子8名、女子2名） （高等部1段階）		改訂新版くらしに役立つ 理科（東洋館出版社）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけるようにする。 （思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 （学・人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知及技）植物の発芽、成長、結実についてその特徴を理解できる。観察・実験に関して初歩的な技能を身につける。 （思判表力）授業や観察実験で疑問に思うことを表現できる。 （学・人）主体的に観察・実験に取り組むことができる。	（知・技）植物の発芽、成長、結実についてその特徴を理解し、観察・実験の初歩的な技能を身につけている。 （思・判・表）授業や観察実験で疑問に思うことを質問することができる。 （主学）主体的に観察・実験に取り組むことができた。	1 生命 (1)植物の発芽、成長、結実 (2) 植物の養分と水のとり道 (3) 植物の花と実 (4)校内、農場の植物	・植物の発芽な条件 ・植物の成長に必要な条件 ・デジタル顕微鏡を使つての観察、実験 ・インゲンマメを使つた発芽実験
2 学期	7	（知及技）人の体のつくりとはたらきについて基本的なことを理解できる。観察・実験に関する初歩的な技能を身につける。 （思判表力）授業や観察実験で疑問に思うことを表現できる。 （学・人）主体的に観察・実験に取り組むことができる。	（知・技）人の体のつくりとはたらきについて基本的なことを理解し、観察・実験など初歩的な技能を身につけている。 （思・判・表）授業や観察実験で疑問に思うことを質問することができる。 （主学）主体的に観察・実験に取り組むことができた。	2 生命 (1)人の体のつくりとはたらき ・体のつくり ・呼吸 ・消化、排出 ・循環	・人体模型を活用した観察 ・病気について映像で視聴
	6	（知及技）土地のつくりと変化について基本的なことを理解できる。 （思判表力）授業や観察実験で疑問に思うことを表現できる。 （学・人）主体的に観察・実験に取り組むことができる。	（知・技）土地のつくりと変化について基本的なことを理解できている。 （思・判・表）授業や観察実験で疑問に思うことを質問することができる。 （主学）主体的に観察・実験に取り組むことができた。	3 地球・自然 (1)土地のつくりと変化 (2) 天気の変化	・写真、映像で視聴
3 学期	10	（知及技）月と太陽、自然災害について基本的なことを理解できる。 （思判表力）授業や観察実験で疑問に思うことを表現できる。 （学・人）主体的に観察・実験に取り組むことができる。	（知・技）月と太陽、自然災害について基本的なことを理解できている。 （思・判・表）授業や観察実験で疑問に思うことを質問することができる。 （主学）主体的に観察・実験に取り組むことができた。	4 地球・自然 (1)月と太陽 (2)自然と災害	・写真、映像で視聴
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度 高等部 2年 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	2年6組（男子5名、女子5名） （高等部1段階）		改訂新版くらしに役立つ 理科（東洋館出版社）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけるようにする。 （思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 （学・人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知及技）さまざまな物質の特徴を理解できる。観察・実験に関して初歩的な技能を身につける。 （思判表力）授業や観察実験で疑問に思うことを表現できる。 （学・人）主体的に観察・実験に取り組むことができる。	（知・技）さまざまな物質の特徴を理解し、観察・実験の初歩的な技能を身につけている。 （思・判・表）授業や観察実験で疑問に思うことを質問することができる。 （主学）主体的に観察・実験に取り組むことができた。	1 さまざまな物質 （1）金属について （2）プラスチックについて （3）その他の物質 ガラス、コンクリート	・オリエンテーション ・金属（鉄、ステンレス、アルム）、プラスチック（ペットボトル）実物を観察 ・校舎、教室内のガラス、コンクリートを観察 ・デジタル顕微鏡を使つての観察、実験 ・磁石を使ってアルミニウム、鉄をわける
	6	（知及技）「てこ」について基本的なことを理解できる。観察・実験に関する初歩的な技能を身につける。 （思判表力）授業や観察実験で疑問に思うことを表現できる。 （学・人）主体的に観察・実験に取り組むことができる。	（知・技）「てこ」について基本的なことを理解できる。観察・実験など初歩的な技能を身につけている。 （思・判・表）授業や観察実験で疑問に思うことを質問することができる。 （主学）主体的に観察・実験に取り組むことができた。	2 「てこ」のしくみとはたらき。 （1）てこのしくみ （2）てこの原理 （3）てこを使った道具	・てこの原理で実験をする。 ・てこを使った道具を観察する。
2学期	7	（知及技）電流のはたらきについて基本的なことを理解できる。 （思判表力）授業や観察実験で疑問に思うことを表現できる。 （学・人）主体的に観察・実験に取り組むことができる。	（知・技）電流のはたらきについて基本的なことを理解できている。 （思・判・表）授業や観察実験で疑問に思うことを質問することができる。 （主学）主体的に観察・実験に取り組むことができた。	3 電流のはたらき （1）身の回りの電池 （2）電流の特徴 （3）電流の特徴を生かした製品 4 電気の利用 （1）さまざまな発電方法	・乾電池の実物を観察 ・まめ電球を使つての実験 ・写真、映像で視聴
	6	（知及技）物の溶け方、水溶液の性質について基本的なことを理解できる。 （思判表力）授業や観察実験で疑問に思うことを表現できる。 （学・人）主体的に観察・実験に取り組むことができる。	（知・技）物の溶け方、水溶液の性質について基本的なことを理解できている。 （思・判・表）授業や観察実験で疑問に思うことを質問することができる。 （主学）主体的に観察・実験に取り組むことができた。	5 物の溶け方 （1）物が溶ける様子 （2）溶かした物を取り出す 6 水溶液の性質 （1）水溶液の種類 酸性、アルカリ性	・砂糖水をつくり実験 ・塩はどのように作るのか ・リトマス紙で水溶液のpHをはかる
3学期	10	（知及技）身の回りの医薬品について基本的なことを理解できる。 （思判表力）授業や観察実験で疑問に思うことを表現できる。 （学・人）主体的に観察・実験に取り組むことができる。	（知・技）身の回りの医薬品について基本的なことを理解できている。 （思・判・表）授業や観察実験で疑問に思うことを質問することができる。 （主学）主体的に観察・実験に取り組むことができた。	7 身の回りの医薬品 （1）薬とはなんだろう （2）説明書の見方 （3）身の回りの洗剤	・写真、映像で視聴
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1,2年 音楽 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 35時間	1年6組（男子8名、女子2名） 2年6組（男5名、女子5名） （高等部1段階）		なし

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
		（知及技）曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けることができる。 （思判表力）音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。 （学・人）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	1 表現 (1)歌唱 ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。（知・技）（思・判・表）	1 表現 (1)歌唱 ・歌詞を理解し、音符記号の名称や意味を知ることができている。（知・技） ・歌詞をイメージし、声の強弱や歌い方を工夫し、曲にふさわしい歌唱表現をすることができている。（思・判・表） ・主体的に歌唱の学習に取り組んでいる。（主学）	音楽を楽しむ	1 表現 (1) 『校歌』 『夢の世界へ』 『A Whole New World』 (2)器楽 - 三線ルーツを知る - 三線の持ち方や奏法を知る - 勘所を理解し、正しい音程を意識して演奏する。 - 工工四を見ながら演奏する。 『きらきら星』 『ていんさぐの花』 2 鑑賞 - 郷土の芸能（沖縄民謡） - 外国の曲 - おすすめ音楽
2 学期	13	(2)器楽 ・楽器表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、楽器表現を創意工夫することができる。（知・技）（思・判・表） (3)創作 ・創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。（知・技）（思・判・表） (4)身体表現 ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。（知・技）（思・判・表） 2 鑑賞 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（学・人）	(2)器楽 ・演奏するために必要な奏法などの技能を身に付けることができている。（知・技） ・音色、速度、旋律を知覚し、曲の特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい器楽表現について思いや意図を持つことができている。（思・判・表） ・主体的に器楽の学習に取り組もうとしている。（主学） (3)創作 ・全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。（知・技） ・音色、旋律、音の重なりを知覚し、曲の特質や雰囲気を感じながら、その曲にふさわしい歌唱表現する。（思・判・表） ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、主体的に歌唱の学習に取り組もうとしている。（主学） (4)身体表現 ・クラブでリズムを取ることで音符の理解を深め、ボディーパッカッションで音楽を表現することができている。（思・判・表）	音楽の表現と工夫	1 表現 (1)歌唱 『童神』 『涙そうそう』 『えんどうの花』 - クリスマスソング (2)器楽 - ギター (3)創作 - 合唱 (4)身体表現 - ボディーパッカッション 2 鑑賞 - 郷土の芸能（沖縄民謡） - クリスマスソング - おすすめ音楽
3 学期	10		2 鑑賞 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、その他の芸術との関わりについて理解している。（知・技） ・生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができている。（思・判・表） ・音楽の特性と音楽の多様性に関心をもち、楽しみながら主体的に鑑賞の学習に取り組んでいる。（主学）	音楽の表現と工夫	1 表現 (1)歌唱 - 卒業式歌 (2)器楽 - キーボード (4)身体表現 - 卒業式歌（指揮、手話） 2 鑑賞 - 新年に関する曲 - 卒業に関する曲 - おすすめ音楽
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高学部 3年 音楽 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 35時間	3年6組（男子8名、女子2名） （高等部2段階）		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	1 表現 (1) 歌唱 (知・技) 歌唱表現についての知識や技能を得たりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。 (知・技) (思・判・表)	1 表現 (1) 歌唱 (知・技) 歌詞を理解 (思・判・表) 音色、リズム、旋律を知覚し、どのように歌うかについて表現しようとしている。 (主学) 音楽を幅広く様々な視点から捉え、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	(1)歌唱 【曲にあった声で歌おう】 ・『校歌』 ・『優しいあの子』 ・『さとうきび畑』 (2)器楽 【楽器に挑戦しよう】 ・三線 (沖縄音楽に挑戦) (3) 鑑賞 【私のお勧めの音楽】	・歌詞の内容や曲想から、曲に対するイメージをもつ。 ・曲の雰囲気にあった発生や言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌う。 《慰霊の日の前後に特設授業を行う》 ・沖縄戦について学び、ワークシートにまとめる。 ・曲が作られた背景を知り、歌詞に込められた思いについて考える。 ・曲を鑑賞し、発音、表現の仕方を感じ取り、自分の表現へ生かす。 ・三線の奏法をしり、勘所を理解し、正しい音程を意識して演奏する。 ・工工四を理解し曲を演奏する。 ・好きな音楽を発表・鑑賞し、選択した曲について曲想について表現する。(プリントで振り返る)
2 学期	13	(2)器楽 ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、楽器表現を創意工夫することができる。 (知・技) (思・判・表) (3)創作 ・創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、楽器表現を創意工夫することができる。 (知・技) (思・判・表) (4)身体表現 ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を相違工夫することができる。 (知・技) (思・判・表)	(2)器楽 (知・技) 楽器の音色や奏法との関わり、歴史的背景や郷土の音楽の特徴について理解している。 曲の奏法、身体を使い方などの技能を身につけ楽器で表している。 (思・判・表) 音色、速度、旋律を知覚し、曲の特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい器楽表現について思いや意図をもっている。 (主学) 楽器の奏法を学び、音色や奏法の特徴を感じ取り、表現や文化に関心をもち主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 (3)創作 (知・技) 音の重なりや連なりによる響きと特徴について理解している。 旋律や和音を付ける技能を身に付け創作で表している。 (思・判・表) 音の重なりや連なりを知覚し、曲の特質や雰囲気を感じながら、その関係を考え表現しようとしている。 (主学) 音の重なりや連なり旋律に合う音を選び編曲することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	(1)歌唱 【自分の好きな歌を歌おう】 (2)器楽 【楽器に挑戦しよう】 ・ドラム ・フォークギター ・GarageBand ・コード (3)身体表現 【気持ちを合わせて】 ・カップス (4) 鑑賞 【季節の歌を聴こう】 ・J-POP ・クリスマスソング ・お勧めの音楽	・好きな歌を選曲し歌うことで、主体的に表現活動ができる。 ・既習のリズムを使って、ドラムの基本の奏法に挑戦する。 ・ギターの種類や素材、タブ譜の見方を知り、ギターのコード弾きに挑戦する。 ・和音（コード）の構成音について学習し、メジャーとマイナーの響きの違いを感じとったり、コードの表記の仕方について知る。 ・音楽アプリを活用し、アプリ内の楽器で好きな楽曲の演奏に挑戦する。 ・ネットでコード譜検索の仕方を知り、好きな曲を検索し演奏に挑戦する。 ・カップスの基本のリズムを取得し、個人またはグループで発表して聴きあう。 ・冬の歌を選択し、聞くことで季節感を感じ、音楽の意味や豊かさを感じることができる。(プリントで振り返る)
3 学期	10	2 鑑賞 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。 (学・人)	(4)身体表現 ・クラブでリズムを取ることで音符の理解を深め、ボディーパッションで音楽を表現する。(思・判・表) 2 鑑賞 (知・技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、その他の芸術との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律を知覚し生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わいながら聴こうとしている。 (主学) 言葉の特徴や発声の仕方、楽器の音色や変化や表現方法に関心をもち主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	(1)歌唱 【気持ちを合わせて】 ・卒業の歌 (2)器楽 【創作してみよう】 ・GarageBand (3)鑑賞 【季節の歌を聴こう】 ・春の歌	・卒業式の歌に選ばれた曲の歌詞の内容や曲の雰囲気を味わうことができる。 (プリントを活用) ・卒業生で気持ちを合わせて歌う。 ・GarageBandを活用して、弾き語りなどに挑戦する。 ・ipadを活用して自ら曲を選択し、季節の曲を聴くことで、感情表現と音楽の豊かさを感じる。(プリントで振り返る)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高学部 1年 美術 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 35時間	1年6組（男子8名、女子2名） （高等部1段階）		なし

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 （思・判・表）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知・技）鉛筆やグラデーションについて理解する。 （思・判・表）友達の作品などを鑑賞して感想を文章などで表現する。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）鉛筆やグラデーションの特徴を理解してグラデーションが描ける。 （思・判・表）鉛筆の持ち方、描き方を工夫してグラデーションの段階を調整して描くことができる。連休の絵の中にグラデーションを活用することができる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	鉛筆グラデーション、連休の絵	- 鉛筆削り - グラデーション - 連休の絵
	7	（知・技）切り絵の技法を身に付ける。 （思・判・表）友達の作品などを鑑賞して感想を文章などで表現する。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）道具の名前や特徴を理解する。デザインカッターを使った切り絵の技術を身に付ける。 （思・判・表）作業が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	アニメで切り絵	- 切り絵について（鑑賞） - アイデアスケッチ - 下絵 - 切り絵
2学期	8	（知・技）版画（木版・コラグラフ）の技法を身に付ける。 （思・判・表）アイデアスケッチからコラージュの材料を選ぶことができる。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）版画（木版・コラグラフ）で使う道具の名前や特徴を理解する。コラグラフ制作の技術を身に付ける。 （思・判・表）アイデアスケッチをもとにコラージュの材料を工夫して選ぶことができる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	版画（木版・コラグラフ）	- 版画について（鑑賞） - アイデアスケッチ - 下絵 - コラグラフ制作 - 刷り作業（プレス機）
	9	（知・技）版画（木版・コラグラフ）の技法を身に付ける。 （思・判・表）友達の作品などを鑑賞して感想を文章などで表現する。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）版画（木版・コラグラフ）で使う道具や機械の名前や特徴を理解する。木版制作の技術を身に付ける。 （思・判・表）課題が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	版画（木版・コラグラフ）	- 木版制作 - 刷り作業（馬連） - 裏彩色 - 額装
3学期	3	（知・技）壁画を描くための技法を身に付ける。 （思・判・表）壁画のアイデアスケッチを描くことができる。 （学・人）友達と協力して壁画制作に参加することができる。	（知・技）壁画制作の手順や投影方法などを行うことができる。 （思・判・表）卒業生のことをテーマに思い浮かべアイデアスケッチを描くことができる。 （主・学）壁画制作に自ら参加し、協力して制作できる。	卒業生を送る会の壁画	- アイデアスケッチ - 投影 - 壁画下絵 - 壁画制作
	2	（知・技）1年間を振り返り作品集を作ることができる。 （思・判・表）まとめた作品集について発表することができる。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）制作した順番や製本の方法を理解し作品集を作ることができる。 （思・判・表）作品集の中から最も好きな作品を選び発表することができる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品集を完成させることができる。	作品集作り	- 作品をまとめる - 作品集作り
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高学部 2年 美術 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 35時間	2年6組（男子5名、女子5名） （高等部2段階）		なし

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 （思・判・表）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知・技）カーボン紙やアクリル絵の具について理解する。 （思・判・表）アクリル絵の具で塗る部分を自分で工夫して着色する。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）就業体験の写真を下書きし、アクリル絵の具の乾燥したら溶けない特徴を理解して絵が描ける。 （思・判・表）人物と思い入れのある部分をアクリル絵の具で着色することができる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	就業体験の絵	- 写真の選択 - 下書き - アクリル絵の具着色
	7	（知・技）ポスターカラーや油絵の具の扱い方がわかる。 （思・判・表）友達の作品などを鑑賞して感想を文章などで表現する。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）ポスターカラーや油絵の具を使って作品に彩りを加えることができる。 （思・判・表）友達の作品について、好きなところやいいところを感想にすることができる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	就業体験の絵	- ドリップング - 洗濯絵画 - 鑑賞
2学期	8	（知・技）デジタル画像の編集技法を身に付ける。 （思・判・表）画像検索を通してコラージュの材料を選ぶことができる。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）デジタルカメラやパソコン周辺機器の名前や使い方を理解する。コラージュ制作の技術を身に付ける。 （思・判・表）アイデアスケッチをもとにコラージュの材料を工夫して選ぶことができる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	デジタルコラージュ	- コラージュについて（鑑賞） - アイデアスケッチ - 下絵 - コラージュ制作 - 印刷
	9	（知・技）デジタル画像の編集技法を身に付ける。 （思・判・表）画像検索を通してコラージュの材料を選ぶことができる。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）デジタルカメラやパソコン周辺機器の名前や使い方を理解する。コラージュ制作の技術を身に付ける。 （思・判・表）アイデアスケッチをもとにコラージュの材料を工夫して選ぶことができる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	デジタルコラージュ	- コラージュについて（鑑賞） - アイデアスケッチ - 下絵 - コラージュ制作 - 印刷
3学期	3	（知・技）壁画を描くための技法を身に付ける。 （思・判・表）壁画のアイデアスケッチを描くことができる。 （学・人）友達と協力して壁画制作に参加することができる。	（知・技）壁画制作の手順や投影方法などを行うことができる。 （思・判・表）卒業生のことをテーマに思い浮かべアイデアスケッチを描くことができる。 （主・学）壁画制作に自ら参加し、協力して制作できる。	卒業生を送る会の壁画	- アイデアスケッチ - 投影 - 壁画下絵 - 壁画制作
	2	（知・技）1年間を振り返り作品集を作ることができる。 （思・判・表）まとめた作品集について発表することができる。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）制作した順番や製本の方法を理解し作品集を作ることができる。 （思・判・表）作品集の中から最も好きな作品を選び発表することができる。 （主・学）課題に集中して取り組み、作品集を完成させることができる。	作品集作り	- 作品をまとめる - 作品集作り
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高学部 3年 美術 年間指導計画

単位数 ／配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 35時間	3年6組（男子8名、女子2名） （高等部2段階）		なし

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 （思・判・表）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知・技）カーボン紙やアクリル絵の具について理解する。 （思・判・表）アクリル絵の具で塗る部分を自分で工夫して着色する。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）就業体験の写真を下書きし、アクリル絵の具の乾燥したら溶けない特徴を理解して絵が描ける。 （思・判・表）人物と思い入れのある部分をアクリル絵の具で着色することができる。 （主学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	就業体験の絵	- 写真の選択 - 下書き - アクリル絵の具着色
	7	（知・技）ポスターカラーや油絵の具の扱い方がわかる。 （思・判・表）友達の作品などを鑑賞して感想を文章などで表現する。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）ポスターカラーや油絵の具を使って作品に彩りを加えることができる。 （思・判・表）友達の作品について、好きなところやいいところを感想にすることができる。 （主学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	就業体験の絵	- ドリップング - 洗濯絵画 - 鑑賞
2学期	8	（知・技）動画編集の技法を身に付ける。 （思・判・表）アイデアスケッチから動画の材料を選ぶことができる。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）デジタル編集の技法や効果を理解する。簡単な動画編集の技術を身に付ける。 （思・判・表）アイデアスケッチ・絵コンテをもとに動画の材料を工夫して選ぶことができる。 （主学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	デジタル動画編集	- デジタル動画について（鑑賞） - アイデアスケッチ - 下絵 - デジタル動画編集 - 動画書き出し
	9	（知・技）動画編集の技法を身に付ける。 （思・判・表）アイデアスケッチから動画の材料を選ぶことができる。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）デジタル編集の技法や効果を理解する。簡単な動画編集の技術を身に付ける。 （思・判・表）アイデアスケッチ・絵コンテをもとに動画の材料を工夫して選ぶことができる。 （主学）課題に集中して取り組み、作品を完成させることができる。	デジタル動画編集	- デジタル動画について（鑑賞） - アイデアスケッチ - 下絵 - デジタル動画編集 - 動画書き出し
3学期	3	（知・技）壁画を描くための技法を身に付ける。 （思・判・表）壁画のアイデアスケッチを描くことができる。 （学・人）友達と協力して壁画制作に参加することができる。	（知・技）壁画制作の手順や投影方法などを行うことができる。 （思・判・表）卒業生のことをテーマに思い浮かべアイデアスケッチを描くことができる。 （主学）壁画制作に自ら参加し、協力して制作できる。	卒業生を送る会の壁画	- アイデアスケッチ - 投影 - 壁画下絵 - 壁画制作
	2	（知・技）1年間を振り返り作品集を作ることができる。 （思・判・表）まとめた作品集について発表することができる。 （学・人）最後までやり遂げる態度を養う。	（知・技）制作した順番や製本の方法を理解し作品集を作ることができる。 （思・判・表）作品集の中から最も好きな作品を選び発表することができる。 （主学）課題に集中して取り組み、作品集を完成させることができる。	作品集作り	- 作品をまとめる - 作品集作り
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高学部 1年2年 体育 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3単位 105時間	1年6組（男子8名、女子2名） 2年6組（男子5名、女子5名） （高等部1段階）		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種運動の特性に応じた技能と個人生活及び社会生活における健康・安全について理解を深め、目的や状況に応じた技能を身につけることができる。 (思判表力) 各種の運動や健康・安全について自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができる。 (学・人) 生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	(知及技) 体育の目的を理解し施設や道具の使用方法を身につけることができる。 (思判表力) 年間の見通しをたて気づいたことに質問したり相談することができる。	(知・技) 体育の目的や道具の使用法について理解している。 (思・判・表) 体育的行事を理解、それに向けてどのような活動が必要であるか発表している。	オリエンテーション	・ICT教材を使用した授業の実施 ・体育の年間計画について ・授業の進め方について
	8	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体の動かし方や方法を身につけることができる。 (思判表力) 運動を通して自他の課題を見つけ、解決のために教師や仲間相談したり質問することができる。 (学・人) 体力の違いを理解し、自己の役割を果たし、安全に気を付け仲間と協力し取り組むことができる。	(知・技) 指示に対する体を動かし方を理解している。種目に応じて体の動かし方している。 (思・判・表) 自他の課題を見つけ、その課題に応じた練習方法を選択している。 (主学) 運動の補助をしたり仲間に助言し学習の援助しようとしている。	・集団行動 ・新体力テスト	・集合、整列、方向転換、発声 ・握力 ・50m走 ・20mシャトルラン ・ハンドボール投げ ・記録用紙
	8	(知及技) 水に親しみ、自己の能力に応じた泳ぎ方や泳法を身につけることができる。 (思判表力) 水泳を通して自他の課題を見つけ、解決のために教師や仲間相談したり質問することができる。 (学・人) 泳力の違いを理解し、自己の役割を果たし、安全に気を付け仲間と協力し取り組むことができる。	(知・技) 水泳の特性や自己の能力に応じた技能について理解している。自己の能力に応じた泳法で泳ぐことができる。 (思・判・表) 水泳を通して自己や他者の課題を見つけ、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 水泳を通してルールやマナーを守り自己の役割を果たし仲間と協力しようとしている。	・水泳	・けのび ・バタ足 ・クロール ・平泳ぎ ・泳力シート
	13	(知及技) 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することができる。 各種目に応じたボールや道具の操作や種目の特性に応じた動きなどによって攻防することができる。 (思判表力) 球技を通して攻防など自他の課題を見つけ、解決のために教師や仲間相談したり質問することができる。 (学・人) 体力の違いを理解し、自己の役割を果たし、安全に気を付け仲間と協力し取り組むことができる。	(知・技) 各種目の技術や戦術の名称とそれを身に付けるためのポイントを理解している。 (思・判・表) 種目に応じて自他の課題を見つけ、その課題に応じ練習方法を選択している。 (主学) 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。練習の補助をしたり仲間に助言したりして、学習の援助しようとしている。	球技 ・バレー ・バスケットボール ・バドミントン ・ソフトボール ・サッカー	・対人技能 ・個人技能 ・ゲーム ・審判法
	2	(知及技) 健康の考え方や健康課題について平均寿命や健康寿命の指標を通して理解することができる。 (思判表力) 健康の考え方や健康課題について自分の意見をまとめ説明することができる。 (学・人) 自他の健康づくりに関心を持ち、学んだことを発言・記述など学習活動に意欲的に取り組むことができる。	(知・技) 健康の考え方や課題について理解している。 (思・判・表) 自他の及び社会生活と関連付けて健康の考え方や課題を発見している。 (主学) 健康の考え方や課題について関心を持ち学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・保健 「健康の成り立ちと考え方」	・学習プリント ・Forms
	10	(知及技) 気持ちを込めて踊ったり仲間と踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特徴や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解することができる。 (思判表力) 表現の仕方など、自己の課題を見つけ、解決のために教師や仲間相談したり質問することができる。 (学・人) 体力や表現力の違いを理解し、自己の役割を果たし、安全に気を付け仲間と協力し取り組むことができる。	(知・技) リズムに乗り体を動かす楽しさや喜びを味わい、その技術を高めるためのポイントを理解している。 (思・判・表) 体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間と楽しむ為の表現や交流を行う方法を見つけている。 (主学) ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。練習の補助をしたり仲間に助言したりして、学習の援助しようとしている。	ダンス 創作ダンス 現代的なリズムのダンス	・個人表現 ・集団表現 ・発表会

2 学期	15	(知及技) 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。 各種目に応じたボールや道具の操作や種目の特性に応じた動きなどによって攻防することができる。 (思判表力) 球技を通して攻防など自他の課題を見つけ、解決のために教師や仲間と相談したり質問することができる。 (学・人) 体力の違いを理解し、自己の役割を果たし、安全に気を付け仲間と協力し取り組むことができる。	(知・技) 各種目の技術や戦術の名称とそれを身に付けるためのポイントを理解している。 (思・判・表) 種目に応じて自他の課題を見つけ、その課題に応じ練習方法を選択している。 (主学) 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。練習の補助をしたり仲間に助言したりして、学習の援助をしようとしている。	球技 ・バレー ・バスケットボール ・バドミントン ・ソフトボール ・サッカー	・対人技能 ・個人技能 ・ゲーム ・審判法
	18	(知及技) 陸上競技の特性、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などについて理解することができる。 短距離走では滑らかに早く走ること、長距離走では自己に適したペースを維持して走ることができる。 (思判表力) 種目を通して自己の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝える事ができる。 (学・人) 陸上競技に積極的に取り組み、勝敗などを認めルールやマナーを守ろうとする。分担した役割を果たそうとしたり、健康安全に気を配ることができる。	(知・技) 自己の記録に挑戦したり、競走したりする楽しさや喜びを味わうことについて理解している。 自己にあったピッチとストライドで早く走ることができる。 ペースを一定にして走ることができる。 (思・判・表) 種目に応じて自他の課題を見つけ、その課題に応じ練習方法を選択している。 (主学) 陸上競技に積極的に取り組もうとしている。勝敗などを認めルールやマナーを守ろうとしている。	陸上競技 ・短距離走 ・長距離走	・スタンディングスタート ・クラウチングスタート ・100m走 ・リレー ・持久走
	2	(知及技) 運動・食事・睡眠と健康について理解することができる。 適切な運動・食事・睡眠について個人及び社会の取り組みについて理解する。 (思判表力) 運動・食事・睡眠と健康について自分の意見をまとめ説明することができる。 (学・人) 運動・食事・睡眠と健康の関連について関心を持ち、学んだことを発言・記述など学習活動に意欲的に取り組むことができる。	(知・技) 生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) 自他の及び社会生活と関連付けて健康の考え方や課題を発見している。 (主学) 生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	・保健 「食事と健康」 「運動・休養と健康」	・学習プリント ・Forms
3 学期	11	(知及技) 陸上競技の特性、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などについて理解することができる。 短距離走では滑らかに速く走ること、長距離走では自己に適したペースを維持して走ることができる。 (思判表力) 種目を通して自己の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝える事ができる。 (学・人) 陸上競技に積極的に取り組み、勝敗などを認めルールやマナーを守ることができる。分担した役割を果たそうとしたり、健康安全に気を配ることができる。	(知・技) 自己の記録に挑戦したり、競走したりする楽しさや喜びを味わうことについて言ったり、書き出したりしている。 自己にあったピッチとストライドで速く走ることができる。 ペースを一定にして走ることができる。 (思・判・表) 種目に応じて自他の課題を見つけ、その課題に応じ練習方法を選択している。 (主学) 陸上競技に積極的に取り組もうとしている。勝敗などを認めルールやマナーを守ろうとしている。	陸上競技 ・短距離走 ・長距離走	・スタンディングスタート ・クラウチングスタート ・100m走 ・リレー ・持久走
	15	(知及技) 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することができる。 各種目に応じたボールや道具の操作や種目の特性に応じた動きなどによって攻防することができる。 (思判表力) 球技を通して攻防など自他の課題を見つけ、解決のために教師や仲間と相談したり質問することができる。 (学・人) 体力の違いを理解し、自己の役割を果たし、安全に気を付けて仲間と協力し取り組むことができる。	(知・技) 各種目の技術や戦術の名称とそれを身に付けるためのポイントを理解している。 (思・判・表) 種目に応じて自他の課題を見つけ、その課題に応じ練習方法を選択している。 (主学) 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。練習の補助をしたり仲間に助言したりして、学習の援助をしようとしている。	球技 ・バレー ・バスケットボール ・バドミントン ・ソフトボール ・サッカー	・対人技能 ・個人技能 ・ゲーム ・審判法
	2	(知及技) 思春期における心身の発達や性的成熟について理解することができる。 自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解することができる。 (思判表力) 思春期の心身の変化や行動について自分の意見をまとめ説明することができる。 (学・人) 思春期や思春期の行動について関心を持ち、学んだことを発言・記述など学習活動に意欲的に取り組むことができる。	(知・技) 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化について、理解している。 (思・判・表) 思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 (主学) 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・保健 「思春期と健康」	・学習プリント ・Forms
留意点 引継ぎ等	105				

令和8年度 高学部 3年 体育 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3単位 105時間	3年6組（男子8名、女子2名） （高等部2段階）		なし

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）各種運動の特性に応じた技能と個人生活及び社会生活における健康・安全について理解を深め、目的や状況に応じた技能を身につけることができる。 （思判表力）各種の運動や健康・安全について自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができる。 （学・人）生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	（知及技）体育の目的を理解し施設や道具を安全に使用する方法を身につけることができる。 （思判表力）年間の見通しをたて気づいたことに質問したり相談することができる。	（知・技）体育の目的や道具の安全な使用法について理解している。 （思・判・表）体育的行事を理解、それに向けてどのような活動が必要であるか発表している。	オリエンテーション	・ICT教材を使用した授業の実施 ・体育の年間計画について ・授業の進め方について
	8	（知及技）運動を行う意味や、心と体の関係に気づき運動を計画することができる。 （思判表力）運動を通して自他の課題を見つけ、解決のために教師や仲間相談したり質問することができる。 （学・人）1人1人の違いを理解し、互いに助け合いながら、仲間と協力し取り組むことができる。	（知・技）心と体の関係を理解し継続して運動することについて理解している。 （思・判・表）自他の課題を見つけ、その課題に応じ練習方法を選択している。 （主学）体づくり運動に自主的に取り組み、仲間と協力して安全に取り組んでいる。	体づくり運動 ・集団行動 ・新体力テスト	・集合、整列、方向転換、発声 ・握力 ・50m走 ・20mシャトルラン ・ハンドボール投げ ・記録用紙
	8	（知及技）技術の名称や行い方を理解できる。クロールや平泳ぎの手と足の動き、呼吸のバランスを保ち長く泳いだり速く泳ぐことができる。 （思判表力）泳法などの自己や仲間の課題を発見し解決にむけ運動に取り組むことができる。 （学・人）1人1人の違いを理解し、互いに助け合いながら、仲間と協力し安全に取り組むことができる。	（知・技）クロールや平泳ぎで用いられる技術の名称や効率的に泳ぐポイントを理解している。手の動きや足のタイミングに合わせ呼吸を行いかたやリラックスした泳ぎ方を理解している。 （思・判・表）自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法を選択している。 （主学）水泳に自主的に取り組み、仲間と協力して安全に取り組んでいる。	・水泳	・けのび ・バタ足 ・クロール ・平泳ぎ ・泳力シート
	13	（知及技）技術の名称や行い方、体力の高め方運動観察の方法などを理解することができる。 各種目に応じて安定したボール操作や道具の操作や種目の特性に応じた動きなどによって攻防することができる。 （思判表力）球技を通して攻防など自己やチームの課題を発見し、解決に向けて運動に取り組む事ができる。 （学・人）1人1人の違いを理解し、互いに助け合いながら、フェアなプレイで仲間と協力し安全に取り組むことができる。	（知・技）各種目の技術や戦術、作戦には名称とそれを身に付けるためのポイントを理解している。 （思・判・表）自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法を選択している。 （主学）球技に自主的に取り組み、仲間と協力して安全に取り組んでいる。	球技 ・バレー ・ドッジボール ・バスケットボール ・バドミントン ・ソフトボール ・サッカー	・対人技能 ・個人技能 ・ゲーム ・審判法
	2	（知及技）健康の考え方や健康課題について平均寿命や健康寿命の指標を通して理解することができる。 （思判表力）健康の考え方や健康課題について自分の意見をまとめ説明することができる。 （学・人）自他の健康づくりに関心を持ち、学んだことを発言・記述など学習活動に意欲的に取り組むことができる。	（知・技）健康の考え方や課題について理解している。 （思・判・表）自他の及び社会生活と関連付けて健康の考え方や課題を発見している。 （主学）健康の考え方や課題について関心を持ち学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・保健 「健康の成り立ちと考え方」	・学習プリント ・Forms
	10	（知及技）気持ちを込めて踊ったり仲間と踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特徴や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解することができる。 （思判表力）表現の仕方など、自己の課題を見つけ、解決のために教師や仲間相談したり質問することができる。 （学・人）体力や表現力の違いを理解し、自己の役割を果たし、安全に気を付け仲間と協力し取り組むことができる。	（知・技）イメージの捉え方や表現方法、それを身に付けるためのポイントを理解している。 （思・判・表）自己の能力やグループの特性に応じた技能の習得と課題設定を行い練習や創作活動を行っている。 （主学）ダンスの学習に自主的に取り組み、仲間と協力して安全に取り組んでいる。	ダンス 創作ダンス 現代的なリズムのダンス	・個人表現 ・集団表現 ・発表会

2 学期	15	(知及技) 技術の名称や行い方、体力の高め方運動観察の方法などを理解することができる。 各種目に応じて安定したボール操作や道具の操作や種目の特性に応じた動きなどによって攻防することができる。 (思判表力) 球技を通して攻防など自己やチームの課題を発見し解決にむけ運動に取り組む事ができる。 (学・人) 1人1人の違いを理解し、互いに助け合いながら、フェアなプレイで仲間と協力し安全に取り組むことができる。	(知・技) 各種目の技術や戦術、作戦には名称とそれを身に付けるためのポイントを理解している。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法を選択している。 (主学) 球技に自主的に取り組み、仲間と協力して安全に取り組んでいる。	球技 ・バレー ・バスケットボール ・バドミントン ・ソフトボール ・サッカー	・対人技能 ・個人技能 ・ゲーム ・審判法
	18	(知及技) 技術の名称や行い方、体力の高め方運動観察の方法などを理解することができる。 短距離走・リレーでは中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、長距離走では自己に適したペースを維持して走ることができる。 (思判表力) 各種目を通して自己や仲間の課題を発見し解決にむけ運動に取り組む事ができる。 (学・人) 1人1人の違いを理解し、勝敗などを認め、互いに助け合いながら、フェアなプレイで仲間と協力し安全に取り組むことができる。	(知・技) 各種目で用いられる技術の名称や記録向上につながるポイントを理解している。 スタートから中間走へのつなぎを意識して速く走ることができる。 一定のペースで長い距離を走ることができる。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法を選択している。 (主学) 陸上競技に自主的に取り組み、勝敗を認め、仲間と協力して安全に取り組んでいる。	陸上競技 ・短距離走 ・長距離走	・スタンディングスタート ・クラウチングスタート ・100m走 ・リレー ・持久走
	2	(知及技) 運動・食事・睡眠と健康について理解することができる。 適切な運動・食事・睡眠について個人及び社会の取り組みについて理解することができる。 (思判表力) 運動・食事・睡眠と健康について自分の意見をまとめ説明することができる。 (学・人) 運動・食事・睡眠と健康の関連について関心を持ち、学んだことを発言・記述など学習活動に意欲的に取り組むことができる。	(知・技) 生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (思・判・表) 自他の及び社会生活と関連付けて健康の考え方や課題を発見している。 (主学) 生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	・保健 「食事と健康」 「運動・休養と健康」	・学習プリント ・Forms
3 学期	11	(知及技) 技術の名称や行い方、体力の高め方運動観察の方法などを理解することができる。 短距離走・リレーでは中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、長距離走では自己に適したペースを維持して走ることができる。 (思判表力) 各種目を通して自己や仲間の課題を発見し解決にむけ運動に取り組む事ができる。 (学・人) 1人1人の違いを理解し、勝敗などを認め、互いに助け合いながら、フェアなプレイで仲間と協力し安全に取り組むことができる。	(知・技) 各種目で用いられる技術の名称や記録向上につながるポイントを理解している。 スタートから中間走へのつなぎを意識して速く走ることができる。 一定のペースで長い距離を走ることができる。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法を選択している。 (主学) 陸上競技に自主的に取り組み、勝敗を認め、仲間と協力して安全に取り組んでいる。	陸上競技 ・短距離走 ・長距離走	・スタンディングスタート ・クラウチングスタート ・100m走 ・リレー ・持久走
	15	(知及技) 技術の名称や行い方、体力の高め方運動観察の方法などを理解することができる。 各種目に応じて安定したボール操作や道具の操作や種目の特性に応じた動きなどによって攻防することができる。 (思判表力) 球技を通して攻防など自己やチームの課題を発見し解決にむけ運動に取り組む事ができる。 (学・人) 1人1人の違いを理解し、互いに助け合いながら、フェアなプレイで仲間と協力し安全に取り組むことができる。	(知・技) 各種目の技術や戦術、作戦には名称とそれを身に付けるためのポイントを理解している。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法を選択している。 (主学) 球技に自主的に取り組み、仲間と協力して安全に取り組んでいる。	球技 ・バレー ・ドッジボール ・バスケットボール ・バドミントン ・ソフトボール ・サッカー	・対人技能 ・個人技能 ・ゲーム ・審判法
	2	(知及技) 思春期における心身の発達や性的成熟について理解することができる。 自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解することができる。 (思判表力) 思春期の心身の変化や行動について自分の意見をまとめ説明することができる。 (学・人) 思春期や思春期の行動について関心を持ち、学んだことを発言・記述など学習活動に意欲的に取り組むことができる。	(知・技) 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化について、理解している。 (思・判・表) 思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関する情報を適切に整理している。 (主学) 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・保健 「思春期と健康」	・学習プリント ・Forms
留意点 引継ぎ等	105				

令和8年度 高等部 1年 職業 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位／ 70時間	1学年 10名 (高等部1段階)		知的障害・発達障害の人たちのための新・見てわかる ビジネスマナー集(ジヤース教育新社)

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。 (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	24	(知及技) ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。 (思判表力) ・作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現する。 (学・人) ・意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。	(知及技) ・接客の基本とポイントを確認し、姿勢よく発声している。 ・毎時間、授業前に身だしなみを整えている。 ・ゆがみやかすれのないよう押印できる。 ・適切な大きさ、ていねいな字で書類に記入できる。 (思・判・表) ・グループの中で自分の意見を出したり、他者の話を聞いて協力したりできる。 (主学) ・グループの中で主体的に課題に取り組んでいる。 ・積極的に他者と関わろうとしている。 ・丁寧にプリントを記入し、ファインリングしている。	・オリエンテーション ・接客の基本とポイントの確認 ・表情と姿勢の確認 ・ペーパータワー ・社会人に必要な力 ・コミュニケーション力を高める ・接客の基本 ・買い物学習(自分の印鑑を買う) ・書類の書き方、押印の仕方	・プリント学習 ・グループ学習 ・校外学習 ・ミニチェックテスト
2 学 期	26	(知及技) ・使用する道具の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱う。 (思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図る。 (学・人) ・作業や実習等に向け、計画性をもって主体的に取り組む。	(知及技) ・接客用語を用いながらレジ接客の対応ができる。 ・適切な言葉を用いて、流れを確認しながら金銭の授受を行うことができる。 ・喫茶サービスの手順を理解し、実践できる。 (思・判・表) ・題に合った内容で、表情や声の大きさに気を配りながらスピーチできる。 ・他者の話を聞きながらメモを取ることができる。 ・接客の手順を確認し、適切な声量で表情豊かに対応できる。 (主学) ・喫茶サービスの手順の中で自分の課題を見つけ、改善しようと工夫している。 ・他者のスピーチを姿勢よく聞くことができる。 ・丁寧にプリントを記入し、ファインリングしている。	・レジ接客の基本 ・スピーチの練習 ・喫茶サービス ・重要なことをメモする	・接客用語を使った実践練習 ・お金を数える ・レジの練習 ・人前で自分のことを話す練習 ・喫茶サービスに必要な言葉と動きの習得 ・必要なことについてすばやくメモを取る練習 ・単元ごとの確認テスト
3 学 期	20	(知及技) ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業する。 (思判表力) ・作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現する。 (学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む。	(知及技) ・言葉遣いを確認しながらその状況に合った電話応対ができる。 ・必要な情報を取り入れ、効果的なPOPを作成できる。 ・ていねいに商品を扱い、梱包できる。 (思・判・表) ・ゲーム内容をわかりやすく他者に説明し、進行できる。 ・文字の形や大きさ、色使いを工夫しながらPOPを作成している。 (主学) ・主体的に課題に取り組んでいる。 ・他者のスピーチを姿勢よく聞くことができる。 ・丁寧にプリントを記入し、ファインリングしている。	・POPを描く ・商品の梱包 ・会社見学や実習の心得 ・面接時の服装 ・面接時の態度 ・就職希望の理由(動機)を伝える ・伝えたい得意なこと・苦手なこと・配慮してほしいこと	・電話応対の練習(ペア) ・客の関心を引き寄せる魅力的なPOP作り ・ゲーム手順を他者にわかりやすく説明し、進行する。 ・グループ学習 ・箱の梱包 ・単元ごとの確認テスト
留意点 引継ぎ等		・接客の基本用語、ポイント、身だしなみチェックは毎時間実施する。 ・単元ごとに確認テストを実施し、評価に加える。 ・グループ学習は課題達成の結果ではなく、協力して取り組む姿勢や他者との関わり方を重視して評価する。			

令和8年度 高等部 2年 職業 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位／ 70時間	2学年 10名 (高等部1段階)		知的障害・発達障害の人たちのための新・見てわかるビジネスマナー集(ジヤース教育新社)

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。 (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	24	(知及技) ・接客の心構えや身だしなみを身に付ける。 ・社会人に必要な力について考える。 (思判表力) ・その場に応じた対応方法を考え、トラブルが起きた際に適切な対応について考えることができる。 (学・人) ・面接の仕方を学び、実習前の面接で実践できる。	(知及技) ・接客の基本とポイントを姿勢よく確認している。 ・毎時間きちんと身だしなみを整えている。 ・接客用語を使って、基本的なあいさつができる。 (思・判・表) ・トラブルの対応方法をグループで考えることができる。 ・起こりえるトラブルについて想定し準備をすることができる。 (主学) ・正しい姿勢、目線、声の大きさ、表情に気をつけて面接を受けることができる。 ・面接の場で自己紹介ができる。	・オリエンテーション ・働き始めてから気をつけること ・トラブル対応 ・面接実践	・接客の基本とポイントの確認 ・身だしなみチェック ・表情と姿勢の確認 ・プリント学習 ・グループワークで対応方法の共有 ・一対一での面接実践練習 ・単元ごとの確認テスト
2 学期	26	(知及技) ・タブレットを活用し資格が活用できる職種を調べる。 ・ハローワークの求人票から必要な資格を調べる。 (思判表力) ・他者の前でその場に合った話し方を身に付ける。 (学・人) ・生産から販売までの流れを理解する。	(知及技) ・資格の活用できる職種について調べることができる。 ・自分の興味のある職種に必要な資格を調べることができる。 (思・判・表) ・仕事とプライベートの違いを判断し言葉つかいの使い分けを考える。 (主学) ・商品の数、値段などをグループで話し合い、販売の計画が立てられる。	・仕事をするとき心がけること ・資格の種類や活かすことのできる職種 ・即売会に向けた販売計画	・接客用語を使った実践練習 ・自分の取得した資格を活かすことができる職業調べ ・興味のある職種に必要な資格調べ ・グループでの販売計画 ・単元ごとの確認テスト
3 学期	20	(知及技) ・電話応対の知識や方法を習得する。 ・志望動機の書き方を学習し実践することができる。 (思判表力) ・社会人に求められる電話応対の技術を身に付ける。 ・相手にわかりやすく伝わる表現方法を工夫する。 (学・人) ・自分の課題を見つけ、改善を図る。 ・1年間の学習内容をふりかえり、まとめる。	(知及技) ・言葉遣いを確認しながら電話の応対を行っている。 ・就業体験の経験や自分の得意なことを盛り込み志望動機を作成することができる。 (思・判・表) ・場に応じた言葉遣いで電話応対ができる。 ・自分の考えを志望動機にまとめることができる。 (主学) ・主体的に課題に取り組んでいる。 ・1年間のプリント整理し、学習内容を振り返ることができる。	・電話の応対 ・履歴書の書き方 ・1年間の振り返り	・電話応対の練習(ペア) ・ゲーム手順を他者にわかりやすく説明し、進行する。 ・グループ学習 ・単元ごとの確認テスト
留意点 引継ぎ等		・接客の基本用語、ポイント、身だしなみチェックは毎時間実施する。 ・単元ごとに確認テストを実施し、評価に加える。 ・グループ学習は課題達成の結果ではなく、協力して取り組む姿勢や他者との関わり方を重視して評価する。			

令和8年度 高等部 3年 職業 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位／ 70時間	3学年 10名		副教材/新・みてわかるビジネスマナー集

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。 (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知・技) ・面接に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付ける。 (思・判・表) ・必要な情報をまとめて伝える力を身に付ける。 (学・人) ・自分の課題を見つけ、改善を図る。 ・授業を通しての自己評価ができる。	(知・技) ・毎時間きちんと身だしなみを整えている。 ・面接時の、入退室の注意点、座り方を学び理解している。 ・就職に向けて求職登録の書き方を理解している。 (思・判・表) ・面接練習にて、必要な情報を簡潔にまとめて伝えることができる。 (主学) ・主体的に課題に取り組んでいる。 ・teamsにログインでき、formsにて振り返りや課題提出ができる。	・オリエンテーション ・挨拶練習 ・スピーチ練習 ・面接練習 ・就職登録作成	・接客の基本とポイントの確認 ・身だしなみチェック ・表情と姿勢の確認 ・30秒スピーチ ・面接時の入退室、座り方 ・自分の情報をあつめよう
2 学期	26	(知及技) ・必要な情報を集めて、簡潔にまとめる力を身に付ける。 (思判表力) ・伝えたい情報を選択し、課題について考え、表現することができる。 (学・人) ・自分の課題を見つけ、改善を図る。 ・授業を通しての自己評価ができる。	(知・技) ・履歴書作成において、必要な情報を収集することができる。 ・接客用語を用いながらレジ接客の対応ができる。 ・適切な言葉を用いて、流れを確認しながら金銭の授受を行うことができる。 (思・判・表) ・題に合った内容で、表情や声の大きさに気を配りながらスピーチできる。 (主学) ・主体的に課題に取り組んでいる。 ・teamsにログインでき、formsにて振り返りや課題提出ができる。	・挨拶練習 ・スピーチ練習 ・面接練習 ・履歴書作成 ・即売会に向けて	・接客の基本とポイントの確認 ・身だしなみチェック ・表情と姿勢の確認 ・30秒スピーチ ・自己PRを書いてみよう ・会社の情報を集める ・志望動機を書いてみよう ・接客演習(即売会に向けて)
3 学期	20	(知及技) ・職業生活を支える社会の仕組みと等の利用方法について理解を深める。 ・電話対応の知識や方法を習得する。 (思判表力) ・社会人に求められる電話対応の技術を身に付ける。 ・相手にわかりやすく伝わる表現方法を工夫する。 (学・人) ・自分の課題を見つけ、改善を図る。 ・授業を通しての自己評価ができる。	(知・技) ・言葉遣いを確認しながら電話の対応を行っている。 (思・判・表) ・様々な企業の戦略を知り、考えることができる。 (主学) ・主体的に課題に取り組んでいる。 ・teamsにログインでき、formsにて振り返りや課題提出ができる。	・挨拶練習 ・スピーチ練習・電話の対応 ・企業の戦略 ・電話対応	・接客の基本とポイントの確認 ・身だしなみチェック ・表情と姿勢の確認 ・30秒スピーチ ・様々な企業の戦略を学ぼう ・電話のかけ方 ・電話対応の基本用語と使い方 ・取り次ぎ方(不在時)
留意点 引継ぎ等		・接客の基本用語、ポイント、身だしなみチェックは毎時間実施する。 ・iPadを活用し、teamsにて授業内容の説明(学びに向かう力・人間性等を涵養) ・グループ学習は課題達成の結果ではなく、協力して取り組む姿勢や他者との関わり方を重視して評価する。			

令和8年度 高等部 1年 家庭 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 70時間	1年6組（男子8名、女子2名） （高等部1段階）		くらしに役立つ家庭

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) 家庭科を学ぶ意義を知る。 (思判表力) 年間の見通しを立てる。	(知・技) 家庭科を学ぶ意義を知っている。 (思判表力) 年間の見通しを立てている。	・オリエンテーション	・家庭科を学ぶ意義について ・家庭科の授業年間計画について ・授業の進め方について
	6	(知及技) 自分の成長と家族や家庭生活の関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることを理解する。 (思判表力) 家族とのよりよい関わり方について考え、表現する。	(知・技) 家族や家庭の機能を知り、自分の在り方を考えることができる。 (思・判・表) 家族とのよりよい関わり方について考え、表現する。	・家族や家庭での役割 ・自立した生活とは ・家庭生活とは	・あなたの家庭での役割 ・自分自身について考えてみよう ・自立した生活をめざして ・家族や家庭の役割 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	6	(知及技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解する。 (思判表力) 衣服の選択について考え、工夫する。	(知・技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 (思・判・表) 衣服の選択について考え、工夫している。	・季節や場面に合わせた服装 ・衣服の選び方	・衣服の役割について ・TPOにあった衣服の選び方について ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	10	(知及技) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解する。 (思判表力) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて工夫する。	(知・技) 生地の特徴や取り扱い絵表示を理解できる。 (思・判・表) 日常着や靴などの適切な手入れの仕方を考え、実践することができる。	・衣服の素材 ・衣服の洗濯と保管	・取り扱い絵表示について ・洗剤の種類と使い方について ・洗濯実習 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
2 学期	26	(知及技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできる。 (思判表力) 目的に応じた縫い方について考え、工夫する。 (学・人) 自ら意欲的に実習に取り組むことができる。	(知・技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできている。 (思・判・表) 目的に応じた縫い方について考え、工夫している。 (主学) 自ら意欲的に実習に取り組んでいる。	・裁縫用具の名称と使い方 ・手縫いの基礎 ・ミシンの使用方法・衣服の補修 ・名刺ケースづくり	・裁縫道具について ・手縫いの基礎 ・玉結び・玉止め・並縫い・返し縫い・ボタン付け ・ミシンの使用方法について ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint) ・手縫い(まつり縫い、スナップ付け) ・名刺ケースづくり ①しるし付け ②裁断 ③本縫い ④仕上げ ⑤評価
3 学期	6	(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解する。 (思判表力) 健康によい食習慣について考え、工夫する。	(知・技) 生活の中で食事が果たす役割について理解している。 (思・判・表) 健康によい食習慣について考え、工夫している。	・食事の役割 ・五大栄養素	・食事が果たす役割について ・栄養素の種類と働きについて ・健康に良い食習慣について ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	14	(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。 (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現する。 (学・人) 仲間と協力して調理実習する。	(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができている。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現している。 (主学) 仲間と協力して調理実習している。	・調理用具の名称・使い方 ・食品衛生 ・調理実習の心構え ・日常の調理	・調理用具の使い方 ・調理実習(簡単な日常の調理) ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年 家庭 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 70時間	2年6組（男子5名、女子5名） （高等部 I 段階）		くらしに役立つ家庭

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) 家庭科を学ぶ意義を知る。 (思判表力) 年間の見通しを立てる。	(知・技) 家庭科を学ぶ意義を知る。	・オリエンテーション	・家庭科を学ぶ意義について ・家庭科の授業年間計画について ・授業の進め方について
	4	(知及技) 自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解する。 (思判表力) 一日分の献立について考え、工夫する。 (学・人) 一日分の献立について考え、工夫し、生活の中で実践することができる。	(知・技) 自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 (思・判・表) 一日分の献立について考え、工夫している。 (主学) 一日分の献立について考え、工夫し、生活の中で実践しようとしている。	・食品に含まれる栄養素 ・栄養素の働き	・食品に含まれる栄養素について ・栄養素の働きについて ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	18	(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫する。 (学・人) 仲間と協力して調理実習する。	(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできている。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫している。 (主学) 仲間と協力して調理実習している。	・調理用具の名称・使い方 ・食品衛生 ・調理実習の心構え ・日常食の調理 ・1学期のまとめ	・調理実習（簡単な日常食の調理） 和食・洋食・中華・沖縄料理・お菓子 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
2学期	6			・用途に応じた食品の選択（生鮮食品・加工食品・食品表示）	・生鮮食品について ・加工食品について ・食品表示について ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	20	(知及技) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解する。 (思判表力) 布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫する。 (学・人) 自分の体形にあったエプロンを完成することができる。	(知・技) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 (思・判・表) 布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫している。 (主学) 自分の体形にあったエプロンを完成している。	・被服実習の心得 ・被服実習の基礎（1年生の復習） ・エプロンの製作 ・2学期のまとめ	・被服実習の心得（復習） ・ミシンの基本操作（復習） ・エプロン製作実習 ①採寸 ②裁断 ③本縫い ④仕上げ ⑤評価 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
3学期	5	(知及技) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることを理解する。 (思判表力) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、工夫する。 (学・人) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、工夫し、実践することができる。	(知・技) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることを理解する。 (思判表力) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、工夫する。 (主学) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、工夫し、実践しようとしている。	・家族や家庭の役割 ・地域の人々との関わり方	・家族や家庭の役割 ・家庭生活って何ですか ・暮らしやすい地域づくり ・地域で行われている活動 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	5	(知及技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解を深めることができる。 (思判表力) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、工夫する。 (学・人) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について工夫し、実践することができる。	(知・技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解を深めている。 (思判表力) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、工夫している。 (主学) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について工夫し、実践しようとしている。	・家庭生活における健康管理と余暇	・余暇を楽しく過ごす ・人とのつきあい ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	10	(知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解する。 (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫する。 (学・人) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫し、実践することができる。	(知・技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 (思・判・表) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫している。 (主学) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫し、実践しようとしている。	・家庭の経済生活 ・計画的な消費生活	・仕事とお金 ・収入と支出 ・お金とサービス ・商品の選び方 ・購入方法と支払い方法を知る ・悪質商法とは ・クーリングオフ制度 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年 家庭 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 70時間	3年6組（男子8名、女子2名） 高等部2段階		くらしに役立つ家庭

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) 家庭科を学ぶ意義を知る。 (思判表力) 年間の見通しを立てる。	(知・技) 家庭科を学ぶ意義を知る。	・オリエンテーション	・家庭科を学ぶ意義について ・家庭科の授業年間計画について ・授業の進め方について
	12	(知及技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解する。また、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解する。 (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。 (学・人) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。	(知・技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。また、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解している。 (思・判・表) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫している。 (主学) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫し、実践しようとしている。	・家庭の収入と支出 ・さまざまな購入方法と支払い ・契約について ・悪質商法について	・仕事とお金 ・収入と支出 ・お金とサービス ・商品の選び方 ・購入方法と支払い方法を知る ・悪質商法とは ・クーリングオフ制度 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	10	(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫する。 (学・人) 仲間と協力して調理実習する。	(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできている。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫している。 (主学) 仲間と協力して調理実習している。	・調理用具の名称・使い方 ・食品衛生 ・調理実習の心構え ・日常食の調理 ・1学期のまとめ	・調理実習（簡単な日常食の調理） 和食・洋食・中華・沖縄料理・お菓子 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
2学期	16	(知及技) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解する。 (思判表力) 布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫する。 (学・人) リバースパルトートバッグを完成することができる。	(知・技) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 (思・判・表) 布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫している。 (主学) リバースパルトートバッグを完成している。	・被服実習の心得 ・被服実習の基礎（2年生の復習） ・トートバッグの製作 ①袋の構成について ②裁断 ③本縫い ④仕上げ ⑤展示・評価	・被服実習の心得（復習） ・ミシンの基本操作（復習） ・トートバッグ製作実習 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	10	(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫する。 (学・人) 仲間と協力して調理実習する。	(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできている。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫している。 (主学) 仲間と協力して調理実習している。	・日常食の調理 ・2学期のまとめ	・調理実習（簡単な日常食の調理） 和食・洋食・中華・沖縄料理・お菓子 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
3学期	10	(知及技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴が分かり、乳幼児や高齢者などの関わり方について理解する。 (思判表力) 乳幼児や高齢者との関わり方について考え、工夫することができる。 (学・人) 乳幼児や高齢者との関わり方について考え、工夫したことを実践することができる。	(知・技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴が分かり、乳幼児や高齢者などの関わり方について理解している。 (思・判・表) 乳幼児や高齢者との関わり方について考え、工夫している。 (主学) 乳幼児や高齢者との関わり方について考え、工夫したことを実践している。	・高齢者の生活 ・子どもの生活	・高齢者の暮らしぶり ・高齢者を支える介護 ・子どもの世界 ・子どもの生活 ・子どもとの家庭や周囲の人々 ・共に支えあう生活 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	6	(知及技) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。 (学・人) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫したことを実践することができる。	(知・技) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 (思・判・表) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 (主学) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫したことを実践している。	・健康で快適な住まい ・くらしと空間	・太陽光と採光 ・室内環境 ・掃除、整理整頓 ・住居の広さ ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
	4	(知及技) 消費者の権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。 (思判表力) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある行動を考え、工夫することができる。 (学・人) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある行動を考え、工夫し、実践することができる。	(知・技) 消費者の権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 (思・判・表) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある行動を考え、工夫している。 (主学) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある行動を考え、工夫し、実践している。	・環境に配慮した生活	・環境を考えた生活 ・グリーンコンシューマーになろう ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・動画、PowerPoint)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年 外国語 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 35時間	1年6組（10名） （高等部1段階）		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語の音声や文字、語彙、表現などについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付く。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付く。 (思判表力) ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合う。 ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりする。 (学・人) ・英語を通して他者とのコミュニケーションを図ることの必要性や楽しさを味わう。	(知・技) (思・判・表) ・英語で挨拶することができる。 ・学年を表す語句を知り、英語表現を使って自分の学年を説明したり、相手の学年を訪ねることができる。 ・月・日・年齢・好きな物を表す語句を知り、英語表現を使ってお互いの誕生日や、誕生日に欲しいものを伝え合うことができる。また、クラス全員の誕生日を知り、カレンダーにまとめることができる。 (主学) ・既存の外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・世界の国々の生活について知ろうとしている。	- 自己紹介をしよう - 学年を訪ねよう - 通学 - パースデーカレンダーを作ろう - パースデープレゼントを考えよう	- 挨拶の仕方 「My name is～」 「How are you?」「I'm fine.」 - 学年について 「What grade are you in?」「I'm in the 4th grade.」 - 通学について 「How do you go to school?」「I go to school by bus.」 - 誕生日（月・日・年齢について） 「My birthday is～.」「I'm 10 years old.」 - プレゼントについて 「What do you want for your birthday?」「I want a soccer ball.」 - 学習プリントに沿って学習する - 適宜、CDなど音声教材や視聴覚教材を利用して学習する - 単語テストの実施
2 学期	13	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付く。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付く。 (思判表力) ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合う。 ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりする。 (学・人) ・英語を通して他者とのコミュニケーションを図ることの必要性や楽しさを味わう。	(知・技) (思・判・表) ・動詞の過去形を用いて、夏休みのできごとを説明することができる。 ・外国の季節の行事について知り、自国の文化との違いに気付く、外国の文化・風習に対する理解を深めようとしている。 ・家族や色、動物を表す語句を知り、家族のことや好きなペットを伝える表現を用いて相手に伝えることができる。 (主学) ・既存の外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・外国の季節の行事について知り、自国の文化との違いに気付く、外国の文化・風習に対する理解を深めようとしている。	- 夏休み中のできごと - 家族について - ハロウィンについて - ペット・色について - クリスマスカードを作ろう	- 夏休み中のできごと 「I went to beach.」「I eat ice cream.」 - 家族について 「How many people are there in your family?」「There are 5 people in my family.」「This is my mother.」 - ハロウィンクイズ - ペットや色について 「I have a cat. I don't have any pets.」「What's your favorite color?」「My favorite color is blue.」 - クリスマスカードづくり - 外国の年末年始の過ごし方 - 学習プリントに沿って学習する - 適宜、CDなど音声教材や視聴覚教材を利用して学習する - 単語テストの実施
3 学期	10	(知及技) ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付く。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付く。 (思判表力) ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合う。 ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりする。 (学・人) ・英語を通して他者とのコミュニケーションを図ることの必要性や楽しさを味わう。	(知・技) (思・判・表) ・新年や冬に関する語句・表現に慣れ親しもうとしている。 ・外国と自国の文化との違いに気付く、外国の文化・風習に対する理解を深めようとしている。 ・お菓子や果物を表す語句を知り、英語表現を使ってお互いの好きなお菓子を伝え合うことができる。 ・感謝の気持ちを表す英語表現に慣れ親しもうとしている。 (主学) ・学習した語句や表現を復習し、それを使って外国語でコミュニケーションを図ろうとしている。	- ハッピーニューイヤー - 好きなお菓子について 1年のまとめ	- 新年のあいさつ、外国の新年 - 新年の抱負 「Happy New Year.」「I want to drive a car.」 - 好きなお菓子について 「What's your favorite snack?」「I like potato chips.How about you?」 - 既習語句・表現のふりかえり - 学習プリントに沿って学習する - 適宜、CDなど音声教材や視聴覚教材を利用して学習する - 単語テストの実施
留意点 引継ぎ等		・授業開始時に、毎回聞き取りと書き取りの単語テストを行い、リスニングおよび語彙力の向上を図る。			

令和8年度 高等部 3年 外国語 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 35時間	3年6組（10名） （高等部2段階）		なし

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 外国語の音声や文字、語彙、表現などについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 （思判表力） コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 （学・人） 外国語の背景にある文化に対する理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知及技） ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付く。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで用件が相手に伝わることに気付く。 （思判表力） ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合う。 ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりする。 （学・人） ・英語を通して他者とのコミュニケーションを図ることの必要性や楽しさを味わう。	（知・技）（思・判・表） ・英語で時刻をたずねる表現や生活を表す表現に慣れ親しむことができる。 ・乗り物に関する語句を知り、英語表現を使って移動手段を説明することができる。 ・建物・場所を表す語句を知り、英語表現を使って道を聞いたり、道案内したりすることができる。 ・行きたい国についてたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （主学） ・既存の外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・世界の国々の生活について知ろうとしている。	・私の一日 ・通学 ・道案内 ・行きたい国	・時刻の表し方 「What time do you get up?」 ・交通手段の名称 「How do you go to school? - I go to school by bus.」 ・建物・場所を表すことば 「Go straight.Turn right.」 ・国名 「I want to go to Italy.」 ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、CDなど音声教材や視聴覚教材を利用して学習する ・単語テストの実施
2 学期	13	（知及技） ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付く。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで用件が相手に伝わることに気付く。 （思判表力） ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合う。 ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりする。 （学・人） ・英語を通して他者とのコミュニケーションを図ることの必要性や楽しさを味わう。	（知・技）（思・判・表） ・動詞の過去形を用いて、夏休みのできごとを説明することができる。 ・外国の季節の行事について知り、自国の文化との違いに気付く、外国の文化・風習に対する理解を深めようとしている。 ・病気や体の状態を表す語句を知り、体調を伝える表現を用いて相手に伝えることができる。 （主学） ・既存の外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・外国の季節の行事について知り、自国の文化との違いに気付く、外国の文化・風習に対する理解を深めようとしている。	・夏休み中のできごと ・オータムフェスティバル ・体調を伝えよう ・ホリデイズーン	・夏休み中のできごと 「I went to beach.」 ・オータムフェスティバル ・ハロウィーン ・感謝祭 ・病気や体の体調を表すことば 「What's the matter? -I have a headache.」 ・クリスマスカードづくり ・外国の年末年始の過ごし方 ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、CDなど音声教材や視聴覚教材を利用して学習する ・単語テストの実施
3 学期	10	（知及技） ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付く。 ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで用件が相手に伝わることに気付く。 （思判表力） ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合う。 ・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりする。 （学・人） ・英語を通して他者とのコミュニケーションを図ることの必要性や楽しさを味わう。	（知・技）（思・判・表） ・新年や冬に関する語句・表現に慣れ親しもうとしている。 ・外国と自国の文化との違いに気付く、外国の文化・風習に対する理解を深めようとしている。 ・自分の夢について考え、卒業後にやりたいことを表現することができる。 （主学） ・感謝の気持ちを表す英語表現に慣れ親しもうとしている。 ・基本的な英語の手紙の書き方を理解することができる。 （主学） ・学習した語句や表現を復習し、それを使って外国語でコミュニケーションを図ろうとしている。	・ハッピーニューイヤー ・私の夢 ・Thank you, teachers! ・1年のまとめ	・新年のあいさつ、外国の新年 ・新年の抱負 「I want to drive a car.」 ・感謝の気持ちを伝える表現 ・基本的な英文レターの書き方 ・既習語句・表現のふりかえり ・学習プリントに沿って学習する ・適宜、CDなど音声教材や視聴覚教材を利用して学習する ・単語テストの実施
留意点 引継ぎ等		・授業開始時に、毎回聞き取りと書き取りの単語テストを行い、リスニングおよび語彙力の向上を図る。			

令和 8年度 中部農林高等支援学校 1学年 情報 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年（男子8名・女子2名） （高等部1段階）		情報Ⅰ（開隆堂）

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。 （思判表力）身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	（知及技）（思・判・表） ・情報室の使用方法を理解する。 （学・人） ・年間の見通しを持つことができる。	（知・技）（思・判・表） ・PCやPC室の使い方（ルール）を知る。 （主学） ・年間の見通しを持とうとしている。	・オリエンテーション	・情報室でのルール、マナーについて ・情報の授業年間計画について ・授業の進め方について
	12	（知及技） ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。 （思判表力） ・目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考える。 （学・人） ・事象と関係する情報を見つけることができる。	（知・技） ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けようとしている。 （思・判・表） ・目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 （主学） ・事象と関係する情報を見つけようとしている。	・情報検索の基礎 ・情報とメディアの特性 ・問題解決の流れ ・発想法	・インターネットの概要について ・検索方法の注意点 ・情報の代表的な4つの特性について ・各種メディアの特性について ・言葉のみで情報を伝達 ・発想法（KJ法・マインドマップ）について ・9マスブロック（マンドラート）
	10	（知及技） ・文書作成ソフトウェアの基本的名称がわかる。 （思判表力） ・文書作成ソフトウェアの機能を理解し、場面にあった文字入力や画像の挿入などができる。 （学・人） ・自分の課題に向けて取り組むことができる。	（知・技） ・文書作成ソフトウェアの基本的名称を知ろうとしている。 （思・判・表） ・文書作成ソフトウェアの機能を理解し、場面にあった文字入力や画像の挿入などをしようとしている。 （主学） ・自分の課題に向けて取り組もうとしている。	・文書処理ソフトウェアの操作 ・日本語ワープロ検定4級	・文書作成ソフトウェアの操作方法 ・毎日パソコン検定 ・プロフィール、ポスター、名刺作成 ・特別支援学校技能検定（過去問） ・ビジネス文書作成4級問題（ドリル）
2学期	14	（知及技） ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。 （思判表力） ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。 （学・人） ・情報や情報技術を適切に使うことができる。	（知・技） ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ろうとしている。 （思・判・表） ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 （主学） ・情報や情報技術を適切に使おうとしている。	・情報モラル ・個人情報の流出 ・傷つかない傷つけないために ・著作権	・情報モラル動画での疑似体験 ・マナーとルールと法律について ・個人情報について ・SNSの利用方法 ・個人が特定される仕組み ・被害者加害者にならないために ・知的財産権について ・身のまわりの著作権について調べよう
	12	（知及技） ・ビジネスに必要な表計算技術を身につけることができる。 （思判表力） ・表計算ソフトウェアの基本的な機能を使い、必要なデータを選ぶことができる。 （学・人） ・自分の課題に向けて取り組むことができる。	（知・技） ・ビジネスに必要な表計算技術を身につけようとしている。 （思・判・表） ・表計算ソフトウェアの基本的な機能を使い、必要なデータを選ぼうとしている。 （主学） ・自分の課題に向けて真摯に取り組もうとしている。	・表計算ソフトウェアの操作 ・表計算検定4級	・表計算ソフトウェアの操作方法 ・数値の入力 ・基本的関数 ・表の作成 ・グラフ化 ・表計算検定4級問題
3学期（19時間）	8	（知及技） ・身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができる。 （思判表力） ・身近にある情報や情報技術の活用について考えることができる。 （学・人） ・情報を複数の視点から考えることができる。	（知・技） ・身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとしている。 （思・判・表） ・身近にある情報や情報技術の活用について考えようとしている。 （学・人） ・情報を複数の視点から考えようとしている。	・情報技術の発展 ・情報化と私たちの生活の変化 ・よりよい情報社会へ	・高度な画像処理と3次元処理 ・電子マネーを調べてみよう ・生活の変化 ・人工知能について ・健康への影響 ・情報社会の影への対応 ・誰もが使える情報環境
	12	（知及技） ・PowerPointの基本的操作を学習する。 （思判表力） ・伝えたい情報を整理し、効果的に伝えることができる。 （学・人） ・自分の課題に向けて取り組むことができる。	（知・技） ・PowerPointの基本的な操作ができる。 （思・判・表） ・伝えたい内容を、スライドへ簡潔にまとめることができる。 （学・人） ・与えられたテーマ発表に向けて準備ができる。	・PowerPointの操作 ・プレゼンテーション	・PowerPointの操作方法 ・プレゼンテーション演習 ・発表リハーサル ・「卒業後の私」の発表
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度 中部農林高等支援学校 2学年 情報 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2学年（男子5名・女子5名） （高等部1段階）		情報Ⅰ（開隆堂）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)(思判表力) ・情報室の使用方法を理解する。 (学・人) ・年間の見通しを持つことができる。	(知・技)(思・判・表) ・PCやPC室の使い方（ルール）を知る。 (主学) ・teamsにログインでき、formsにて回答ができる。	・オリエンテーション	・情報室でのルール、マナーについて ・情報の授業年間計画について ・授業の進め方について
	12	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ることができる。 (思判表力) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。 (学・人) ・情報を複数の視点から捉えることができる。	(知・技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ろうとしている。 (思・判・表) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えようとしている。 (主学) ・情報を複数の視点から捉えようとしている。	・コミュニケーション手段の変化 ・ネットコミュニケーションの特徴 ・デジタルの世界へ	・時間と空間を超えたコミュニケーション ・つながりのメディア ・記録性 ・アクセス記録の活用 ・匿名性 ・デジタル化がコミュニケーションを変えた ・デジタル化の利点と欠点 ・コンピュータとデジタル化
	10	(知及技) ・文書作成ソフトウェアの基本的名称を学習する。 (思判表力) ・文書作成ソフトウェアの機能を理解し、場面にあった文字入力や表の挿入などができる。 (学・人) ・自分の課題に向けて取り組むことができる。	(知・技) ・ローマ字入力を習得する。 (思・判・表) ・ビジネス文書において、基本的な配置を理解し作成することができる。 (主学) ・ホームポジションを意識して入力できる。	・毎日パソコン検定 ・日本語ワープロ検定3級問題 ・ビジネス文書作成	・毎日パソコン検定 ・文書作成ソフトウェアの操作方法 ・日本語ワープロ検定3級問題（ドリル）
2学期	14	(知及技) ・身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができる。 (思判表力) ・身近にある情報や情報技術の活用について考えることができる。 (学・人) ・目的に応じて情報の活用の見通しを立てようすることができる。	(知・技) ・身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとしている。 (思判表力) ・身近にある情報や情報技術の活用について考えようとしている。 (学・人) ・目的に応じて情報の活用の見通しを立てようとしている。	・数値の文字のデジタル表現 ・音と画像のデジタル表現 ・色と動画のデジタル表現 ・目的に応じたデジタル化	・2進法 ・ビットとバイト ・文字のデジタル表現 ・音のデジタル化 ・画像のデジタル化 ・色のデジタル化 ・色の三原色 ・動画のデジタル化 ・情報の圧縮
	12	(知及技) ・ビジネスに必要な表計算技術を身につける。 (思判表力) ・表計算ソフトウェアの基本的な機能を使い、必要なデータを選ぶことができる。 (学・人) ・自分の課題に向けて取り組むことができる。	(知・技) ・簡単な関数を学習し、表、グラフを作成できる。 (思・判・表) ・表計算に興味を持ち、必要な関数を選ぶことができる。 (学・人) ・表計算検定のドリルに、真摯に取り組むことができる。	・表計算ソフトウェアの操作 ・表計算検定3級	・表計算ソフトウェアの操作方法 ・数値の入力 ・基本的関数（RANK、IF） ・表の作成 ・グラフ化 ・表計算検定3級問題（ドリル）
3学期（19時間）	8	(知及技) ・身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫することができる。 (学・人) ・事象と関係する情報を見つけることができる。	(知・技) ・身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫しようとしている。 (学・人) ・事象と関係する情報を見つつけようとしている。	・情報デザイン ・ユニバーサルデザイン ・情報デザインの流れ	・デザインとは何か ・抽象化、可視化、構造化 ・ピクトグラム ・ユニバーサルデザイン ・ユーザインタフェース ・ユーザエクスペリエンス ・コミュニケーションと情報デザイン
	12	(知及技) ・PowerPointの基本的操作を学習する。 (思判表力) ・伝えたい情報を整理し、効果的に伝えることができる。 (学・人) ・自分の課題に向けて取り組むことができる。	(知・技) ・PowerPointの基本的な操作ができる。 ・プレゼンテーション検定3級問題の基本的な構造を学習し、作成できる。 (思・判・表) ・伝えたい内容を、スライドへ簡潔にまとめることができる。 (学・人) ・与えられたテーマ発表に向けて準備ができる。	・PowerPointの操作 ・プレゼンテーション検定3級	・PowerPointの操作方法 ・プレゼンテーション演習 ・アニメーション ・プレゼンテーション検定3級問題
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度 中部農林高等支援学校 3学年 情報 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3学年（男子8名・女子2名） （高等部2段階）		情報Ⅰ（開隆堂）

目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。 (思・判・表) 身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知・技)(思・判・表) ・情報室の使用方法を理解する。 (学・人) ・年間の見通しを持つことができる。	(知・技)(思・判・表) ・PCやPC室の使い方(ルール)を知る。 (主・学) ・teamsにログインでき、formsにて回答ができる。	・オリエンテーション	・情報室でのルール、マナーについて ・情報の授業年間計画について ・授業の進め方について
	12	(知・技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。 (思・判・表) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。 (学・人) ・生活の中で必要となる情報セキュリティについて踏まえ、行動できる。	(知・技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ろうとしている。 (思・判・表) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えようとしている。 (主・学) ・生活の中で必要となる情報セキュリティについて踏まえ、行動しようとしている。	・ネットワークとインターネット ・インターネットの仕組み ・サーバとクライアント	・ネットワークとインターネット ・LANとWAN ・プロトコル ・TCPとIP ・ルータとハブ ・サーバとクライアント ・さまざまなサーバ
	10	(知・技) ・文書作成ソフトウェアの基本的名称を学習する。 (思・判・表) ・文書作成ソフトウェアの機能を理解し、場面にあった文字入力や表の挿入などができる。 (学・人) ・自分の課題に向けての取り組むことができる。	(知・技) ・ビジネス文書において、段落番号・表の挿入・均等割り付けができる。 ・ビジネス文書作成の構造を理解し、日本語ワープロ検定3級問題を作成することができる。 (思・判・表) ・ビジネス文書において、適切な改行、スペースの挿入、文章の適切な配置ができる。 (主・学) ・ホームポジションを意識して入力できる。	・毎日パソコン検定 ・日本語ワープロ検定3級問題 ・ビジネス文書作成	・毎日パソコン検定 ・文書作成ソフトウェアの操作方法 ・日本語ワープロ検定3球問題
2 学期	14	(知・技) ・身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。 (思・判・表) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。 (学・人) ・情報通信ネットワークで提供されるサービスを活用し、進路選択に役立てることができる。	(知・技) ・身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ろうとしている。 (思・判・表) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えようとしている。 (学・人) ・情報通信ネットワークで提供されるサービスを活用し、進路選択に役立てようとしている。	・インターネット上のサービス ・情報セキュリティ ・データの形式	・WWWとURL ・電子メール ・インターネットとサーバ ・情報の機密性・完全性・可用性 ・情報の機密性を守る技術 ・情報の完全性を守る技術 ・データの完全性とは何か ・質的データと量的データ
	12	(知・技) ・ビジネスに必要な表計算技術を身につける。 (思・判・表) ・表計算ソフトウェアの基本的な機能を使い、必要なデータを選ぶことができる。 (学・人) ・自分の課題に向けて取り組むことができる。	(知・技) ・簡単な関数を学習し、表、グラフを作成できる。 ・表計算検定3級問題の基本的な関数の入力ができる。 (思・判・表) ・表計算に興味を持ち、必要な関数を選ぶことができる。 (学・人) ・表計算検定のドリルに、真摯に取り組むことができる。	・表計算ソフトウェアの操作 ・表計算検定3級	・表計算ソフトウェアの操作方法 ・数値の入力 ・基本的関数(RANK、IF) ・表の作成 ・グラフ化 ・表計算検定3級問題(ドリル)
3 学期 (19時間)	8	(知・技) ・データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技能を身に付けることができる。 (思・判・表) ・データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行することができる。 (学・人) ・情報と情報技術を生活にいかすことができる。	(知・技) ・データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行しようとしている。 (学・人) ・情報と情報技術を生活にいかそうとしている。	・データベースの活用 ・データ分析の流れ	・データの尺度 ・銀行における情報システム ・POSシステムによる商品の管理 ・データベースの分散管理 ・問題の明確化と計画 ・データの収集 ・データの分析
	12	(知・技) ・Webページ作成におけるHTMLの基本構造を理解する。 (思・判・表) ・タグの種類を学習し、適切に使いWeb上で表現することができる。 (学・人) ・自分の課題に向けて取り組むことができる。	(知・技) ・HTMLタグの仕組みを学習し、コードの意味を理解する。 (思・判・表) ・HTMLタグの仕組みを学習し、適切なコードを入力することができる。 ・伝えたい内容を、Web上で簡潔に表現できる。 (学・人) ・自分のテーマに向けたWebページ作成に真摯に取り組むことができる。	・オリジナルWebページ作成(ローカルネットワーク)	・HTMLとは ・HTMLの基本構文 ・タグの種類について ・レイアウト作成 ・エディター入力
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高校部 1年 農業 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4単位 140時間	1年6組（男子8名、女子2名）【高等部1段階】		なし

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 農業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (思判表力) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) 農業が社会において果たしている役割について理解する。 ((1)農業の概要ア) 農業を行うための服装・準備物について理解する。 ((1)農業の概要イ) 活動する場所(本校の農場、温室、苗置き場、花壇)を覚える。 ((1)農業の概要イ)	(知・技) 農業が社会において果たしている役割について理解し、知識を身に付けている。 農業を行うための服装・準備物について理解し知識を身に付けている。 活動する場所(本校の農場、温室、苗置き場、花壇)を覚えている。	授業開き	・農業の意義・役割 ・農業授業における服装・準備物 ・農業ファイル作成 ・活動場所の見学(農場、温室、苗置き場、花壇)
	30	(知及技) 夏野菜の種類を覚える。 ((2)農業生物の栽培と管理イ) 夏の草花の種類を覚える。 ((2)農業生物の栽培と管理工) 栽培用土の作成方法について理解し技術を身に付けるとともに、使用資材の名称を覚える。 (2)農業生物の栽培と管理力)	(知・技) 夏野菜の種類を覚えている。 夏の草花の種類を覚えている。 栽培用土の作成方法や、使用資材の名称を覚えている。	夏野菜の栽培・管理 夏の草花の栽培・管理 夏野菜の収穫・調整 用土作成	・播種 ・鉢上げ、鉢替え ・施肥 ・収穫、調整 ・販売 ・灌水 ・校内装飾、花壇管理 ・農場管理、整備
	2	(知及技) 沖縄の農業の特徴・現状や地域の農産物について理解し知識を身に付ける。 ((5)地域資源を生かした農業ア)	(知・技) 沖縄の農業の特徴や農産物について理解し知識を身に付けている。	沖縄の農業	・沖縄の農業の特徴、現状 ・沖縄の農産物
2 学期	49	(知及技) 冬野菜の種類を覚える。 ((2)農業生物の栽培と管理イ) 冬の草花の種類を覚える。 ((2)農業生物の栽培と管理工) 草花の寄せ植えについて理解し、知識や技術を身に付ける。 ((2)農業生物の栽培と管理工) 肥料の種類について理解し、各肥料の名称を覚える。 ((2)農業生物の栽培と管理力)	(知・技) 冬野菜の種類について理解し、名称を覚えている。 冬の草花について理解し、名称を覚えている。 草花の寄せ植えについて理解し、知識や技術を身に付けている。 肥料の種類について理解し、名称を覚えている。	冬野菜の栽培・管理 冬の草花の栽培・管理 冬野菜の収穫・調整 生産物即売会に向けた生産物作成	・播種 ・鉢上げ、鉢替え ・施肥 ・収穫、調整 ・販売 ・灌水 ・校内装飾、花壇管理 ・農場管理、整備 ・生産物即売会に向けた取り組み
	3 学期	27	(知・技) 観葉植物の種類について理解し、名称を覚える。 ((2)農業生物の栽培と管理力) 野菜や草花の繁殖方法の種類について理解し、技術を身に付ける。 ((2)農業生物の栽培と管理力)	(知・技) 観葉植物の種類について理解し、名称を覚えている。 野菜や草花の繁殖方法の種類について理解し、技術を身に付けている。	観葉植物の栽培・管理 挿し木、挿し芽
年間を通して	30	(知及技) 農作物や草花の栽培や管理の工程について理解し、知識や技術を身に付ける。 ((2)農業生物の栽培と管理力) 農作物の収穫・販売、草花の販売について理解し、技術を身に付ける。 ((2)農業生物の栽培と管理力) 農場や花壇の整備や管理の工程について理解し、技術を身に付ける。 ((2)農業生物の栽培と管理力) 観葉植物や多肉植物といった小規模な室内園芸装飾について理解し、知識や技術を身に付ける。 ((2)農業生物の栽培と管理力) 農作物や草花の栽培、農場整備や管理に必要な器具・機械の名称、取り扱い、操作手順、安全対策、保管・管理等について理解し、技術を身に付ける。 ((2)農業生物の栽培と管理力) 身近な地域の農業について理解するとともに、地域資源に関心をもてるようにするための調査等に係る技術を身に付ける。 ((5)地域資源を生かした農業ア) 栽培した農作物の用途・利用法について理解し、知識を身に付ける。 ((2)農業生物の栽培と管理イ) (思判表力) 各工程やその技術において、押さえるポイントの理由について考え、表現する。 各工程や技術において必要な課題を発見し、工夫について考え、表現したり解決する。 よりよい生産物にするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現したり解決する。 地域資源の有効活用について、具体的に実践をする際に必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する。 (学・人) 各行程について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組む。 地域資源を発見したり、活用したりするための活動に主体的かつ協働的に取り組む。	(知・技) 農作物や草花の栽培や管理の工程について理解し、技術を身に付けている。 農作物の収穫・販売、草花の販売について理解し、技術を身に付けている。 農場や花壇の整備や管理の工程について理解し、技術を身に付けている。 観葉植物や多肉植物といった小規模な室内園芸装飾について理解し、知識や技術を身に付けている。 農作物や草花の栽培、農場整備や管理に必要な器具・機械の名称、取り扱い、操作手順、安全対策、保管・管理等について理解し、技術を身に付けている。 身近な地域の農業について理解するとともに、地域資源に関心をもてるようにするための調査等に係る技術を身に付けている。 栽培した農作物の用途・利用法について理解し、知識を身に付けている。 (思・判・表) 各工程やその技術において、押さえるポイントの理由について考え、表現している。 各工程や技術において必要な課題を発見し、工夫について考え、表現したり解決しようとしている。 よりよい生産物にするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現したり解決しようとしている。 地域資源の有効活用について、具体的に実践をする際に必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 各行程について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 地域資源を発見したり、活用したりするための活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	野菜の栽培・管理 草花の栽培・管理 観葉植物の栽培・管理 花壇の管理 校内装飾 農場管理、整備 地域の農業・農産物調査 農家・販売店舗見学 生産物試食学習 販売学習	・播種 ・鉢上げ、鉢替え ・施肥 ・収穫、調整 ・販売 ・灌水 ・校内装飾、花壇管理 ・農場管理、整備 ・ipadを使用した調べ学習 ・校外学習(地域農家や販売場所の見学、価格調査) ・生産物の調理、試食 ・校内販売、中農市
	留意点 引継ぎ等	評価方法:定期テスト、小テスト、授業での活動の様子			

令和8年度 高学部 2・3年 農業 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
6単位 210時間	2年6組5名（男子3名、女子2名）【高等部2段階】 3年6組5名（男子4名、女子1名）【高等部2段階】		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 農業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (思判表力) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) 農業の種類について理解し、知識を身に付ける。((1)農業の概要ア) 栽培施設の種類や、それぞれの特徴・使い分けについて理解し、知識を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理力)	(知・技) 農業の種類について理解し知識を身に付けている。 栽培施設の種類や、それぞれの特徴・使い分けについて理解し、知識を身に付けている。	授業開き	・農業の種類 ・温室やビニールハウス等の役割
	45	(知及技) 夏野菜の特徴を理解し、知識を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理イ) 夏の草花の特徴を理解し、知識を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理工) 栽培用土や使用資材の種類やそれぞれの特徴について理解し、知識を身に付ける。(2)農業生物の栽培と管理力)	(知・技) 夏野菜の特徴を理解し、知識を身に付けている。 夏の草花の特徴を理解し、知識を身に付けている。 栽培用土や使用資材の種類やそれぞれの特徴について理解し、知識を身に付けている。	夏野菜の栽培・管理 夏の草花の栽培・管理 夏野菜の収穫・調整 用土作成	・播種 ・鉢上げ、鉢替え ・施肥 ・収穫、調整 ・販売 ・灌水 ・校内装飾、花壇管理 ・農場管理、整備
	2	(知及技) 学校近隣や出身地の農業の特徴・現状や地域の農産物について理解し知識を身に付ける。((5)地域資源を生かした農業ア)	(知・技) 学校近隣や出身地の農業の特徴や農産物について理解し知識を身に付けている。	うるま市、出身地の農業	・うるま市、出身地の農業の特徴、現状 ・うるま市、出身地の農産物
2 学期	59	(知及技) 冬野菜の特徴を理解し、知識を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理イ) 冬の草花特徴を理解し、知識を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理工) 観葉植物の寄せ植えについて理解し、知識や技術を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理力) 施肥について、各肥料の成分や用途による使い分け理解し、知識や技術を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理力)	(知・技) 冬野菜の特徴を理解し、知識を身に付けている。 冬の草花特徴を理解し、知識を身に付けている。 観葉植物の寄せ植えについて理解し、知識や技術を身に付けている。 施肥について、各肥料の成分や用途による使い分け理解し、知識や技術を身に付けている。	冬野菜の栽培・管理 冬の草花の栽培・管理 冬野菜の収穫・調整 生産物即売会に向けた生産物作成	・播種 ・鉢上げ、鉢替え ・施肥 ・収穫、調整 ・販売 ・灌水 ・校内装飾、花壇管理 ・農場管理、整備 ・生産物即売会に向けた取り組み
3 学期	34	(知及技) 多肉植物について理解し、寄せ植えの知識や技術を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理力) 取り木、株分けについて理解し、知識や技術を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理力)	(知・技) 多肉植物について理解し、寄せ植えの知識や技術を身に付けている。 取り木、株分けについて理解し、知識や技術を身に付けている。	多肉植物の寄せ植え 観葉植物の取り木、株分け	・多肉植物の寄せ植え ・取り木、株分け ・鉢替え ・施肥 ・収穫、調整 ・販売 ・灌水 ・校内装飾、花壇管理 ・農場管理、整備
年間を通して	68	(知及技) 農作物や草花の栽培や管理の工程について理解し、知識や技術を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理力) 農作物の収穫・販売、草花の販売について理解し、技術を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理力) 農場や花壇の整備や管理の工程について理解し、技術を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理力) 観葉植物や多肉植物といった小規模な室内園芸装飾について理解し、知識や技術を身に付ける。(2)農業生物の栽培と管理力) 農作物や草花の栽培、農場整備や管理に必要な器具・機械の名称、取り扱い、操作手順、安全対策、保管・管理等について理解し、技術を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理力) 身近な地域の農業について理解するとともに、地域資源に関心をもてるようにするための調査等に係る技術を身に付ける。((5)地域資源を生かした農業ア) 栽培した農作物の用途・利用法について理解し、知識を身に付ける。((2)農業生物の栽培と管理イ) (思判表力) 各工程やその技術において、押さえるポイントの理由について考え、表現する。 各工程や技術において必要な課題を発見し、工夫について考え、表現したり解決する。 よりよい生産物にするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現したり解決する。 地域資源の有効活用について、具体的に実践をする際に必要な課題を発見し、工夫について考え、表現する。 (学・人) 各行程について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組む。 地域資源を発見したり、活用したりするための活動に主体的かつ協働的に取り組む。	(知・技) 農作物や草花の栽培や管理の工程について理解し、技術を身に付けている。 農作物の収穫・販売、草花の販売について理解し、技術を身に付けている。 農場や花壇の整備や管理の工程について理解し、技術を身に付けている。 観葉植物や多肉植物といった小規模な室内園芸装飾について理解し、知識や技術を身に付けている。 農作物や草花の栽培、農場整備や管理に必要な器具・機械の名称、取り扱い、操作手順、安全対策、保管・管理等について理解し、技術を身に付けている。 身近な地域の農業について理解するとともに、地域資源に関心をもてるようにするための調査等に係る技術を身に付けている。 栽培した農作物の用途・利用法について理解し、知識を身に付けている。 (思・判・表) 各工程やその技術において、押さえるポイントの理由について考え、表現している。 各工程や技術において必要な課題を発見し、工夫について考え、表現したり解決しようとしている。 よりよい生産物にするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現したり解決しようとしている。 地域資源の有効活用について、具体的に実践をする際に必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 各行程について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 地域資源を発見したり、活用したりするための活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	野菜の栽培・管理 草花の栽培・管理 観葉植物の栽培・管理 花壇の管理 校内装飾 農場管理、整備 地域の農業・農産物調査 農家・販売店舗見学 生産物試食学習 販売学習	・播種 ・鉢上げ、鉢替え ・施肥 ・収穫、調整 ・販売 ・灌水 ・校内装飾、花壇管理 ・農場管理、整備 ・ipadを使用した調べ学習 ・校外学習（地域農家や販売場所の見学、価格調査） ・生産物の調理、試食 ・校内販売、中農市
留意点 引継ぎ等	評価方法:定期テスト、小テスト、授業での活動				

令和8年度 高学部 1年 窯業 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 70時間	1年6組（男子8名、女子2名）		なし

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）窯業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 （思判表力）窯業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 （学・人）職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	（知及技）作業内容や機械の種類とその特徴について理解し、成形・修正などの技術を身に付ける。 （思判表力）分からないことを質問したり、相談したりできる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）機械や道具の名前や特徴を理解する。成形・修正の技術を身に付ける。 （思・判・表）担当した作業が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	食器や鉢の成形・修正	・土砕き ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し
	6	（知及技）作業内容や機械の種類、作業の流れについて理解し、成形・修正・釉薬がけなどの技術を身に付ける。 （思判表力）分からないことを質問したり、相談したりできる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）機械や道具の名前や特徴を理解する。成形・修正・釉薬がけの技術を身に付ける。 （思・判・表）担当した作業が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	食器や鉢の成形・修正・釉薬がけ	・土砕き ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬がけ
2学期	8	（知及技）作業内容や機械の種類、作業の流れについて理解し、各種作業や販売などの技術を身に付ける。 （思判表力）新しい製品のアイデア出しができる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）機械や道具の名前や特徴を理解する。成形・修正・釉薬がけや販売の技術を身に付ける。 （思・判・表）担当した作業が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	食器や鉢の成形・修正・釉薬がけ	・土砕き ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬がけ
	8	（知及技）作業内容や機械の種類、作業の流れについて理解し、各種作業や販売などの技術を身に付ける。 （思判表力）新しい製品のアイデア出しができる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）機械や道具の名前や特徴を理解する。成形・修正・釉薬がけや販売の技術を身に付ける。 （思・判・表）担当した作業が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	製品の準備と販売学習	・土砕き ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬がけ ・農業祭
3学期	4	（知及技）土の種類や土作りについて作業の流れを理解し、土砕き・攪拌・土練機の扱いなどの技術を身に付ける。 （思判表力）土の種類や状態を考慮して土作りを行うことができる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）土砕き・攪拌・土練機の扱いなどの技術を身に付ける。 （思・判・表）担当した作業が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	土砕き・攪拌・土練機の扱い	・土砕き ・攪拌 ・土練機の扱い ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬がけ
	4	（知及技）土の種類や土作りについて作業の流れを理解し、土砕き・攪拌・土練機の扱いなどの技術を身に付ける。 （思判表力）土の種類や状態を考慮して土作りを行うことができる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）土砕き・攪拌・土練機の扱いなどの技術を身に付ける。 （思・判・表）担当した作業が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	土砕き・攪拌・土練機の扱い	・土砕き ・攪拌 ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬がけ
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高学部 2・3年 窯業 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
6単位 210時間	2年6組（男子5名、女子5名）3年6組（男子8名、女子2名）		なし

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）窯業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 （思・判・表）窯業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 （学・人）職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	30	（知・技）作業内容や機械の種類とその特徴について理解し、成形・修正などの技術を身に付ける。 （思・判・表）分からないことを質問したり、相談したりできる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）機械や道具の名前や特徴を理解する。成形・修正の技術を身に付ける。 （思・判・表）担当した作業が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主・学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	食器や鉢の成形・修正	・土砕き ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し
	36	（知・技）作業内容や機械の種類、作業の流れについて理解し、成形・修正・釉薬かけなどの技術を身に付ける。 （思・判・表）分からないことを質問したり、相談したりできる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）機械や道具の名前や特徴、作業の流れを理解する。成形・修正・釉薬かけの技術を身に付ける。 （思・判・表）担当した作業が終了したら報告できる。分からないことを確認、質問、相談できる。 （主・学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	食器や鉢の成形・修正・釉薬かけ	・土砕き ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬かけ
2 学期	45	（知・技）作業内容や機械の種類、作業の流れについて理解し、各種作業や販売などの技術を身に付ける。 （思・判・表）新しい製品のアイデア出しができる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）機械や道具の名前や特徴、作業の流れを理解する。成形・修正・釉薬かけや販売の技術を身に付ける。 （思・判・表）基本の製品の形や模様など新しいデザインを考えて工夫して作ることができる。 （主・学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	食器や鉢の成形・修正・釉薬かけ	・土砕き ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬かけ
	45	（知・技）作業内容や機械の種類、作業の流れについて理解し、各種作業や販売などの技術を身に付ける。 （思・判・表）新しい製品のアイデア出しができる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができ	（知・技）機械や道具の名前や特徴、作業の流れを理解する。成形・修正・釉薬かけや販売の技術を身に付ける。 （思・判・表）基本の製品の形や模様など新しいデザインを考えて工夫して作ることができる。 （主・学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	製品の準備と販売学習	・土砕き ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬かけ ・生産物即売会
3 学期	30	（知・技）土の種類や土作りについて作業の流れを理解し、土砕き・攪拌・土練機の扱いなどの技術を身に付ける。 （思・判・表）土の種類や状態を考慮して土作りを行うことができる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）土砕き・攪拌・土練機の扱いなどの技術や作業の流れを身に付ける。 （思・判・表）どの種類の土が不足しているのか、状態が良いのか悪いのか確認することができる。 （主・学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	土砕き・攪拌・土練機の扱い	・土砕き ・攪拌 ・土練機の扱い ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬かけ
	24	（知・技）土の種類や土作りについて作業の流れを理解し、土砕き・攪拌・土練機の扱いなどの技術を身に付ける。 （思・判・表）土の種類や状態を考慮して土作りを行うことができる。 （学・人）「買ってもらえる製品」「使ってもらえる製品」を意識したモノ作りを行うことができる。	（知・技）土砕き・攪拌・土練機の扱いなどの技術や作業の流れを身に付ける。 （思・判・表）どの種類の土が不足しているのか、状態が良いのか悪いのか確認することができる。 （主・学）作業工程を仲間と分け合ったり、補い合って進めることができる。	土砕き・攪拌・土練機の扱い	・土砕き ・攪拌 ・成形 ・修正 ・窯入れ、窯出し ・釉薬かけ
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年 木工 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 70時間	1年6組（男子5名、女子5名）		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 工業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力) 工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)製作から販売までの学習を通して、就労意欲の向上と職業自立に必要な基礎的・基本的な態度を身に付けることができる。	(知・技)働くことの意義、職場に必要な態度について、作業内容や年間の流れを確認することができる。	・ものづくりとは	・ものづくり学習の目的について ①働くことの意義 ②職業生活に必要な能力、態度 ・授業の進め方と年間の学習計画 ①作業内容の説明 ②製作品の紹介等 ③資格取得について（ガス・アーク溶接）
	2	(知及技)製造現場の危険を知り安全に作業を行う心構えを身につける。 (思判表力)事故発生時に求められる対応を考えることができる。	(知・技)木工所で起きた事故事例を学び安全目標を考えることができる。 (思・判・表)AEDや職員室の場所などを確認し、緊急時の対応を考えることができる。	・安全学習	・事後事例紹介 ・グループで対応方法検討 ・消化器、AED等の確認
	16	(知及技)製作の工程を理解し、必要な道具の準備や片付け及び製作ができる。 (思判表力)基本的な用具・工具等を適切に取扱い、安全に作業をすることができる。 (学・人)自分の役割に責任をもち、他者と協力して作業することができる。	(知・技)作業工程を覚え、与えられた役割に最後まで取り組むことができる。 (思・判・表)木工機械や木工工具の名称を覚え、正しく使用することができる。 (主学)皆と協力し、商品であることを意識して作業に取り組むことができる。	・作業の安全（毎時間） ・機械や工具の使い方 ・作業工程確認、練習 ・木工作品の製作 ・振り返り（毎時間） ・校内実習	・木工機械や木工工具の取扱い方 ・製作工程の確認、実演 ①製作準備（材料、道具） ②けがき（寸法取り、印付け等） ③部品加工（切削、穴あけ等） ④組み立て、仕上げ（ビス打ち、塗装等） ・木工品の制作 ・校内実習期間中に「ものづくり班」として実習に取り組む。
	2	(思判表力)学期を振り返り、今後の目標を立てることができる。	(思・判・表)毎回実施している振り返りシートを見直すことで、①反省②評価③発表に取り組むことができる。	・学期のまとめ	・1学期の①反省②評価③発表 ・実習室の整備、点検
2学期	28	(知及技)道具や機械の操作に慣れ、正確で迅速な作業ができる。 (思判表力)製作から販売までの過程を通して、必要経費、利益等の関係を知ることができる。 (学・人)様々な場所で関わりを持つことで、中部農林高校の生徒及び地域との交流を深めることができる。	(知・技)作業工程を理解し、作業スピードや丁寧な作業を心懸けることができる。 (思・判・表)即売会に向けた準備や販売方法、役割分担等を意識して作品づくりに取り組むことができる。 (主学)木工班として作品の展示や販売、地域企業との関わるができる。	・作業の安全（毎時間） ・木工作品の製作 ・振り返り（毎時間） ・2学期就業体験（現場実習） ・農業祭の取り組み	・木工作品の制作 ・即売会に向けた準備、販売方法、役割分担等 ・木工品の展示、販売、地域企業との関わり ・職業、流通サービス等の授業の取り組みと連携しておこなう。（接客態度等）
	2	(思判表力)学期を振り返り、今後の目標を立てることができる。	(思・判・表)毎回iPadを持たせ、Formsで作成した振り返りシートを見直すことで、①反省②評価③発表に取り組むことができる。	・学期のまとめ	・2学期の①反省②評価③発表 ・実習室の整備、点検
3学期	16	(知及技)これまで学んできた知識や技能を生かし実践することができる。 (思判表力)アーク溶接についての知識や技能を学び実践することができる。 (学・人)自分の役割に責任をもち、他者と協力して作業することができる。	(知・技)1,2学期で学んだ作業を取り入れ、最小限の説明、指示で作業を進めることができる。 (思・判・表)アーク溶接を安全に使用し作業することができる。 (主学)自主作品（アイデア・設計・仕上げ）に自ら考えて作業することができる。	・木工作品の製作 ・ガス、アーク溶接練習	・木工作品の制作 「自主作品製作」 ・ガス、アーク溶接の基礎について学習し、次年度における「ガス・アーク溶接資格取得」を推進する。
	2	(思判表力)年間を振り返り、次年度の目標を立てることができる。	(思・判・表)毎回iPadを持たせ、Formsで作成した振り返りシートを見直すことで、①反省②評価③発表に取り組む、次年度に向けた目標設定ができる。	・年間のまとめ	・ものづくり学習の反省、評価、発表
留意点 引継ぎ等	※必要に応じて校外学習を計画し実施する（材料の購入、製作品の販売等）				

令和8年度 高等部 3年 木工 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
6単位 210時間	2年6組（男子2名、女子3名）3年6組（男子5名）		なし

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）工業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （思判表力）工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 （学・人）職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	（知及技）製作から販売までの学習を通して、就労意欲の向上と職業自立に必要な基礎的・基本的な態度を身に付けることができる。	（知・技）働くことの意義、職場に必要な態度について、作業内容や年間の流れを確認することができる。	・ものづくりとは	・ものづくり学習の目的について ①働くことの意義 ②職業生活に必要な能力、態度 ・授業の進め方と年間の学習計画 ①作業内容の説明 ②製作品の紹介等 ③資格取得について（ガス・アーク溶接）
	62	（知及技）製作の工程を理解し、必要な道具の準備や片付け及び製作ができる。 （思判表力）基本的な用具・工具等を適切に取扱い、安全にアーク溶接作業をすることができる。 （学・人）自分の役割に責任をもち、他者と協力して作業することができる。	（知・技）作業工程を覚え、与えられた役割に最後まで取り組むことができる。 （思・判・表）木工機械や木工工具の名称を覚え、溶接機を正しく使用することができる。 （主学）皆と協力し、商品であることを意識して作業に取り組むことができる。	・作業の安全（毎時間） ・機械や工具の使い方 ・作業工程確認、練習 ・アーク溶接練習 ・木工、溶接作品の製作 ・振り返り（毎時間） ・1学期就業体験（現場実習）	・木工機械や木工工具、溶接機の取扱い方 ・製作工程の確認、実演 ①製作準備（材料、道具） ②けがき（寸法取り、印付け等） ③部品加工（切削、穴あけ等） ④組み立て、仕上げ（ビス打ち、塗装等） ⑤溶接作業 ・木工、溶接作品の製作 ・授業での取り組みを活かし「ガス・アーク溶接資格取得」を推進する。
	2	（思判表力）学期を振り返り、今後の目標を立てることができる。	（思・判・表）毎回iPadを持たせ、Formsで作成した振り返りシートを見直すことで、①反省②評価③発表に取り組むことができる。	・学期のまとめ	・1学期の①反省②評価③発表 ・実習室の整備、点検
2学期	88	（知及技）道具や機械の操作に慣れ、正確で迅速な作業ができる。 （思判表力）製作から販売までの過程を通して、必要経費、利益等の関係を知ることができる。 （学・人）様々な場所で関わりを持つことで、中部農林高校の生徒及び地域との交流を深めることができる。	（知・技）作業工程を理解し、作業スピードや丁寧な作業を心懸けることができる。 （思・判・表）即売会に向けた準備や販売方法、役割分担等を意識して作品づくりに取り組むことができる。 （主学）木工班として作品の展示や販売、地域企業との関わるができる。	・作業の安全（毎時間） ・木工、溶接作品の製作 ・振り返り（毎時間） ・2学期就業体験（現場実習） ・即売会の取り組み	・木工、溶接作品の製作 ・即売会に向けた準備、販売方法、役割分担等 ・木工、溶接作品の展示、販売、地域企業との関わり ・職業、流通サービス等の授業の取り組みと連携しておこなう。（接客態度等）
	2	（思判表力）学期を振り返り、今後の目標を立てることができる。	（思・判・表）毎回iPadを持たせ、Formsで作成した振り返りシートを見直すことで、①反省②評価③発表に取り組むことができる。	・学期のまとめ	・2学期の①反省②評価③発表 ・実習室の整備、点検
3学期	50	（知及技）これまで学んできた知識や技能を生かし実践することができる。 （思判表力）アーク溶接についての知識や技能を学び実践することができる。 （学・人）自分の役割に責任をもち、他者と協力して作業することができる。	（知・技）1,2学期で学んだ作業を取り入れ、最小限の説明、指示で作業を進めることができる。 （思・判・表）アーク溶接を安全に使用し作業することができる。 （主学）自主作品（アイデア・設計・仕上げ）に自ら考えて作業することができる。	・木工、溶接作品の製作 ・ガス、アーク溶接	・木工、溶接作品の製作 「自主作品製作」 ・ガス、アーク溶接の基礎について学習し、次年度における「ガス・アーク溶接資格取得」を推進する。
	4	（思判表力）年間を振り返り、次年度の目標を立てることができる。	（思・判・表）毎回iPadを持たせ、Formsで作成した振り返りシートを見直すことで、①反省②評価③発表に取り組み、次年度に向けた目標設定ができる。	・年間のまとめ	・ものづくり学習の反省、評価、発表
留意点 引継ぎ等		※必要に応じて校外学習を計画し実施する（材料の購入、製作品の販売等）			

令和8年度 高学部 1年 流通サービス 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 70時間	1年6組（男子8名、女子2名）		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力)流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりより社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知乃技) ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けることができる。 ・受付案内などの対応時のあいさつ、言葉遣い、表情など応対に関するビジネスマナーに関する知識・技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのために必要な課題を発見し、よりよい商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶことができる。	(知・技) ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けようとしている。 ・受付案内などの対応時のあいさつ、言葉遣い、表情など応対に関するビジネスマナーに関する知識・技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのために必要な課題を発見し、よりよい商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぼうとしている。	・流通業やサービス業の概要 ・流通業やサービス業の意義と役割 ・流通業やサービス業の基礎 ・事務機器、機械や道具、コンピュータ等の情報機器の取扱い ・接遇	・流通業とは ・流通業にはどのようなものがあるか ・サービス業とは ・サービス業にはどのようなものがあるか ・流通業とサービス業の違い ・道具と機械などの扱い ・学校見学に向けて
2 学期	24	清掃（洗車） (知・技) ・洗車業務の内容と特徴について理解するとともに、洗車の手順や方法など洗車業務に関する技術を身に付けることができる。 (思・判・表) ・洗車業務において、顧客のニーズに応じたサービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよいサービスの提供のための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・洗車業務の内容と特徴などについて自ら学び、洗車業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	清掃（洗車） (知・技)洗車の作業工程を理解し、作業方法を具体的に言ったり、書いたりしている。 接客の方法について姿勢や言葉遣いに気を付けている。 (思・判・表)洗車において課題を見つけその課題に応じて作業工程を工夫している。 (主学)ルールやマナーを守り、安全に気をつけ主体的・共同的に学習活動に取り組もうとしている。	洗車 ・洗車とは ・使用する道具と管理 ・洗車工程 ・洗車で注意すること ・効率よく丁寧に作業するには ・道具の片付けと作業場の清掃 ・基本的な接客マナー ・顧客の要望を聞く ・顧客に提案をする ・電話対応 ・学科試験 ・実地試験	洗車 ・洗車についてサービス業としての役割 ・道具の使い方と注意点 ・洗車工程を覚える ・工程に適した道具を使い分ける ・丁寧に仕上げる？速く仕上げる？ ・道具と作業場の扱い方を考える ・接客マナー ・よりよいサービスを行うには ・電話のとり方
3 学期	13				
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高学部 2年 流通サービス 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 70時間	2年6組（男子5名、女子5名）		安全な刈払機作業のポイント

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養うことができる。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	18	(知乃技) ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けることができる。 ・受付案内などの対応時のあいさつ、言葉遣い、表情など応対に関するビジネスマナーに関する知識・技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのために必要な課題を発見し、よりよい商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶことができる。	(知・技) ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けようとしている。 ・受付案内などの対応時のあいさつ、言葉遣い、表情など応対に関するビジネスマナーに関する知識・技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのために必要な課題を発見し、よりよい商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶようとしている。	・流通業やサービス業の概要 ・流通業やサービス業の意義と役割 ・流通業やサービス業の基礎 ・事務機器、機械や道具、コンピュータ等の情報機器の取扱い ・接遇	・流通業とは ・流通業にはどのようなものがあるか ・サービス業とは ・サービス業にはどのようなものがあるか ・流通業とサービス業の違い ・道具と機械などの安全な扱い方 ・学校見学に向けて
2 学期	20	施設管理（清掃・管理） (知乃技) ・施設管理の内容と特徴について理解するとともに、施設管理の手順や方法など施設管理に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・施設管理において、顧客のニーズに応じたサービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよいサービスの提供のための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・施設管理の内容と特徴などについて自ら学び、施設管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	施設管理（清掃・管理） (知・技) ・施設管理の内容と特徴について理解するとともに、施設管理の手順や方法など施設管理に関する技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・施設管理において、顧客のニーズに応じたサービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよいサービスの提供のための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・施設管理の内容と特徴などについて自ら学び、施設管理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	施設管理 施設管理について 1 刈払機 ・刈払機とは ・作業工程 ・危険回避 ・学科試験 ・実地試験 2 植栽管理 ・植栽管理とは ・植え付けの作業工程 ・剪定方法 ・植物にあった施肥タイミング ・害虫とは ・学科試験 ・実地試験 3 ビルクリーニング ・ビルクリーニングとは ・各種道具機器の使用方法および作業工程（ガラスクリーニング、外壁清掃、フロアクリーニング）	施設管理 施設管理の作業項目 施設管理の特徴 1 刈払機 ・刈払機の特徴 ・使用前点検 ・刈刃の脱着 ・混合ガソリンの作り方 ・保護具の着用 ・刈払機の装着と運転 ・作業工程を覚える ・丁寧に仕上げるには 刈払機取扱作業安全衛生教育（講習） 2 植栽管理 ・植栽管理の作業項目 ・植栽管理の注意点 ・植物の選定 ・植え付け ・剪定 ・灌水 ・肥料の施用 ・害虫防除 3 ビルクリーニング ・ビルクリーニングにおける作業箇所 ・適した道具と機器 ・作業上の注意点 ・作業工程を覚える
3 学期	15				
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高学部 3年 流通サービス 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 70時間	3年6組（男子8名、女子2名）		安全な刈払機作業のポイント

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養うことができる。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	18	(知乃技) ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けることができる。 ・受付案内などの対応時のあいさつ、言葉遣い、表情など応対に関するビジネスマナーに関する知識・技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのために必要な課題を発見し、よりよい商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶことができる。	(知・技) ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けようとしている。 ・受付案内などの対応時のあいさつ、言葉遣い、表情など応対に関するビジネスマナーに関する知識・技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのために必要な課題を発見し、よりよい商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぼうとしている。	・流通業やサービス業の概要 ・流通業やサービス業の意義と役割 ・流通業やサービス業の基礎 ・事務機器、機械や道具、コンピュータ等の情報機器の取扱い ・接遇	・流通業とは ・流通業にはどのようなものがあるか ・サービス業とは ・サービス業にはどのようなものがあるか ・流通業とサービス業の違い ・道具と機械などの安全な扱い方 ・学校見学に向けて
2 学期	20	施設管理（清掃・管理） (知乃技) ・施設管理の内容と特徴について理解するとともに、施設管理の手順や方法など施設管理に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・施設管理において、顧客のニーズに応じたサービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよいサービスの提供のための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・施設管理の内容と特徴などについて自ら学び、施設管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	施設管理（清掃・管理） (知・技) ・施設管理の内容と特徴について理解するとともに、施設管理の手順や方法など施設管理に関する技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・施設管理において、顧客のニーズに応じたサービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよいサービスの提供のための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・施設管理の内容と特徴などについて自ら学び、施設管理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	施設管理 施設管理について 1 刈払機 ・刈払機とは ・作業工程 ・危険回避 ・学科試験 ・実地試験 2 植栽管理 ・植栽管理とは ・植え付けの作業工程 ・剪定方法 ・植物にあった施肥タイミング ・害虫とは ・学科試験 ・実地試験 3 ビルクリーニング ・ビルクリーニングとは ・各種道具機器の使用 ・方法および作業工程（ガラスクリーニング、外壁清掃、フロアクリーニング）	施設管理 施設管理の作業項目 施設管理の特徴 1 刈払機 ・刈払機の特徴 ・使用前点検 ・刈刃の脱着 ・混合ガソリンの作り方 ・保護具の着用 ・刈払機の装着と運転 ・作業工程を覚える ・丁寧に仕上げるには 2 植栽管理 ・植栽管理の作業項目 ・植栽管理の注意点 ・植物の選定 ・植え付け ・剪定 ・灌水 ・肥料の施用 ・害虫防除 3 ビルクリーニング ・ビルクリーニングにおける作業箇所 ・適した道具と機器 ・作業上の注意点 ・作業工程を覚える
3 学期	15				
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年 福祉 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2単位 70時間		2年6組（10名）			社会福祉基礎（実教出版）
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うこと等を通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力の育成を目指す。 （知及技） 社会福祉について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身につけるようにする。 （思判表力） 社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 （学・人） 健全で持続可能な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	（知及技） ・福祉について理解する。 ・地域社会における福祉について理解する。 ・介護に関する職種について理解する。 ・介護士が身に付けておくべきことについて学ぶ。 （思判表力） ・高齢者の心身の特徴と生活上の留意点について意見を出し合いながら、理解を深める。 ・障がいの種類や心身の特徴、生活上の留意点について意見を出し合いながら理解を深める。 （学・人） ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようとする。	（知・技） ・家族の形態や役割、社会と組織、地域社会における社会構造やライフスタイルの変容などを理解する。 ・自立した生活と地域社会との関わり、少子高齢化の進行と介護の社会化など、自助・互助・共助・公助の関係を理解する。 （思・判・表） ・持続可能な社会の構築を目指すために、人々が社会福祉に求めているサービスや制度について考える。 ・グループワークを通して、「福祉や障がい」について様々な考えがあることを共有できる。 ・車椅子や高齢者疑似体験をすることで、相手の立場を理解し、適した介助法を考察する。 （主学） ・身の回りにある福祉について、そのよさを感じながら学ぼうとしている。	・福祉を学ぶ意義について ・人の一生と社会福祉 ・社会福祉の理念 ・介護の関連職理解 ・高齢者の生活と心身の特徴 ・障がい者の生活と心身の特徴 ・障がい者疑似体験 ・人間としての尊厳	・自己発見・他者発見ビンゴゲーム（自分理解他者理解） ・学習プリントに沿って学習する。 ・適宜、視覚教材を利用して学習する。 ・単元テストの実施。 ・車椅子実習。 ・視覚障害体験（アイマスク）
2 学期	26	（知及技） ・社会福祉施設の種類や特徴を理解する。 ・各施設の対象者について理解する。 （思判表力） ・社会福祉施設について、その種類や利用者について意見を出し合いながら、理解を深める。 ・利用者に応じたコミュニケーションの取り方について工夫し、実行する。 （学・人） ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようとする。	（知・技） ・施設見学（HPやパンフレット等）を通して、各施設の特徴を理解する。 ・高齢者疑似体験を通して、高齢者について理解する。 （思・判・表） ・グループワークを通して、福祉施設を利用している方々の生活について色々な考えを出し合い、理解する。 ・グループ毎に利用者に応じたコミュニケーションの取り方について、色々な考えを出し合い、理解する。 （主学） ・人援助に必要なコミュニケーション能力を身に付ける。 ・身の回りにある福祉について、そのよさを感じながら学ぼうとしている。	・コミュニケーションの基礎 ・困ったときの相談機関について ・高齢者疑似体験 ・社会福祉施設の種類と特徴 ・各施設の対象者について ・コミュニケーション技術について ・認知症ケアと充実に向けて ・デイサービス施設見学 ・高齢者の在宅サービスについて	・学習プリントに沿って学習する。 ・適宜、視覚教材を利用して学習する。 ・単元テストの実施。 ・高齢者疑似体験スーツを着用して、買い物体験をする。 ・デイサービス施設を見学する。
3 学期	20	（知及技） ・地域福祉について理解する。 ・バリアフリーとユニバーサルデザインの違いについて理解する。 （思判表力） ・バリアフリーか、ユニバーサルデザインかの見分け方について意見を出し合いながら見分け方について考察する。 （学・人） ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようとする。	（知・技） ・学校にあるバリアフリーを理解する。 ・バリアフリーとユニバーサルデザインの違いを理解する。 （思・判・表） ・グループ毎に学校にある施設が、バリアフリーか、ユニバーサルデザインかを理由を考えながら判断する。 ・地域の公共施設を調べ、どのような支援があるのか発見する。 （主学） ・福祉マップ作りを通して、自分が暮らす地域の福祉について理解を深める。 ・身の回りにある福祉について、そのよさを感じながら学ぼうとしている。	・地域福祉について ・バリアフリーについて ・ユニバーサルデザインについて ・地域の公共施設 ・福祉マップの作成	・学習プリントに沿って学習する。 ・適宜、視覚教材を利用して学習する。 ・単元テストの実施。 ・校内散策（校内のバリアフリー・ユニバーサルデザインを探そう） ・地域の公共施設を調べよう。 ・自分の住んでいる地域の福祉マップ作ろう。
留意点 引継ぎ等		・全日との共同授業。 ・実習時には、適宜体育着や体育館シューズを準備する。			

令和8年度 高等部 3年 福祉 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2単位 70時間		3年6組（10名）			生活支援技術（実教出版）
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技） 福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 （思判表力） 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養うことができる。 （学・人） 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	（知及技） ・社会福祉従事者について学ぶ ・高齢者の心身の特徴と生活上の留意点について理解する。 ・環境を整え、安全に運動・移動するための基本的技術について学ぶ。 （思判表力） ・高齢者の心身の特徴と生活上の留意点について意見を出し合いながら、理解を深める。 ・障がいの種類や心身の特徴、生活上の留意点について意見を出し合いながら理解を深める。 （学・人） ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思ふする。	（知・技） ・社会福祉従事者について学んでいる。 ・高齢者の心身の特徴と生活上の留意点について理解している。 ・環境を整え、安全に運動・移動するための基本的技術について学んでいる。 （思・判・表） ・高齢者の心身の特徴と生活上の留意点について意見を出し合いながら、理解を深めている。 ・障がいの種類や心身の特徴、生活上の留意点について意見を出し合いながら理解を深めている。 （主学） ・身の回りにある福祉について、そのよさを感じながら学ぼうとしている。	・社会福祉従事者に求められるもの ・利用者理解 ・生活を支える介護（環境整備・運動・移動）	・自己紹介ワーク（自分理解他者理解） ・学習プリントに沿って学習する。 ・適宜、視覚教材を利用して学習する。 ・単元テストの実施。 ・車椅子実習。 ・高齢者疑似体験セット。 ・ベッドメイキング ・運動・移動における介護の注意点 ・ボディメカニクスの活用
2 学期	26	（知及技） ・安全に食事を摂るための基本的技術について理解する。 ・家事支援の具体的な知識や技術について学ぶ。 （思判表力） ・食事介助や家事支援について意見を出し合いながら、理解を深める。 （学・人） ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思ふする。	（知・技） ・安全に食事を摂るための基本的技術について理解している。 ・家事支援の具体的な知識や技術について学んでいる。 （思・判・表） ・食事介助や家事支援について意見を出し合いながら、理解を深めている。 （主学） ・身の回りにある福祉について、そのよさを感じながら学ぼうとしている。	・生活を支える介護（食事） ・家事支援における介護技術	・学習プリントに沿って学習する。 ・適宜、視覚教材を利用して学習する。 ・単元テストの実施。 ・食事介助の基本 ・安全な食事介助 ・調理、洗濯、掃除、裁縫 ・衣類や寝具の衛生管理 ・買い物 ・家族経営
3 学期	20	（知及技） ・利用者との信頼関係の構築に必要なコミュニケーション技術を理解する。 ・認知症の種類や特徴的な症状、基本的な姿勢について学ぶ。 （思判表力） ・福祉従事者に必要なコミュニケーション技術や認知症高齢者への適切な介護について意見を出し合いながら理解を深める。 （学・人） ・日常生活において、学んだことの利点を生かして工夫して日常に取り入れようと思ふする。	（知・技） ・利用者との信頼関係の構築に必要なコミュニケーション技術を理解している。 ・認知症の種類や特徴的な症状、基本的な姿勢について学んでいる。 （思・判・表） ・福祉従事者に必要なコミュニケーション技術や認知症高齢者への適切な介護について意見を出し合いながら理解を深める。 （主学） ・身の回りにある福祉について、そのよさを感じながら学ぼうとしている。	・福祉従事者に必要なコミュニケーション技術 ・認知症について	・学習プリントに沿って学習する。 ・適宜、視覚教材を利用して学習する。 ・単元テストの実施。 ・傾聴、受容、共感の姿勢 ・自己理解 ・コミュニケーションの方法 ・認知症の種類や特徴的な症状 ・認知症の方への支援方法
留意点 引継ぎ等		・全日との共同授業。 ・実習時には、適宜体育着や体育館シューズを準備する。			

令和8年度 高等部 1年 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1 単位 35時間		1 年 6 組（10 名）			私たちの未来 未来の私たち （開隆堂）
年間目標		自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
月	時数	主題	内容項目	ねらい	教材等
4	1		授業開き	・自分や友達のことを知り、よりよい生き方を考える。	教科書 p 2～3 道徳の学習を始めよう
年間を通して実施	主として自分自身に関すること	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行し、その結果に責任をもつこと。	自主、自立、自由と責任	・自分で決める。 ・自分で考えて行動し、その結果に責任をもつ。 ・責任をもつとする態度を育む。	教科書 p 12～15 どうする？ペンケース
		望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。	節度、節制	・生活をつくる。 ・スマートフォンなどの依存が心と体に及ぼす影響について考える。 ・自分自身の生活習慣を見直し、節度をもったスマホの利用について考え、自らルールを決める。	教科書 p 16～19 あこがれのスマートフォン
		自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	向上心、個性の伸長	・自分らしさを伸ばす。 ・自分の長所だけでなく短所についても気づき、特徴を多面的に捉える。 ・自分の気付いた長所を維持し、積極的に伸ばそうとする態度を育てる。	教科書 p 20～23 マラソン大会に向けて
		より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と 勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて奮闘にやり遂げること。	希望と勇気、克己と強い意志	・勇気を出す。 ・自分のことや恥ずかしいと感じることについて、相手に伝えてみようという気持ちをもつ。 ・勇気を出して、自分の気持ちを相手に言葉で伝える。	教科書 p 24～27 印刷工場での出来事
		真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	真理の探究、創造	・新たな発想を生み出す。 ・物事の見方は様々ではなく、人や状況によって異なることが分かる。 ・事例に対する相違点や共通点を見付け、他の見方や考え方を受け入れる。	教科書 p 28～31 富士山の姿
	主として人との関わりに関すること	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	思いやり、感謝	・思いやりに応える。 ・他人の人が思いやりの気持ちで自分に対して行ってくれたことについて、感謝の気持ちをもつ。 ・感謝の気持ちを素直に言葉で表し、相手に伝える。	教科書 p 34～37 「ありがとう」のプレゼント
		礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	礼儀	・礼儀の大切さ。 ・相手の立場になって考え、行動したり、発言する。 ・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する。	教科書 p 38～41 礼に始まり礼に終わる
		友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	友情、信頼	・友情を深める。 ・友情を深め、信頼関係を築く。日常の友人関係を多面的・多角的に捉える。 ・信頼できる人間関係を築くなど実践的な態度の育成を図る。	教科書 p 42～45 将棋大会
		自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	相互理解、寛容	・互いに分かり合う。 ・自分の意見や考えを相手に伝えることで、互いに分かり合う。 ・相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。	教科書 p 46～49 文化祭の準備
		集団の一員としての自覚をもち、多様な考えを認めあえる人間関係を築くこと。 集団の中での役割と責任を自覚し、より良い集団生活を送るために思索すること。	尊法精神、公德心	・きまりに向き合う。 ・学校の一員としての自覚をもち、集団の中で様々な考えがあることを認め、より良い校風をつくるために考える。 ・集団の中での自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努める。	教科書 p 52～55 生徒会選挙
	主として集団や社会との関わりに関すること	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	公正、公平、社会正義	・公平に接する。 ・親しさの有無に関わらず、集団を構成する仲間に向けて目を向ける。 ・公平な視点で人と関わることで、よりよい集団づくりになることに気付く。	教科書 p 56～59 一人ている生徒
		社会参画の意義と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	社会参画、公共の精神	・みんなのために。 ・勤労や社会に奉仕することを理解し、みんなのために役に立つことをすることについて考える。 ・勤労等が自分のためにだけでなく、社会生活を支えるものであることを考える。	教科書 p 60～63 美化委員会の仕事
		勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	勤労	・働くことの意味。 ・自立した生活を送るために必要な力や働くことの意味を知り、周囲の支援を受けながら少しずつ身に付けようとする態度を育てる。 ・「大人の自分」について話し合い、なりたい自分や、働く自分を思い描き、将来就きたい職業やその理由について、考えをまとめる。	教科書 p 64～67 通勤寮での生活
		父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族愛、家庭生活の充実	・家族のことを考える。 ・自分の視点だけでなく、家族それぞれの立場になって、家族の事を考える。 ・お世話になっている人や家族を敬愛する気持ちをより一層深める。	教科書 p 68～71 お母さんへの手紙
		教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割や責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	よりよい学校生活、集団生活の充実	・集団の一員として。 ・学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合って、よりよい雰囲気を作る。 ・集団の中での自分の役割や責任を自覚し、集団生活の充実に努める。	教科書 p 72～75 なつとう憲法
		郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めることを深めること。	土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	・郷土の伝統を受け継ぐ。 ・自分たちが住んでいる郷土の伝統と文化を受け継ぐ気持ちをもつ。 ・地域の一員であることの意識をもち、意欲的に地域の行事に参加する。	教科書 p 76～79 夏祭りの練習
		日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。 平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な道徳性を養うこと。	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	・日本人としてできること。 ・日本人としての自覚をもって国を愛し、社会貢献することが日本の発展につながることを理解する。 ・日本の発展のために、何ができるかを考える。	教科書 p 80～83 東京2020パラリンピックと木村敬一選手
		世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	国際理解、国際貢献	・世界に心を向ける。 ・身の回りにも、他国の文化や習慣があることに気付く。 ・世界各国への興味を広げ、理解を深めようとする。	教科書 p 84～87 外国のこと、次々発見！
	主として生命や自然に関する高きものとの関	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがいのない生命を尊重すること。	生命の尊さ	・命の尊さ。 ・一人ひとりの命がかけがえのないものであること、受け継がれ大切にされてきた命であることに気付くことができる。 ・命がどのようなものか自分なりに考え、自他の命を大切にしていこうとすることができる。	教科書 p 90～93 おじいさんと妹
		自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	自然愛護	・自然を守りぬく。 ・自然のすばらしさや不思議さを知り、心を豊かにする。 ・自然環境を大切にすることについて考える。	教科書 p 94～97 自然と私たち
		美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深めること。	感動、畏敬の念	・感動を伝える。 ・美しいものや自然、芸術作品等に感動する心をもつ。 ・美しいものや芸術等に触れ、感じた思いを自分なりの表現で伝えることの大切さや喜びを知る。	教科書 p 98～101 絵に結ばれた思いを込めて
	留意点 引継ぎ等	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	よりよく生きる喜び	・志を高く生きる。 ・自分自身の良さや、可能性を自覚することができるようにする。 ・人間が持つ強さや弱さ、気高さについて自分自身を振り返って理解できるようにする。	教科書 p 102～105 現場実習での喜び

令和8年度 高等部 2年 道徳 年間指導計画

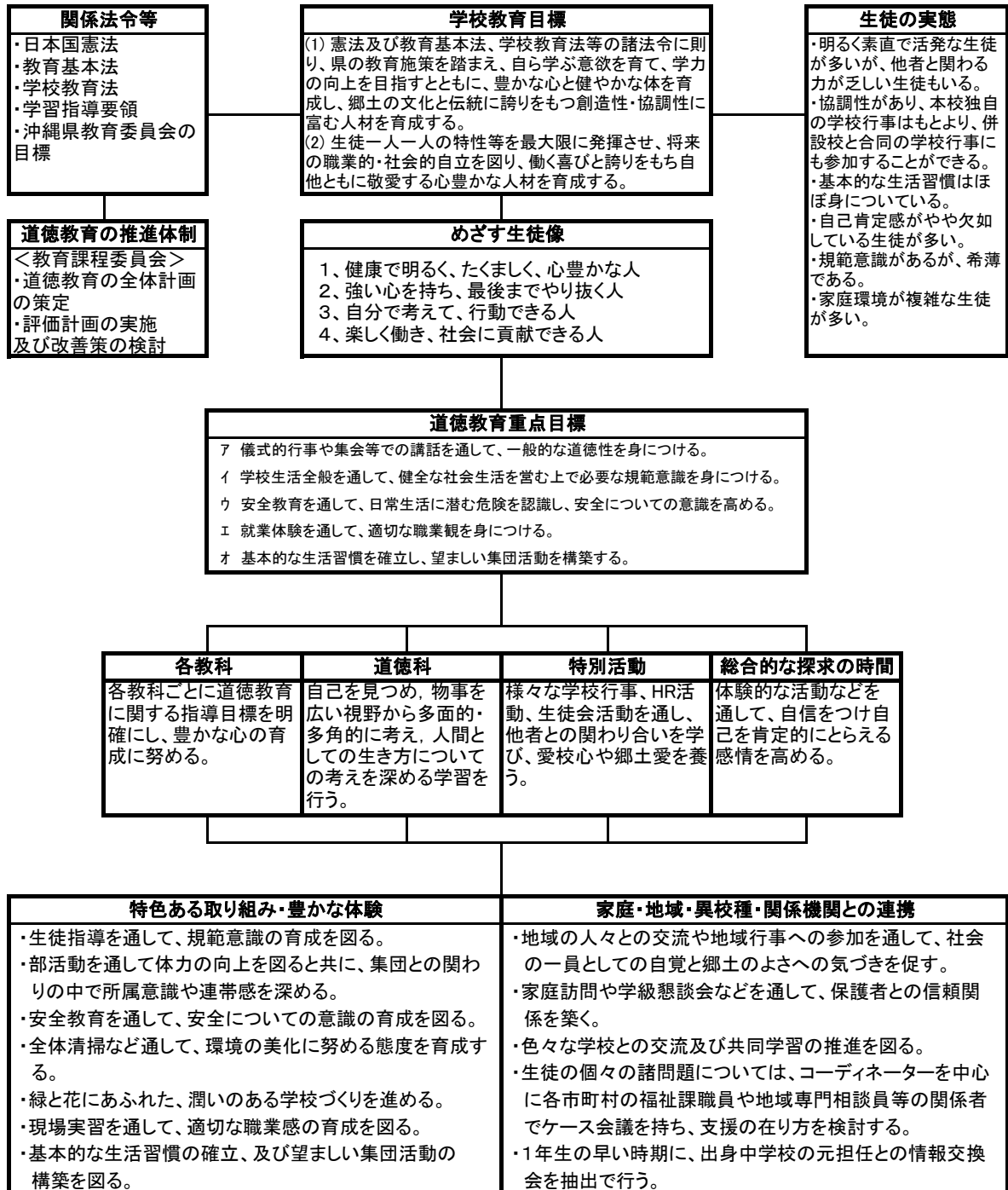
単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者		教科書／副教材	
1 単位 35時間		2年6組（10名）				私たちの未来 未来の私たち （開隆堂） ／その他	
年間目標		自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。					
月	時 数	主題		内容項目	ねらい	教材等	
4	1	授業開き			自分や友達のことを知り、よりよい生き方を考える。	教科書 p 2 ～ 3 道徳の学習を始めよう ／他	
年間を通して実施	主として自分自身に関すること	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行し、その結果に責任をもつこと。		自主、自立、自由と責任	周囲や相手の状況を踏まえて行動することの難しさやよさについて、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。	教科書 p 1 2 ～ 1 5 どうする？ペンギンズ ／他	
		望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。		節度、節制	社会でできまりを守ることに意義やよさについて自分との関わりで理解し、公共物や公共の場を大切にしようとする実践意欲を高める。	教科書 p 1 6 ～ 1 9 あこがれのスマートフォン ／他	
		自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。		向上心、個性の伸長	自分の特徴を多面的・多角的に捉え、長所を伸ばすと共に、短所も自分の特徴の一面であることに気づき、改善していく努力を重ねながら個性を伸ばそうとする心情を育てる。	教科書 p 2 0 ～ 2 3 マラソン大会に向けて ／他	
		より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と 勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。		希望と勇気、克己と強い意志	自分の目標に向かって努力を続けることの大切さに気づき粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	教科書 p 2 4 ～ 2 7 印刷工場での出来事 ／他	
		真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。		真理の探究、創造	好きなことや興味のあることを追究し、真理を求めようとする心情を高める。	教科書 p 2 8 ～ 3 1 富士山の姿 ／他	
	主として人との関わりに関すること	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。		思いやり、感謝	相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していこうとする情を育てる。 日々の生活が多くの人の支えによって成り立っていることに感謝し、それに応えようとする意欲を高める。	教科書 p 3 4 ～ 3 7 「ありがとう」のプレゼント ／他	
		礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。		礼儀	周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。	教科書 p 3 8 ～ 4 1 礼に始まり礼に終わる	
		友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。		友情、信頼	相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っている時にはお互い助け合おうとする心情を育てる。	教科書 p 4 2 ～ 4 5 将棋大会 ／他	
		自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があること理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。		相互理解、寛容	年齢や性別、国籍などに関係なく、相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、つねに相手の立場に立つて考え、親切に行動しようとする態度を養う。	教科書 p 4 6 ～ 4 9 文化祭の準備 ／他	
		集団の一員としての自覚をもち、多様な考えを認めあえる人間関係を築くこと。 集団の中での役割と責任を自覚し、より良い集団生活を送るために忠実すること。		尊法精神、公德心	自分がかつた権利の行使について考えを深めて、よりよい社会生活のために大切なことを守ろうとする態度を養う。	教科書 p 5 2 ～ 5 5 生徒会選挙 ／他	
	主として集団や社会との関わりに関すること	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。		公正、公平、社会正義	差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。	教科書 p 5 6 ～ 5 9 一人である生徒 ／他	
		社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。		社会参画、公共の精神	社会の一員であるという自覚を持ち、理想的な社会の在り方について考え、より良い社会の実現に尽くそうとする気持ちを育てる。	教科書 p 6 0 ～ 6 3 美化委員会の仕事 ／他	
		勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。		勤労	働くとは、いつでも自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気づき、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。	教科書 p 6 4 ～ 6 7 通勤寮での生活 ／他	
		父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。		家族愛、家庭生活の充実	家族の中で自分の役割や家族を支えることについて考え、家族の一員として思いやり助け合って、進んで家族の役に立とうとする心情を育てる。	教科書 p 6 8 ～ 7 1 お母さんへの手紙 ／他	
		教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割や責任を自覚して集団生活の充実にも努めること。		よりよい学校生活、集団生活の充実	教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい学校生活や集団生活をつくろうとする態度を育てる。	教科書 p 7 2 ～ 7 5 なっとう憲法 ／他	
		郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めることを深めること。		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	地域に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、郷土の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 7 6 ～ 7 9 夏祭りの練習 ／他	
		日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。 平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な道徳性を養うこと。		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、我が国の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 8 0 ～ 8 3 東京 2 0 2 0 パラリンピックと木村敬一選手 ／他	
		世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。		国際理解、国際貢献	外国の人々との間にある言語や文化、考え方のちがいについて考え、外国の人々や文化を尊重する心をもち、世界の人々と理解し合おうとする心情を育てる。	教科書 p 8 4 ～ 8 7 外国のこと、次々発見！ ／他	
		生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがいのない生命を尊重すること。		生命の尊さ	自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てをものに大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 9 0 ～ 9 3 おじいさんと妹 ／他	
		自然の崇ましさを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。		自然愛護	自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 9 4 ～ 9 7 自然と私たち ／他	
	崇高なものとの関わり	美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深めること。		感動、畏敬の念	自然の中にある美しいものや不思議なものに感動する心に気づき、今後の生活の中で、それらを大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 9 8 ～ 1 0 1 貼り絵に思い込めて ／他	
		人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。		よりよく生きる喜び	弱さを乗り越えようとする心の存在に気づき、人間としての誇りをもって、よりよく生きようとする態度を育てる。	教科書 p 1 0 2 ～ 1 0 5 現場実習での喜び ／他	
留意点 ／引継ぎ等		・授業は原則として教科書を使用するが、生徒の実態や時事的な話題、学校行事との関連を踏まえ、必要に応じて教科書以外の教材も活用する。					

令和8年度 高等部 3年 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者		教科書／副教材			
1 単位 35時間		3 年 6 組（1 0 名）				私たちの未来 未来の私たち （開隆堂） ／その他			
年間目標		自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。							
月	時 数	主題		内容項目		ねらい		教材等	
4	1	授業開き				・自分や友達のことを知り、よりよい生き方を考える。		教科書 p 2～3 道徳の学習を始めよう ／他	
年間を通して実施	35	主として自分自身に関すること	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行し、その結果に責任をもつこと。		自主、自立、自由と責任	周囲や相手の状況を踏まえて行動することの難しさやよさについて、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。	教科書 p 12～15 どうする？ベンケース ／他		
			望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。		節度、節制	社会でまわりを守ることを意義やよさについて自分との関わりで理解し、公共物や公共の場を大切にしようとする実践意欲を高める。	教科書 p 16～19 あこがれのスマートフォン ／他		
			自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。		向上心、個性の伸長	自分の特徴を多面的・多角的に捉え、長所を伸ばすと共に、短所も自分の特徴の側面であることに気付く、改善していく努力を重ねながら個性を伸ばそうとする心情を育てる。	教科書 p 20～23 マラソン大会に向けて ／他		
			より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と 勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。		希望と勇気、克己と強い意志	自分の目標に向かって努力を続けることの大切さに気付き粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	教科書 p 24～27 印刷工場での出来事 ／他		
			真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。		真理の探究、創造	好きなことや興味のあることを追究し、真理を求めようとする心情を高める。	教科書 p 28～31 富士山の姿 ／他		
		主として人との関わりに関すること	思いやりの心をもつて人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。		思いやり、感謝	相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していくこととする心情を育てる。 日々の生活が多くの人の支えによって成り立っていることに感謝し、それに応えようとする意欲を高める。	教科書 p 34～37 「ありがとう」のプレゼント ／他		
			礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。		礼儀	周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。	教科書 p 38～41 礼に始まり礼に終わる		
			友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。		友情、信頼	相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っている時にはお互い助け合おうとする心情を育てる。	教科書 p 42～45 将棋大会 ／他		
			自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもつて謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。		相互理解、寛容	年齢や性別、国籍などに関係なく、相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、つねに相手の立場に立って考え、親切に行動しようとする態度を養う。	教科書 p 46～49 文化祭の準備 ／他		
			集団の一員としての自覚をもち、多様な考えを認めあえる人間関係を築くこと。 集団の中での役割と責任を自覚し、より良い集団生活を送るために思索すること。		尊法精神、公德心	自分もが権利の行使について考えを深めて、よりよい社会生活のために大切なことを守ろうとする態度を養う。	教科書 p 52～55 生徒会選挙 ／他		
		主として集団や社会との関わりに関すること	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。		公正、公平、社会正義	差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。	教科書 p 56～59 一人にている生徒 ／他		
			社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。		社会参画、公共の精神	社会の一員であるという自覚を持ち、理想的な社会の在り方について考え、より良い社会の実現に尽くそうとする気持ちを育てる。	教科書 p 60～63 美化委員会の仕事 ／他		
			勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。		勤労	働くとは、いつでも自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気付く、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。	教科書 p 64～67 通勤寮での生活 ／他		
			父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。		家族愛、家庭生活の充実	家族の中で自分の役割や家族を支えることについて考え、家族の一員として思いやり助け合って、進んで家族の役に立とうとする心情を育てる。	教科書 p 68～71 お母さんへの手紙 ／他		
			教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割や責任を自覚して集団生活の充実に努めること。		よりよい学校生活、集団生活の充実	教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい学校生活や集団生活をつくろうとする態度を育てる。	教科書 p 72～75 なっとう憲法 ／他		
			郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めることを深めること。		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	地域に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、郷土の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 76～79 夏祭りの練習 ／他		
			日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。 平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な道徳性を養うこと。		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、我が国の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 80～83 東京 2 0 2 0 パラリンピックと木村敬一選手 ／他		
			世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。		国際理解、国際貢献	外国の人々との間にある言語や文化、考え方のちがいについて考え、外国の人々や文化を尊重する心を持ち、世界の人々と理解し合おうとする心情を育てる。	教科書 p 84～87 外国のこと、次々発見！ ／他		
			主として生命や自然に関する高こととの関	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがいのない生命を尊重すること。		生命の尊さ	自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 90～93 おじいさんと妹 ／他	
				自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。		自然愛護	自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 94～97 自然と私たち ／他	
				美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深めること。		感動、畏敬の念	自然の中にある美しいものや不思議なものに感動する心に気付く、今後の生活の中で、それらを大切にしようとする心情を育てる。	教科書 p 98～101 貼り絵に思いを込めて ／他	
				人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。		よりよく生きる喜び	弱さを乗り越えようとする心の存在に気付く、人間としての誇りをもって、よりよく生きようとする態度を育てる。	教科書 p 102～105 現場実習での喜び ／他	
留意点 ／継続等		・授業は原則として教科書を使用するが、生徒の実態や時事的な話題、学校行事との関連を踏まえ、必要に応じて教科書以外の教材も活用する。							

令和8年度 道徳教育全体計画

中部農林高等支援学校



令和8年度 総合的な探求の時間 年間指導計画（35時間）

※進路指導年間計画の中の「事前学習」「就業体験」「事後学習」でまとめ取りをする。

<進路指導年間計画>

月	第1学年	第2学年	第3学年	保護者
4				
5	校内実習事前学習	・就業体験事業所面接 ・就業体験事前学習		・就業体験保護者説明会
6	校内実習 ・校内実習、就業体験事後学習	1学期 就業体験（校外） ・校内実習、就業体験報告会	2週間（60h）	・就業体験反省会
7	・進路施設見学 ・三者面談	・進路施設見学 ・三者面談	・ハローワーク求職登録	・三者面談（全学年）
8				
9	・就業体験先事業所面接 ・就業体験事前学習 （本校）	・就業体験事業所面接 ・就業体験事前学習 ・企業向け学校説明会		
10	・進路講話 ・就業体験先事業所面接 ・就業体験事前学習	2学期 就業体験（校外） ・就業体験事後学習 ・就業体験報告会	2週間（60h）	・就業体験参観 ・進路講話 ・保護者説明会 （全学年）
11	・就業体験事後学習 ・就業体験報告会 ・三者面談 ・抽出実習事前学習 （3年）		2学期 抽出実習	・三者面談
12	次年度実習先希望調査		・抽出実習事後学習	対象者三者面談（3年のみ） ・重度判定検査（対象者のみ）
1	次年度実習先希望調査	抽出実習事前学習（2年） 3学期 抽出実習	・就業体験先事業所面接 ・就業体験事前学習 3学期 就業体験	対象者三者面談（3年のみ） ・修学旅行（2年のみ）
2	三者面談	・抽出実習事後学習 ・三者面談	・就業体験事後学習 ・三者面談 ・ハローワーク紹介状受取 ・雇用面接（最終）	・三者面談 ・ハローワーク紹介状受取（3年のみ） ・雇用面接（3年のみ）
3			・雇用面接（最終）、諸手続き	雇用面接・諸手続き（3年のみ）

第1学年 HR活動年間指導計画 週時数(1時間)

担当者:

月	時数	題材名	目標	主な内容	留意点
4月	12	学級びらき	①学級目標達成に向けて、協力していく心構えを持つ。 ②学級活動の役割分担や目標設定作りなどを通し、自主的活動ができる学級作りを目指す。	○担任、生徒の自己紹介 ○学級目標、個人目標の設定 ○学級委員長、副委員長の各種委員会決定 ○週番、日直、清掃当番	・役割分担や班編成に偏りがなければ確認し、自治的活動がスムーズにできるように内容を明確にする。 ・社会自立に向けて自分の課題を考える。
		連休の過ごし方	①有意義な連休を過ごすため、規則正しい生活や、外出時の心得等を確認する。	○連休の計画 ○規則正しい生活	・生徒支援部と進路指導部の先生のお話を聞き、有意義な連休になるように計画を立てる。
校内実習にむけて		①校内実習のねらいや意義を知る。	○基本的なマナーの確認 (身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等)	・生徒個々の職業に関する能力、適性に応じて適切な指導を行う。 ・実習の評価、反省を基に生徒個々の課題を的確に捉え共通確認し学校教育活動全体で指導する。	
身なりについて		①身なり指導週間の意義を知る。	○学校の決まりを守る意義 ○就労を意識した身なり	・身なりに関する生徒指導のきまりを理解し、守る態度を育てる。 ・身なりを整えることは自分のためであり、就職に必要なことを知る。	
働くこととは		①人は何のために働くのかを知る。	○働くことの目的を考える。 ○将来の職業を選ぶ基準について	・目的達成のために出来ること、やるべきことについて一緒に考え、実践につながるような指導を行う。	
慰霊の日について		①平和を愛する心を育てる。	○「慰霊の日」の意義を考える。 ○特設授業に参加し、感想文を書く。	・慰霊の日は、沖縄戦で亡くなった人々の霊を慰める日であることを理解させると同時に戦争を憎み、いつでも平和を愛する心情を育てる。	
1学期の反省と夏休みの過ごし方		①自己の課題に気づき、2学期からの望ましい学校生活について考える。 ②有意義な夏休みにするための計画を立てる。	○1学期の学習面・生活面を自己評価する。 ○夏休みの生活指導、計画立案	・生徒支援部からの『夏休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により個々の課題や問題点について話し合い指導や助言を行う。	
9月		2学期の目標と計画	①1学期の反省を踏まえて、2学期の目標を立てる。	○2学期の自己目標の設定 ○諸行事への取り組み計画	・個人面談により夏休みの過ごし方について話し合い課題や問題点について指導や助言を行う。
		職業と人生	①身近な職業の仕事内容や働く人々の生活を知り、将来について考え、自分に合った職業について考える。	○多くの職業内容や働く人の生き方を知る。 ○仕事内容やそれに伴う生活の違いを知る。	・進路指導部や保護者と連携して指導にあたる。 ・求人票など資料を活用して情報共有し指導にあたる。
10月	13	就業体験の心構え	①就業体験のねらいを理解する。	○活動計画や内容について ○参加の望ましい態度について	・進路指導部や保護者と連携して指導にあたる。 ・前学期の評価を参考にする。
		2学期就業体験にむけて	①就業体験のねらいを理解する。	○ねらいと日程についての確認	・自主的、計画的に行えるよう配慮する。
体育祭にむけて		①特別支援学校体育大会の意義を知る	○生徒としてのマナーについて ○服装、行動、安全等について	・生徒との交流の機会でもあることを意識し、積極的な参加を促す。	
特別支援学校体育大会に向けて		①特別支援学校体育大会の意義を知る	○選手としてのマナーについて ○服装、行動、安全等について	・他校の生徒との交流の機会でもあることを意識し、積極的な参加を促す。	
即売会にむけて		①即売会の主旨を理解する。	○活動計画や内容について ○参加の望ましい態度について	・自主的に活動し仲間と協力して行事を成功させることを自覚する。 ・地域との交流の機会だということを確認する。	
2学期の反省と冬休みの過ごし方		①2学期の学習や生活態度を振り返る。 ②3学期に向けての自己の課題について考える。 ③有意義な冬休みするために計画を立てる。	○2学期の学習面・生活面を自己評価する。 ○冬休みの生活指導・計画立案	・生徒支援部からの『冬休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い、実態に応じて指導や助言を行う。	
1月		10	3学期の目標と計画	①2学期の反省を踏まえて、3学期の目標を立てる。	○3学期の自己目標の設定
校外学習にむけて	①校外学習の心構え		○公共施設の利用とマナーを確認する ○団体行動について	・身だしなみや態度に気をつけて行動できるよう確認する。 ・睡眠や食事等を気をつけ、体調について自己管理ができる。	
2月	2年生に向けて		①2年生に向けての心構えを知る。 ②先輩に対する感謝の気持ちを考える。	○卒業式に向けての取り組み ※メッセージや壁画作成	・儀式的行事にふさわしい礼儀(聞く態度、姿勢、身だしなみ)について確認する。
3月	1年の反省		①1年間の各自の生活を振り返り自己理解を深める。	○個人の反省 ○2年生になる意義を話し合う	・2年へ進級する自覚を促し、激励する。
総時数 35 時間					

第2学年 HR活動年間指導計画 週時数(1時間)

担当者:

月	時数	題材名	目標	主な内容	留意点
4		学級びらき	○学級活動の役割分担や目標設定作りなどを通し、自主的活動ができる学級作りを目指す。	○個人目標の設定 ○学級役員や委員会、当番の選出	・役割分担や班編成に偏りがなければ確認し、自治的活動がスムーズにできるように内容を明確にする。
		資格取得について	○進路決定に向け、資格取得の必要性を知る。	○校内で取得可能な資格の確認	・資格・検定の内容や日程を伝え年間を見通して受験できるようにする。
		連休の過ごし方	○安全で有意義な連休を過ごすため、規則正しい生活や、外出時の心得等を確認する。	○規則正しい生活と外出時の確認 ○外出時の確認	・各部担当の先生の話聞き、連休を安全で有意義な連休に過ごせるようにする。
5	12	就業体験に向けて①②③	○就業体験のねらいや意義を知る。 ○社会自立に向けて自分の課題を考える。	○基本的なマナーの確認(身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等)	・生徒個々の職業に関する能力、適性、課題に応じて適切な進路指導を行う。
		校外学習計画を立てる	○計画性と協調性を育む。	○校外学習の目標決めと立案	・クラス役員を中心に進行させ、必要に応じて助言を行う。
		校外学習①	○公共施設の利用におけるマナーを身につける。 ○卒業生の進路先を見学し、就職のイメージをもつ	○路線バスの乗降 ○進路施設見学	・乗車するバスの運行時間を確認する。 ・店舗内では他のお客様に迷惑がかからないように気をつける。
6		働くこととは	○人は何のために働くのかを考える。	○働くことの目的について ○将来の職業を選ぶ基準について	・目的達成のため、やるべきことについて考え実践できるよう指導を行う。
		慰霊の日について	○平和を愛する心を育て今後の沖縄について考える。	○「慰霊の日」の意義を考える。 ○特設授業に参加し、感想文を書く	・慰霊の日は、沖縄戦で亡くなった人々の霊を慰める日であることを理解し、同時に戦争を憎み、いつでも平和を愛する心情を育てる。
7		クラスレク	○親睦を深め、協力する力を育む。	○クラスレク(ゲーム大会)	・全員が楽しめるように、経験の差を補えるルールを調整する。
		1学期の反省と夏休みの過ごし方	○1学期の学習や生活を振り返る。 ○自己の課題に気づき、今後の生活に生かす。	○1学期の活動についての自己評価 ○夏休みの生活指導、計画立案	・生徒指導部からの『夏休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により個々の課題について話し合い指導や助言を行う。
9		2学期の目標と計画	○1学期の反省を踏まえて、2学期の目標を立てる。	○2学期の自己目標の設定 ○諸行事への取り組み計画	・2学期の行事を確認し、後輩をリードしながら自主的な活動ができるよう促す。
		身なりについて	○身なりを整えることの必要性を知る。	○就労を意識した身なりの整え方	・身なりに関する生徒指導のきまりを理解し、守る態度を育てる。 ・身なりを整えることが社会に出るために必要であることを知る。
		職業と人生	○職種について調べ、自分の適性に合った職業について考える。	○多くの職業内容や働く人の生活を知る。	・実習先の評価を参考にし、進路指導部と連携して指導にあたる。
10		校外学習計画を立てる	○計画性と協調性を育み、実行する力をつける。	○具体的な立案	・クラス役員を中心に進行させ、必要に応じて助言を行う。
		自己の適性	○適性の意味を考え、希望職種について考える。	○希望する職業の特色	・職業選択についていろいろな角度から共に考え、助言を行う。
11	13	体育祭に向けて	○体育祭のねらいを理解する。	○体育祭種目や体調管理について	・自主的に活動し仲間と協力して行事を成功させることを自覚する。
		防災意識を高める	○防災意識を高め、命を守る力を育む	○避難場所や防災用品の確認	・防災ハンドブックを見ながら、
		修学旅行に向けて①	○修学旅行のねらいを理解する。 ○協力して係活動を進める。	○ねらいと日程についての確認 ○各係活動にむけての計画	・係活動等、自主的、計画的に行えるよう配慮する。
		健康的な社会生活	○タバコの害や薬物乱用について知り、健康被害について考える。	○アンケート調査 ○タバコの害	・アンケート調査は生徒の実態に応じ慎重に行う。 ・具体的な事例を用いてわかりやすく説明する。
		特別支援学校体育大会に向けて	○特別支援学校体育大会の意義を知る。	○選手としてのマナーについて ○会場への移動手段について確認	・他校の生徒との交流の機会でもあることを意識し積極的に参加ができるように指導する。
12		修学旅行に向けて②	○修学旅行のねらいを理解する。 ○協力して係活動を進める。	○ねらいと日程についての確認 ○各係活動にむけての計画	・係活動等、自主的、計画的に行えるよう配慮する。
		即売会に向けて	○即売会の主旨を理解する。	○活動計画や内容について	・自主的に活動し仲間と協力して行事を成功させることを自覚する。
		2学期の反省と冬休みの過ごし方	○2学期の活動を振り返り、自己の課題を見つける。 ○有意義な冬休みするために計画を立てる。	○2学期の学習・生活面の自己評価 ○冬休みの生活指導・計画立案	・生徒指導部からの『冬休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により具体的な課題や問題点について指導や助言を行う。
1		3学期の目標と計画	○2学期の反省を踏まえて、3学期の目標を立てる。	○3学期の自己目標の設定	・意識し最上級生を迎えるにあたり、自分の課題を再確認する。
		修学旅行に向けて③④	○旅行の心構え体調管理	○公共施設の利用とマナーの確認 ○団体行動について	・身だしなみや態度に気をつけて行動できるよう確認する。 ・体調について自己管理ができるよう声かけする。
2	10	修学旅行の振り返り	○修学旅行での学びを振り返り、理解を深める。	○事後報告会の発表準備	・iPadでスライド作成を行い、わかりやすい発表を心掛ける。
		みんなの良いところ探し	○互いの良さに気づき、認め合う。	○良い所カード交換	・書きやすいヒントや例を示し、生徒の表現を広げられるようにする。
		3年生を送る会計画①②	○感謝と応援の気持ちを伝え、思い出に残る会にできるよう企画する。	○係分担、プログラム作成・準備	・全体の参加意識を高め、送り出す気持ちを共有できるようにする。
3		卒業式に向けて	○先輩に感謝の気持ちを言葉で伝える。	○卒業式に向けての取り組み	・卒業の門出にふさわしい態度について確認する。
		クラスレク	○ルールの中で競い合い、仲を深める	○スポーツレク(バドミントン)	・全員が楽しめるように、経験の差を補えるルールを調整する。
3		1年間の振り返りと進級する上での心構え	○1年間の各自の生活を振り返り自己理解を深め、心構えや決意を述べる。	○個人の反省 ○最上級生になる意義を話し合う	・3年へ進級する自覚を促し、激励する。
総時数 35 時間					

第3学年 HR活動年間指導計画 週時数(1時間)

担当者:

月	時数	題材名	目標	主な内容	留意点
4		学級びらき	○学級活動の役割分担や目標設定作りなどを通し、自主的活動ができる学級作りを目指す。	○個人目標の設定 ○学級役員や委員会、当番の選出	・役割分担や班編成に偏りがなければ確認し、自治的活動がスムーズにできるように内容を明確にする。
		資格取得について	○進路決定に向け、資格取得の必要性を知る。	○校内で取得可能な資格の確認	・資格・検定の内容や日程を伝え年間を見通して受験できるようにする。
		連休の過ごし方	○安全で有意義な連休を過ごすため、規則正しい生活や、外出時の心得等を確認する。	○規則正しい生活と外出時の確認 ○外出時の確認	・各部担当の先生の話聞き、連休を安全で有意義な連休に過ごせるようにする。
5	12	就業体験に向けて①②③	○就業体験のねらいや意義を知る。 ○社会自立に向けて自分の課題を考える。	○基本的なマナーの確認(身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等)	・生徒個々の職業に関する能力、適性、課題に応じて適切な進路指導を行う。
		校外学習計画を立てる	○計画性と協調性を育む。	○校外学習の目標決めと立案	・クラス役員を中心に進行させ、必要に応じて助言を行う。
		就労支援について	○就労支援について学ぶことで、将来の進路に関する具体的なイメージをもつことができる。	○A型B型に関する理解	・就労支援を自分にも関係のある制度として考えられるようにする。
6		働くこととは	○人は何のために働くのかを考える。	○働くことの目的について ○将来の職業を選ぶ基準について	・目的達成のため、やるべきことについて考え実践できるよう指導を行う。
		慰霊の日について	○平和を愛する心を育て今後の沖縄について考える。	○「慰霊の日」の意義を考える。 ○特設授業に参加し、感想文を書く	・慰霊の日は、沖縄戦で亡くなった人々の霊を慰める日であることを理解し、同時に戦争を憎み、いつでも平和を愛する心情を育てる。
7		クラスレク	○親睦を深め、協力する力を育む。	○クラスレク(ゲーム大会)	・全員が楽しめるように、経験の差を補えるルールを調整する。
		1学期の反省と夏休みの過ごし方	○1学期の学習や生活を振り返る。 ○自己の課題に気づき、今後の生活に生かす。	○1学期の活動についての自己評価 ○夏休みの生活指導・計画立案	・生徒指導部からの『夏休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により個々の課題について話し合い指導や助言を行う。
9		2学期の目標と計画	○1学期の反省を踏まえて、2学期の目標を立てる。	○2学期の自己目標の設定 ○諸行事への取り組み計画	・2学期の行事を確認し、後輩をリードしながら自主的な活動ができるよう促す。
		身なりについて	○身なりを整えることの必要性を知る。	○就労を意識した身なりの整え方	・身なりに関する生徒指導のきまりを理解し、守る態度を育てる。 ・身なりを整えることが社会に出るために必要であることを知る。
		職業と人生①	○職種について調べ、自分の適性に合った職業について考える。	○多くの職業内容や働く人の生活を知る。	・実習先の評価を参考にし、進路指導部と連携して指導にあたる。
10		職業と人生②	○職種について調べ、自分の適性に合った職業について考える。	○多くの職業内容や働く人の生活を知る。	・実習先の評価を参考にし、進路指導部と連携して指導にあたる。
		自己の適性	○適性の意味を考え、希望職種について考える。	○希望する職業の特色	・職業選択についていろいろな角度から共に考え、助言を行う。
		校外学習②	○日々の学びを地域に生かし、帰属意識を高める。	○福祉施設の見学や学習発表	・利用者の方への感染対策を徹底する。
11	13	防災意識を高める	○防災意識を高め、命を守る力を育む	○避難場所や防災用品の確認	・防災ハンドブックを見ながら、
		職業と人生③	○職種について調べ、自分の適性に合った職業について考える。	○多くの職業内容や働く人の生活を知る。	・実習先の評価を参考にし、進路指導部と連携して指導にあたる。
		健康的な社会生活	○タバコの害や薬物乱用について知り、健康被害について考える。	○アンケート調査 ○タバコの害	・アンケート調査は生徒の実態に応じ慎重に行う。 ・具体的な事例を用いてわかりやすく説明する。
12		特別支援学校体育大会に向けて	○特別支援学校体育大会の意義を知る。	○選手としてのマナーについて ○会場への移動手段について確認	・他校の生徒との交流の機会でもあることを意識し積極的に参加ができるように指導する。
		職業と人生④	○職種について調べ、自分の適性に合った職業について考える。	○多くの職業内容や働く人の生活を知る。	・実習先の評価を参考にし、進路指導部と連携して指導にあたる。
		即売会に向けて	○即売会の主旨を理解する。	○活動計画や内容について	・自主的に活動し仲間と協力して行事を成功させることを自覚する。
1	10	2学期の反省と冬休みの過ごし方	○2学期の活動を振り返り、自己の課題を見つめる。 ○有意義な冬休みするために計画を立てる。	○2学期の学習・生活面の自己評価 ○冬休みの生活指導・計画立案	・生徒指導部からの『冬休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により具体的な課題や問題点について指導や助言を行う。
		3学期の目標と計画	○2学期の反省を踏まえて、3学期の目標を立てる。	○3学期の自己目標の設定	・意識し最上級生を迎えるにあたり、自分の課題を再確認する。
		職業と人生⑤	○職種について調べ、自分の適性に合った職業について考える。	○多くの職業内容や働く人の生活を知る。	・実習先の評価を参考にし、進路指導部と連携して指導にあたる。
2		職業と人生⑥	○職種について調べ、自分の適性に合った職業について考える。	○多くの職業内容や働く人の生活を知る。 ○仕事内容による生活の違いを知る。	・実習先の評価を参考にし、進路指導部と連携して指導にあたる。
		みんなの良いところ探し	○互いの良さに気づき、認め合う。	○良い所カード交換	・書きやすいヒントや例を示し、生徒の表現を広げられるようにする。
		卒業式に向けて①	○後輩に感謝の気持ちを言葉で伝える。	○卒業式に向けての取り組み	・卒業の門出にふさわしい態度について確認する。
3		卒業式に向けて②	○後輩に感謝の気持ちを言葉で伝える。	○卒業式に向けての取り組み	・卒業の門出にふさわしい態度について確認する。
		クラスレク	○ルールの中で競い合い、仲を深める	○スポーツレク(バドミントン)	・全員が楽しめるように、経験の差を補えるルールを調整する。
		1年間の振り返りと卒業する上での心構え	○1年間の各自の生活を振り返り自己理解を深め、心構えや決意を述べる。	○個人の反省 ○最上級生になる意義を話し合う	・社会人になる自覚を促し、激励する。

総時数 35 時間

令和8年度 沖縄県立中部農林高等支援学校 特別活動全体計画

学校の教育目標	(1) 生徒一人一人のよさを最大限に生かした教育の実践を通して、自ら学ぶ意欲を育てるとともに、基礎学力の向上と豊かな心や健やかな体を育成する。 (2) 産業教育を通して、産業に関する基礎的な知識・技術の習得を目指すとともに、他者と協働する態度や粘り強く課題に取り組む態度を身につけ、社会に貢献できる人材を育成する。
生徒の実態	明るく素直で活発な生徒が多く、協調性もあり学校行事や併設校との合同活動にも積極的に参加できる。一方で、他者との関わりが苦手な生徒や自己肯定感が低い生徒も見られ、規範意識はあるものの希薄な傾向がある。基本的な生活習慣は概ね身につけている。入学者の多くは中学校特別支援学級の出身で、療育手帳B2(軽度)を取得している生徒が多く、卒業後は障害者枠での一般就労を目指している。家庭環境が複雑な生徒も多いが、交流活動や学習への意欲は高い。
育成を目指す生徒像	(1)ルールを守り、礼儀正しくあいさつができる生徒 (2)自ら学び・考え、主体的に行動ができる生徒 (3)思いやりを持ち、他者と協働ができる生徒 (4)地域産業の発展に貢献できる生徒
育成を目指す資質・能力	(1)規律遵守、挨拶、身なり (2)自ら学ぶ意欲、主体性 (3)他者理解、協働性、コミュニケーション能力 (4)産業に関する基礎的な知識・技術の習得

特別活動の重点目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを旨とする。 ア 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 イ 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ウ 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
-----------	---

学級(HR)活動		生徒会活動		学校行事	
1学年の目標・指導の方針		重点 目標	学校生活の充実と向上を図るとともに、生徒会行事や学校行事を通して自主性、社会性を養う。また、活動内容を発表する場を設ける等、部活動、課外活動の活性化を図る。	重点 目標	学校行事を通して、教師と生徒、生徒同士の望ましい人間関係を形成し、より良い学校生活を築こうとする主体的・実践的な態度を育てる。
基本的な生活習慣を確立するとともに、進路指導の充実、楽しいホームルームづくりに努める。また、整理整頓、清掃活動の徹底を図る等、学習環境の整備に努め、基礎・基本的な学習習慣を身に付けさせる。家庭との連携も密にし、学校への適応を図る。					
2学年の目標・指導の方針		年間計画		年間計画	
主体性のあるホームルームづくりに努め、生徒会、学校行事へ積極的に参加する態度を育てる。基本的な生活習慣の徹底を図り、学習指導、進路指導の教科に務める。		6月 生徒総会 7月 生徒会長選挙 1月 3年生を送る会	(1)(2) (1)(2) (1)(2)	4月 1学期始業式・入学式 7月 1学期終業式 9月 2学期始業式 11月 総合避難訓練 12月 2学期終業式 1月 3学期始業式 1月 (2年のみ)修学旅行 3月 卒業式 3月 修了式・離任式	(1) (1) (1) (3) (1) (1) (4) (1) (1)
3学年の目標・指導の方針					
卒業を見据えた進路指導を強化し、社会人として必要な素養を確立することを目指す。進路指導・担任・その他職員との連携を密にして自己実現を目指す、職業自立した人間を育成する。					

各教科や総合的な探究の時間との関連
各教科の学習に対する興味・関心・意欲を高め、主体的に学習する態度を育てる。また、校内外の実習等を通して実践的能力と態度を養う。

道徳教育との関連
HR活動や学校行事・生徒会行事の取り組みを通して、学級や学校の一員としての自覚を持ち、より良い学校づくりに努める。

その他の教育活動や生徒指導などとの関連
全体集会や高支集会で関連する講話を取り入れたり、中農マナートレーニングを継続的に実施し、服装や時間等のけじめをつけることのできる人間を育てる。また、2学年の修学旅行では、集団行動の遵守や健康・安全の留意、道徳・社会性を養うなど多角的な体験を行う機会とする。

家庭、地域、異校種などとの連携・協力
・家庭訪問や三者面談・各種説明会などを通して、保護者との信頼関係を築く。 ・中農市・生産即売会では学習の成果を発信し地域との連携・協力を図る。 ・色々な学校との交流及び共同学習の推進を図る。 ・地域の人々との交流や地域行事への参加を通して、社会の一員としての自覚と郷土のよさへの気づきを促す。

高等部 1 年 自立活動 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒		担当者
1 単位 35時間	1 年 6 組（10 名）		
目標	個々の生徒が自立を目指し、障害による学習又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。		
内容	1 健康の保持	(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。	
		(2)病気の状態の理解と生活管理に関すること。	
		(3)身体各部の状態の理解と養護に関すること。	
		(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。	
		(5)健康状態の維持・改善に関すること	
	2 心理的な安定	(1)情緒の安定に関すること。	
		(2)状況の理解と変化への対応に関すること。	
		(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。	
	3 人間関係の形成	(1)他者とのかかわりの基礎に関すること。	
		(2)他者の意図や感情の理解に関すること。	
		(3)自己の理解と行動の調整に関すること。	
		(4)集団への参加の基礎に関すること。	
	4 環境の把握	(1)保有する感覚の活用に関すること。	
		(2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。	
		(3)感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。	
		(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。	
		(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	
	5 身体の動き	(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。	
		(2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。	
		(3)日常生活に必要な基本動作に関すること。	
		(4)身体の移動能力に関すること。	
		(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。	
	6 コミュニケーション	(1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること。	
		(2)言語の受容と表出に関すること。	
		(3)言語の形成と活用に関すること。	
		(4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。	
		(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること。	
指導に当た る留意点	生徒個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成する。その際、自立活動の内容の中からそれぞれに必要な項目を選定し、それらを相互に関連付け、具体的に指導内容を設定するものとする。		

高等部 2年 自立活動 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒		担当者
1 単位 35時間	2年6組（10名）		
目標	個々の生徒が自立を目指し、障害による学習又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。		
内容	1 健康の保持	(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。	
		(2)病気の状態の理解と生活管理に関すること。	
		(3)身体各部の状態の理解と養護に関すること。	
		(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。	
		(5)健康状態の維持・改善に関すること	
	2 心理的な安定	(1)情緒の安定に関すること。	
		(2)状況の理解と変化への対応に関すること。	
		(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。	
	3 人間関係の形成	(1)他者とのかかわりの基礎に関すること。	
		(2)他者の意図や感情の理解に関すること。	
		(3)自己の理解と行動の調整に関すること。	
		(4)集団への参加の基礎に関すること。	
	4 環境の把握	(1)保有する感覚の活用に関すること。	
		(2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。	
		(3)感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。	
		(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。	
		(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	
	5 身体の動き	(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。	
		(2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。	
		(3)日常生活に必要な基本動作に関すること。	
		(4)身体の移動能力に関すること。	
		(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。	
	6 コミュニケーション	(1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること。	
		(2)言語の受容と表出に関すること。	
		(3)言語の形成と活用に関すること。	
		(4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。	
		(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること。	
指導に当た る留意点	生徒個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成する。その際、自立活動の内容の中からそれぞれに必要な項目を選定し、それらを相互に関連付け、具体的に指導内容を設定するものとする。		

高等部 3年 自立活動 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒		担当者
1 単位 35時間	3年6組（10名）		
目標	個々の生徒が自立を目指し、障害による学習又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。		
内容	1 健康の保持	(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。	
		(2)病気の状態の理解と生活管理に関すること。	
		(3)身体各部の状態の理解と養護に関すること。	
		(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。	
		(5)健康状態の維持・改善に関すること	
	2 心理的な安定	(1)情緒の安定に関すること。	
		(2)状況の理解と変化への対応に関すること。	
		(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。	
	3 人間関係の形成	(1)他者とのかかわりの基礎に関すること。	
		(2)他者の意図や感情の理解に関すること。	
		(3)自己の理解と行動の調整に関すること。	
		(4)集団への参加の基礎に関すること。	
	4 環境の把握	(1)保有する感覚の活用に関すること。	
		(2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。	
		(3)感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。	
		(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。	
		(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	
	5 身体の動き	(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。	
		(2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。	
		(3)日常生活に必要な基本動作に関すること。	
		(4)身体の移動能力に関すること。	
		(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。	
	6 コミュニケーション	(1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること。	
		(2)言語の受容と表出に関すること。	
		(3)言語の形成と活用に関すること。	
		(4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。	
		(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること。	
指導に当た る留意点	生徒個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成する。その際、自立活動の内容の中からそれぞれに必要な項目を選定し、それらを相互に関連付け、具体的に指導内容を設定するものとする。		